

C2  
1113  
53-02

現行  
改訂

山梨縣令達全書

卷四



C2  
1113  
55-02

第十四類 農工商

種牡牛馬取締規則 明治十八年 五月十四日

甲第四十二號

種牡牛馬取締規則別冊之通り制定ス

右布達候事 種牡牛馬取締規則



第一條 種牡牛馬ヲ飼畜スルモノハ左ノ各項ヲ記載シタル書面ニ第二條ノ各項ニ關スル牛馬醫ノ鑑定  
 証書ヲ添ヘ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ  
 種類 種又ハ何々  
 年 種又ハ何々  
 寸 種又ハ何々  
 尺 種又ハ何々

- 一 毛 色 何國何郡何村
- 一 産 地 何國何郡何村
- 一 畜養地名 何國何郡何村
- 一 種牡牛馬ハ左ノ各項ニ適合ノモノニアラサレハ之ヲ許サス
- 第二條 種牡牛馬ハ左ノ各項ニ適合ノモノニアラサレハ之ヲ許サス
- 一 牛ハ滿二歳以上十歳以下ニシテ丈ケ肩頂ヨリ三尺六寸以上ノモノ  
 但洋種ハ其年齡十歳以上ニ至ルモ妨ケナシ
- 二 馬ハ滿三歳以上滿十六歳以下ニシテ丈ケ肩頂ヨリ四尺以上ノモノ  
 但洋種ハ十六歳以上ニ至ルモ妨ケナシ
- 三 強壯ニシテ骨格善長ナルモノ
- 四 遺傳病及惡癖ナキモノ

第十四類 農工商





第三條 縣廳ニ於テ種牡牛馬ヲ許可シタルトキハ一頭毎ニ免許証書ヲ附與スヘシ所有者ハ其畜養ノ場所ニ於テ交尾セシムル外他ニ牽出シテ交尾セシムルトキハ必ス其免許証書ヲ携帯スヘシ

第四條 種牡牛馬交尾ノ期節及其度數ヲ定ムル左ノ如シ  
一 種馬交尾ノ期節ハ毎年二月ヨリ五月マテトシ其度數ハ一期節間牡馬四拾頭ニ接スルナ極度トス  
二 種牛ハ交尾ノ期節ヲ定メスト雖トモ其度數ハ一年間牡牛六十頭ニ接スルナ極度トス

第五條 種牡牛馬ノ所有主ハ常ニ其飼養上ニ注意シ且應分ノ運動ヲ爲サシムル外耕農若シハ駄運等ニ使用スヘカラス

但種馬ハ交尾期節中及ヒ期節ノ前後一ヶ月間ヲ除ク外適宜使用スルヲ得ルト雖トモ過度ノ勞役ヲ爲サシメサルヲ要ス

第六條 種牡牛馬所有者其所用ヲ廢スルカ又ハ其牛馬斃死シタル時ハ其旨届出免許証ヲ返納スヘシ  
種牡牛馬所有者其居所ヲ變轉スルカ又ハ免許証ヲ毀失シタル時ハ其旨届出免許証ノ書換又ハ再與ヲ請フヘシ

種牡牛馬所有者其牛馬ヲ他ニ賣(又ハ讓)渡シ其買(又ハ讓)受人ニ於テ尙ホ其業ヲ繼續セント欲スル時ハ双方連署其旨届出鑑札ノ書換ヲ請フヘシ

第七條 種牡牛馬所用中疾病等ノ爲メ第二條ノ第三項第四項ニ適セサルカ又ハ其年齡全條ノ第一項第二項ノ制限ヲ超ヘタルトキハ其所用ヲ廢シ前條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 縣廳ハ臨時ニ種牡牛馬ヲ檢査シ若シ第二條ノ各項ニ適合セサルモノアルトキハ直ニ所用ヲ停止シ免許証書ヲ返納セシムヘシ

第九條 交尾ノ度數及其交尾ニヨリ懷胎シタル牝牛馬ノ數ハ前年中ノ分ヲ調査シ翌年一月限り牝牛馬飼畜者ヨリ届出ツヘシ

第十條 此規則ニ依ラヌシテ種牡牛馬ヲ飼畜シタル者ハ違警罪ニ依リ處分セラルヘシ

(二) 蠶糸業取締規則 明治二十三年 十二月十九日 縣令第七十八號

蠶糸業取締規則左之通相定メ候條該規則ニ準據シ來明治二十四年二月二十日迄ニ組合ヲ設ケ規約ヲ定メ縣廳ノ認可ヲ受シヘシ

蠶糸業取締規則

第一條 蠶糸業ニ従事スルモノハ此規則ニ從ヒ郡市又ハ村ノ區畫ニ依リ各業ヲ通シ若シハ一業毎ニ組合ヲ設ケシヘシ

但新ニ蠶糸業ニ従事スルモノハ其他ノ組合ニ加盟スヘシ

第二條 蠶糸業ト稱スルモノハ左ノ各業トス

養蠶業 蠶種製造業

蠶種販賣業 生糸製造業

生糸販賣業

第三條 組合ノ名稱ハ山梨縣何郡市若シハ何郷何村何業組合ト稱スヘシ

第四條 組合ハ左ノ項目ニ依リ規約ヲ定メ縣知事ノ認可ヲ受シヘシ但組合分合又ハ規約ノ改正ヲナシタルトキハ更ニ認可ヲ受シヘシ

第一項 組合役員及議員撰舉方法

第二項 會議ニ關スル規程

第三項 組合役員庶務規程及組合ニ關スル經費收支方法

第四項 蠶卵及生糸ノ製造方法

第五項 生糸蠶卵及附屬品檢査方法

第十四類 農工商



- 第六項 各物品ノ検査料收入規程
- 第七項 蠶病桑病ノ豫防及驅除方法
- 第八項 違約者處分規程
- 第九項 前各項ノ外組合ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第五條 組合ハ各々其區域内ニ便宜事務所ヲ設ケ組長一人検査役其他適宜役員ヲ置キ組合ノ庶務ヲ擔任セシムヘシ但組長ヲ撰定シタルトキハ縣知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第六條 組合員ハ其証トシテ縣廳ノ檢印アル組合ノ証票ヲ携帯スヘシ但他府縣下ノ蠶種行商人ニシテ住居地組合ノ証票ヲ携帯セサルモノハ本縣下ノ組合ニ加盟シタル上ニ非ラサレハ蠶種ヲ買買スルヲ得ス
- 第七條 組合事務所ハ其年四月ヨリ翌年三月迄ニ係ル部内蠶系業ニ關スル諸種ノ産額及價格等ノ統計表ヲ作り翌年四月二十日限リ縣廳ニ届出ヘシ
- 第八條 組合員ハ組合規程ノ検査ヲ受ケサル物品ヲ買買スヘカラス
- 第九條 糸繭用ノ繭及ヒ玉繭屑繭ヲ以テ蠶種ヲ製造ス可カラス
- 第十條 蠶種ニ餘附又ハ糊附等手入ヲ爲スヘカラス
- 第十一條 蠶種原種ノ表面ニ春夏秋冬ノ種別及ヒ小石丸又昔等ノ種類ヲ産附已前ニ記入シ裏面ニ製造人ノ住所氏名ヲ記入シタル印章ヲ捺捺スヘシ
- 第十二條 生糸及附屬品ニ不正ノ重量ヲ附シ又ハ粗惡ノ品ヲ中心ニ入レ結束ス可カラス
- 第十三條 各組合ニ於テ縣下ヲ通シテ一定ノ規約ヲ制定スル爲メ又ハ互ニ氣脈ヲ聯通スルヲ以テ縣下便宜ノ地ニ常置又ハ臨時組合聯合會議所ヲ設ケントスルトキハ左ノ各項ニ依リ規程ヲ定メ縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第一項 會議所ノ組織方法

第二項 役員庶務規程

第三項 役員及議員選舉方法

第四項 役員給料及其他經費ノ收支方法

第五項 前各項ノ外各組合ニ於テ必要ト認ムル事項

- 第十四條 組合及組合聯合會議所ハ縣廳ノ指揮監督ヲ受ケルモノトス
- 第十五條 蠶系業組合ニ關スル諸願何屆書ハ總テ所轄郡市役所ヲ經由スヘシ
- 第十六條 本則第九條第十條ニ違背シタル蠶種ハ處分後直ニ本人立合ノ上之ヲ毀棄スヘシ
- 第十七條 本則第一條但書第六條第八條第九條第十條第十一條第十二條ニ違背シタルモノハ一日已上十日以内ノ拘留ニ處シ又ハ金一圓已上一圓九十五錢已内ノ科料ニ處ス
- (三) 蠶系業組合ニ入ラサルモノ處分方 明治廿三年 十二月十九日
- 縣令第七十九號
- 本年縣令第七十八號蠶系業取締規則相定メ候ニ付テハ蠶系業ニ従事スルモノニシテ組合ニ入ラサルモノハ一日已上十日已内ノ拘留ニ處シ又ハ一圓已上一圓九十五錢已内ノ科料ニ處ス
- (四) 蠶系業ニ關シ委員撰定方 明治廿三年 十二月十九日

郡	役	所
市	役	所
村	役	場

訓令第五拾八號

本年縣令第七十八號蠶系業取締規則相定メ候ニ付テハ該規則ニ依リ組合ノ區畫ヲ定メ規約ヲ起草スル等ノ爲メ郡市長ニ於テ各部内該業ニ従事スルモノヲシテ左ノ各項ニ依リ委員ヲ撰定スヘシ

但委員撰定ノ上其委員ノ住所氏名及其願末ヲ届出スヘシ

第十四類 農工商



一 委員ノ數ハ郡ニ於テハ毎村蠶業ヨリ一人生絲業ヨリ一人甲府市ニ於テハ蠶業ヨリ五人生絲業ヨリ七人トス

一 營業人ノ便宜ニヨリ前項委員ノ數ヲ増減シ及現在ノ組合委員又ハ議員ヲレテ之ニ充ルモ妨ケナ

一 委員ハ蠶絲各業ヲ分合ノ組合ノ區畫ヲ定メ規約ヲ起草スルヲ以テ職務トスト雖トモ營業人ノ便宜ニ依リ規約ノ決定及ヒ認可ヲ受クル等ノ事ヲ委托スルモ妨ケナ

(五) 蠶種検査規則施行手續 明治二十年 四月三十日

縣令第四十一號

明治十九年(八月)農商務省令第九號蠶種検査規則施行手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

蠶種検査規則施行手續

第一條 蠶種製造又ハ販賣ノ鑑札ヲ請フモノハ第一號書式ニヨリ住居地戸長ノ與印ヲ受ケ管轄郡役所ヲ經テ縣廳ニ願出ヘシ

第二條 鑑札ハ製造ト販賣トニ區別ス製造人ニシテ販賣ヲ兼スルモノハ兩様ノ鑑札ヲ受クヘシ但販賣人ニシテ營業ノ爲メ外出スルトキハ該鑑札ヲ携帯スヘシ

第三條 蠶種検査所ノ名稱位置及其區域ヲ定ムルコト左ノ如シ

但時宜ニ依リ巡回検査スルコトアルヘシ

名	稱	位	置	區
甲府	検査所		西山梨郡甲府	西山梨郡
日川	検査所		東山梨郡日川村	東山梨郡
猷澤	検査所		南巨摩郡猷澤村	南巨摩郡
				西八代郡
				東八代郡
				南巨摩郡

菲崎検査所 北巨摩郡 河原部村

猿橋検査所 北都留郡 大原村

第四條 夏蠶種ノ検査ハ毎年六月十日ヨリ始メ秋蠶種ノ検査ハ毎年八月一日ヨリ始ム

但夏秋蠶種ニシテ翌年孵化スヘキ分ハ春蠶種ノ検査期ニ依ル

第五條 春夏秋蠶種トモ検査ノ終期ハ其時々告示スヘシ

第六條 蠶種製造人ヨリ縣廳ニ届出ツヘキ蠶種ノ掃立枚數及製造額(夏秋蠶種ハ豫算額)ハ第二號書式ニ依リ住居地市役所又ハ村役場ヘ差出スヘシ

但春夏秋蠶種トモ其掃立枚數製造額及製造豫算額等ノ届出期限ヲ經過スルモノニハ検査ヲ與ヘス

第七條 製造人ヨリ蠶種検査所ニ差出スヘキ蠶種ニハ第三號書式ノ書面ヲ添付スヘシ

第八條 明治廿四年(十月)縣令第七十四號ヲ以テ削除

第九條 原種用ノ蠶種ニシテ検査上不合格ノモノ更ニ製糸用種ノ検査ヲ請フトキハ之ヲ許ス

第十條 一枚ノ蠶種ヲ截斷シテ販賣セントスルモノハ豫メ其裏面ニ截斷スヘキ區劃ノ線ヲ付シテ検査所ニ差出スヘシ

第一號 書式

蠶種鑑札御下付願

私儀蠶種製造又ハ仕度候間製造又ハ鑑札御下付被成下度此段奉願候也

年 月 日 山梨縣知事宛 郡 町 番 地 名

第二號 第十四類 農工商



蠶種掃立枚數及製造額(豫算額)御届

八

春夏秋ノ區別	種	類	掃立枚數	蠶種製造額
春	赤	熟	何枚	何枚
	又	昔	何枚	何枚
計	何種	何種	何枚	何枚

右之通ニ候間御届申上候也

郡 村町 番 地

氏

名

第三號

山梨縣知事宛

蠶種目錄

春夏秋ノ區別	種	類	原種	種	製糸用種
春	赤	熟	何枚	何枚	何枚
	又	昔	何枚	何枚	何枚
計	何種	何種	何枚	何枚	何枚

右之通御検査被成下度候也

郡 村町 番 地

氏

名

年 月 日

其 蠶種 検査 所 宛

(參看) 蠶種検査規則

明治十九年 八月十七日

農商務省令第九號

蠶種微粒子病(一名黑熱病)豫防ノ爲蠶種検査規則左之通相定メ原種ノ検査ハ明治二十年検査期ヨリ施行シ製糸用種ノ検査ハ同二十一年検査期ヨリ施行ス

蠶種検査規則

- 第一條 凡ソ蠶種ヲ製造シ又ハ蠶種ヲ販賣セノトスル者ハ管轄廳ニ願出テ鑑札ヲ受クヘシ
- 第二條 蠶種ヲ製造スル者ハ此規則ニ從ヒ其検査ヲ受クヘシ
- 第三條 検査証印ナキ蠶種ハ販賣又ハ飼養スルコトヲ得ス
- 第四條 蠶種検査所ハ所轄廳ニ於テ管內便宜ノ地ニ之ヲ設置スヘシ
- 但地方ノ狀況ニ由リ巡回検査ヲナスモ妨ケナシ
- 第五條 蠶種検査員ハ管轄廳ニ於テ之ヲ命スヘシ
- 但検査ノ方法ハ別ニ訓令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第六條 春蠶種ノ検査ハ毎年十月一日ヨリ始メ夏蠶種秋蠶種ノ検査期日ハ管轄ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス
- 第七條 蠶種ヲ製造スル者ハ春蠶種ノ掃立枚數及ヒ製造額ヲ毎年七月三十一日マテニ夏蠶種秋蠶種ノ掃立枚數及ヒ製造豫算額ヲ検査期日ヨリ三十日以前ニ管轄廳ニ届出ツヘシ
- 第八條 蠶種ニハ製造人ノ住所氏名又ハ會社若クハ組合ノ名稱ヲ記シ之ヲ原種販賣用種ノ製造ニト製糸用種トニ區別シテ検査所ニ差出スヘシ
- 第九條 病毒ノ歩合原種ニ於テハ百分ノ五以下製糸用種ニ於テハ百分ノ十五以下ノモノニ検査証印

第十四類 農工商

九



ヲ付シ其以上ニ及フモノニハ都テ廢棄証印ヲ付スルモノトス

第十條 廢棄証印アル蠶種ハ販賣又ハ飼育スルコトヲ得

第十一條 蠶種ヲ製造シ又ハ蠶種ヲ販賣スル者廢棄スルカ他ノ管轄地ニ寄留若クハ轉籍スルトキハ其旨ヲ管轄廳ニ届出テ鑑札ヲ返納スヘシ

但寄留若クハ轉籍地ニ於テ營業セントスルトキハ第一條ニ據ルヘシ

第十二條 第一條第三條第十條ニ違ヒタル者ハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

(六) 同業組合規則 明治十八年三月十九日

甲第二十號 同業組合規則別冊ノ通之ヲ定ム

同業組合規則

第一條 農工商ノ業ニ從事スル者ニテ同業者或ハ其營業上ノ利害ヲ共ニスル者組合ヲ設ケントスルトキハ適宜ニ地區ヲ定メ其區内同業者四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ規約ヲ作り縣廳ノ認可ヲ請フ可シ

第二條 同業組合ハ同盟中營業上ノ弊害ヲ矯メ其利益ヲ圖ルヲ以テ目的ト爲ス可シ

第三條 同業組合ノ規約ニ掲グヘキ事項ハ左ノ如シ

第一 組合ヲ組織スル業名及組合ノ名稱

第二 組合ノ地區及事務所ノ位置

第三 目的及方法

第四 役員ノ撰擧法及權限

第五 會議ニ關スル規程

第六 加入者及退去者ニ關スル規程

第七 費用ノ徵收及賦課法

第八 違約者處分ノ方法

右ノ外組合ニ於テ必要ト爲ス事項

第四條 組合ノ設アル地區内ニ於テ組合員ト同業ヲ營ム者ハ必ス其組合ニ加盟スヘシ

但事業ノ規模及趣白ヲ異ニスルカ爲メ加盟シ難キ歟或ハ加盟ヲ拒ムヘキ正當ノ事情アルトキハ縣廳ニ申出テ其認定ヲ請フ可シ

第五條 同業組合ハ同業組合ノ資格ヲ以テ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 同業組合ハ總テ其事蹟及費用決算表ヲ毎年縣廳ニ報告スヘシ

第七條 規約ヲ改正スルトキハ更ニ認可ヲ請フヘシ

第八條 分立又ハ合併スルトキハ更ニ規約ヲ作り認可ヲ請フヘシ

第九條 同業組合ニ於テ聯合會ヲ設ケ其規約ヲ作ルトキハ認可ヲ請フヘシ

(七) 同業組合規則施行方 明治十八年八月十八日

告示第四百四十號

本年(三月)本縣甲第二十號布達同業組合規則ハ專ラ管内重要物産ノ改良蕃殖ニ關スル農商工業者ニ限リ施行スヘキ義ニ候條此旨告示候事

(八) 同業組合規則ニ違背シタル處罰ノ件 明治二十二年十二月廿二日

縣令第九十號

明治十八年(三月十九日)本縣甲第二十號布達同業組合規則第四條ニ違背シタルモノハ一日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

(九) 假開業獸醫營業區域及受持人名 明治廿二年六月八日

告示第七十六號

明治廿年(三月)告示第八十一號及全年(十一月)全第三百六號假開業獸醫營業區域并其受持人名左ノ通

第十四類 農工商



改正

假開業獸醫營業區域及受持人名

東山梨郡ノ内 岡部春日居、平等、上万力、八幡、岩手、中牧、諏訪、西保、釜和原ノ各村	東山梨郡ノ内 釜川、柚木、松里、七里、奥野田ノ各村	東山梨郡ノ内 初鹿野、鶴瀬、勝沼、等々力、日川、加納岩、日下部、後屋敷、山、菱山、小佐手、休息、綿塚ノ各村	西山梨郡ノ内 能泉、千代田、相川ノ各村	西山梨郡ノ内 甲府各町、全上府中組、全飯沼、鹽部、大宮、千塚ノ各村	西山梨郡ノ内 清田、山城、住吉、甲府稻門、朝井、國里、里垣、甲運ノ各村	中巨摩郡ノ内 二川、大里ノ各村	東八代郡ノ内 木賊、田野、日影、祝、相興、御代咲、石炭、國里、里垣、甲運ノ各村	果八代郡ノ内 玉田、英、錦、大野寺、竹居、奈良原、上黒駒、下黒駒、藤ノ木、鶴飼ノ各村	東八代郡ノ内 白井河原、金生、岡、高家南八代、北八代、増田、永井、米倉、富士見ノ各村	免許人氏名
東山梨郡八幡村 前田利左衛門	全 郡七里村 上野 雅 睦	全 郡日川村 谷 澤 勝 藏	西山梨郡千代田村 未 木 泰 永	中巨摩郡松島村 氷 野 松 太 郎	中巨摩郡二川村 吉 岡 補 作	東八代郡相興村 駒 澤 豊 吉	全 郡玉田村 植 村 國 作	全 郡白井河原村 齊 藤 伴 左 衛 門		

東八代郡ノ内 瀧川、豊富、上曾根、下曾根ノ各村	西八代郡ノ内 三澤、宮原、羽鹿島、楠甫、岩間、鴨狩津向、共和、富里ノ各村	西八代郡ノ内 三保、河頭、葛籠澤、落居、樋田、車田、切房木、道ノ各村	西八代郡ノ内 大塚、上野、市川、大門、印澤、高田、豊和、八之尻、山家、九一色ノ各村	西八代郡ノ内 釜額、中ノ倉、根子、大磯、小磯、水船、芝草、瀬戸、古關ノ各村	西八代郡ノ内 大河内、榮ノ各村	南巨摩郡ノ内 増穂、敏澤、五開、大須成ノ各村	南巨摩郡ノ内 西島、手打澤、切石、夜子澤、八日市、境、伊沼、飯富、五箇、三里、湯島、奈良田ノ各村	南巨摩郡ノ内 福居、身延、本建、硯島、都川ノ各村	南巨摩郡ノ内 豊岡、睦合ノ各村	南巨摩郡ノ内 富河村	中巨摩郡ノ内 宮本、清川、陸澤、福岡、松島、池田、吉澤ノ各村	第十四類 農工商
全 郡瀧川村 池谷 淺 右 衛 門	西八代郡三澤村 上 田 茂 平 太	全 郡切房木村 赤 池 利 右 衛 門	全 郡山家村 前 島 傳 重	西八代郡瀬戸村 渡 邊 平 重	全 郡大河内村 市 川 平 作	南巨摩郡敏澤村 青 柳 安 平	全 郡西島村 笠 井 源 吉	全 郡福居村 高 橋 治 作	全 郡全 村 高 橋 莊 藏	全 郡富河村 成 瀬 與 十 郎	中巨摩郡福岡村 横 山 泰 作	十三



中巨摩郡ノ内  
龍王、玉幡、常永、小井川、花輪、忍、稻積、暖、三條、鎌田、富田、豊住、貢川、押原、西條ノ各村

全 郡鎌田村  
三神儀右衛門

中巨摩郡ノ内

全 郡豊村  
齊藤長作

御影、百田、源飯野、在家塚、西野、田之岡、上今諏訪、下今諏訪、下今井、三惠鏡、中條、藤田、南湖、淺原、五明、大井、明穂、野々瀬、柳、塚原、平林、蘆安、落合、豊湯澤、秋山、川上ノ各村

北巨摩郡ノ内

北巨摩郡鹽崎村  
白砂市郎右衛門

登美、鹽崎、穂坂ノ各村

全 郡河原部村寄留  
興石文六

北巨摩郡ノ内

全 郡菅原村  
白砂市郎右衛門

河原部、祖母石、大草、神山、旭、清哲、龍岡ノ各村

全 郡風來村  
名取五左衛門

北巨摩郡ノ内

全 郡秋田村  
清水直太郎

駒城、新富、武里、圓野ノ各村

全 郡熟見村  
淺川貫道

北巨摩郡ノ内

全 郡安都那村  
清水万五郎

小淵澤、風來、菅原ノ各村

全 郡穗足村  
興石金八

北巨摩郡ノ内

全 郡穗足村  
興石金八

秋田、大泉、小泉、清春、篠尾ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡江草村  
窪田豊作

熱見、甲、日野春ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡江草村  
窪田豊作

安都那、安都玉、清里ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡江草村  
窪田豊作

東向、豊田、津金ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡江草村  
窪田豊作

朝神、穂足、若神子ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡江草村  
窪田豊作

江草、増富ノ各村

全 郡江草村  
窪田豊作

北巨摩郡ノ内

全 郡河原部村  
岩下新吉

下條、中田、駒井、穴山ノ各村

全 郡河原部村  
岩下新吉

北巨摩郡ノ内

全 郡河原部村  
岩下新吉

上手、三之藏、小笠原、更科ノ各村

全 郡河原部村  
岩下新吉

南都留郡ノ内

南都留郡福地村  
林重吉

瑞穂、福地、明見、中野、忍野ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

南都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

大富、勝山、大嵐、長濱、鳴澤、大石、河口ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

南都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

桂、寶、開地、谷、三吉ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

南都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

禾生、盛里、秋山、道志ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

北都留郡初狩村  
奈良福太郎

笹子、初狩、廣里ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

賑岡、七保、大原ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

富濱、大目、甲東ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

梁川、巖、大鶴ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

島田、上野原、榎原ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

北都留郡ノ内

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

西原、小菅、丹波山ノ各村

全 郡大富村  
相澤七郎右衛門

(十) 踏鐵工假開業免狀出願手續

明治廿三年  
八月十八日



縣令第五十四號  
 蹄鐵工假開業免狀出願手續左記ノ通相定ム  
 明治廿三年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ依リ假開業免狀ノ下付ヲ請願セントスルモ  
 ノハ別紙書式ノ願書へ履歷書ヲ添へ所轄郡市役所ヲ經テ縣廳へ差出スヘシ  
 書式(用紙美濃紙正副二通)  
 蹄鐵工假開業免狀下付願

住所(寄留ナレハ)本籍ヲ併記スヘシ

族 籍

氏 名

年 月 日 生

私儀何郡何市町村何番地ニ於テ蹄鐵工開業仕度候間假開業免狀御下付被成下度別紙履歷書相添此段奉  
 願上候也

年 月 日

農 商 務 大 臣 宛

右 氏 名 印

(參看) 蹄鐵工免許ノ件 明治廿三年 四月三日  
 法律第三十一號拔萃

第十二條 蹄鐵工ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニヨル農商務大臣ハ第  
 二條ノ資格ナキ者ト雖トモ出願者ノ履歷ニ依リ營業區域及年限ヲ定メ蹄鐵工假免狀ヲ授與スルコ  
 トアルヘシ

第二條 蹄鐵工免狀ヲ受クルコトヲ得ル者左ノ如シ

- 一 蹄鐵工免許試験ニ合格シ其及第證書ヲ有スル者
- 一 官立府縣立ノ農學校若クハ獸醫學校又ハ陸軍部内ニ於テ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其ノ卒業  
 證書ヲ有スル者
- 一 公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣認可シタル學則ニ依リ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其卒業  
 證書ヲ有スル者
- 一 外國ニ於テ官立府縣立ノ農學校若クハ獸醫學校ト同等以上ノ學則ニ依リ獸醫學又ハ蹄鐵學ヲ  
 專修シ其卒業證書ヲ有スル者
- 一 獸醫開業免狀ヲ有スルモノ但獸醫假開業免狀ヲ有スル者ヲ除ク

(十一) 田圃蟲害豫防規則 明治十九年 五月八日

甲第四十號

田圃蟲害豫防規則別紙ノ通之ヲ定ム

右布達候事

田圃蟲害豫防規則

- 第一條 田圃ニ於テ左ノ種類ノ害蟲ヲ發生シタルトキハ耕作人ニ於テ直ニ相當ノ驅除ヲ行ヒ且ツ速ニ  
 戶長ニ報告シ猶ホ其指揮ニ依リ驅除及ヒ豫防ニ從事スヘシ
- 一 螟 蟲 方言ズイムシ 一 浮 塵 子 方言ウンカシ
  - 一 螟 蛉 方言アラムシ 一 蜻 蛉 又コヌカムシ
  - 一 蠶 虫 方言シムシ 一 地 蠶 方言チムシ
  - 一 尺 蠖 方言シヤクトリムシ 一 蛄 斯 又チキリムシ
  - 一 甲 虫 方言コウフムシ 一 蚜 虫 方言アブラムシ
- 第十四類 農 工 商



- 一 金龜蟲 方言コカチムシ
- 第二條 耕作人若シ害虫ノ驅除ヲ怠ルトキハ戸長ニ於テ直ニ之ヲ執行シ其費用ハ該耕作人ナシテ支辨セシムヘシ
- 第三條 害虫蔓延スルカ若シハ蔓延ノ徵候アルトキハ戸長ハ其町村内人民ナシテ其驅除及ヒ豫防ニ從事セシムヘシ
- 第四條 害虫ノ勢ヒ猖獗ニシテ他町村ニ蔓延ノ徵候アルトキハ戸長ハ隣接町村ニ報知スヘシ報知ヲ受ケタル戸長ハ其町村内人民ナシテ豫防及ヒ驅除ニ從事セシムヘシ
- 第五條 前條ノ場合ニ於テ縣廳ハ時宜ニ依リ數町村ヲ聯合シテ豫防及ヒ驅除ニ從事セシムルコトアルヘシ
- 第六條 第三條第四條第五條ノ驅除及ヒ豫防ニ關スル費用ハ其町村費ヲ以テ支辨スヘシ
- 第七條 第一條ニ違背シ及ヒ第三條第四條第五條ノ指揮命令ニ違背シタル者ハ違警罪ヲ以テ處分セラレヘシ
- (十二) 田圃害虫ノ景況申報方 明治十九年 五月十四日
- 乙第四十三號

今般甲第四十號ヲ以テ田圃害虫豫防規則布達候ニ付テハ戸長ニ於テ耕作人ヨリ害虫發生ノ報告ヲ得タルトキハ速ニ相當ノ驅除及ヒ豫防方ヲ指揮シ且害虫ノ發生蔓延撲滅ノ景況及施行シタル驅除豫防ノ方法等ハ其時々速ニ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

(十三) 借區開坑願圖面離形 明治十七年 二月廿日

甲第十一號 借區開坑出願之節日本坑法第三章第九款第二項之規則不了解ヨリ認方粗漏ノ圖面指出候向キ有之不都合ニ付爾來別紙離形ニ照準シ調製指出スヘシ

但從前借區開坑許可相成居候者モ右ニ準シ本月二十九日限リ指出スヘシ

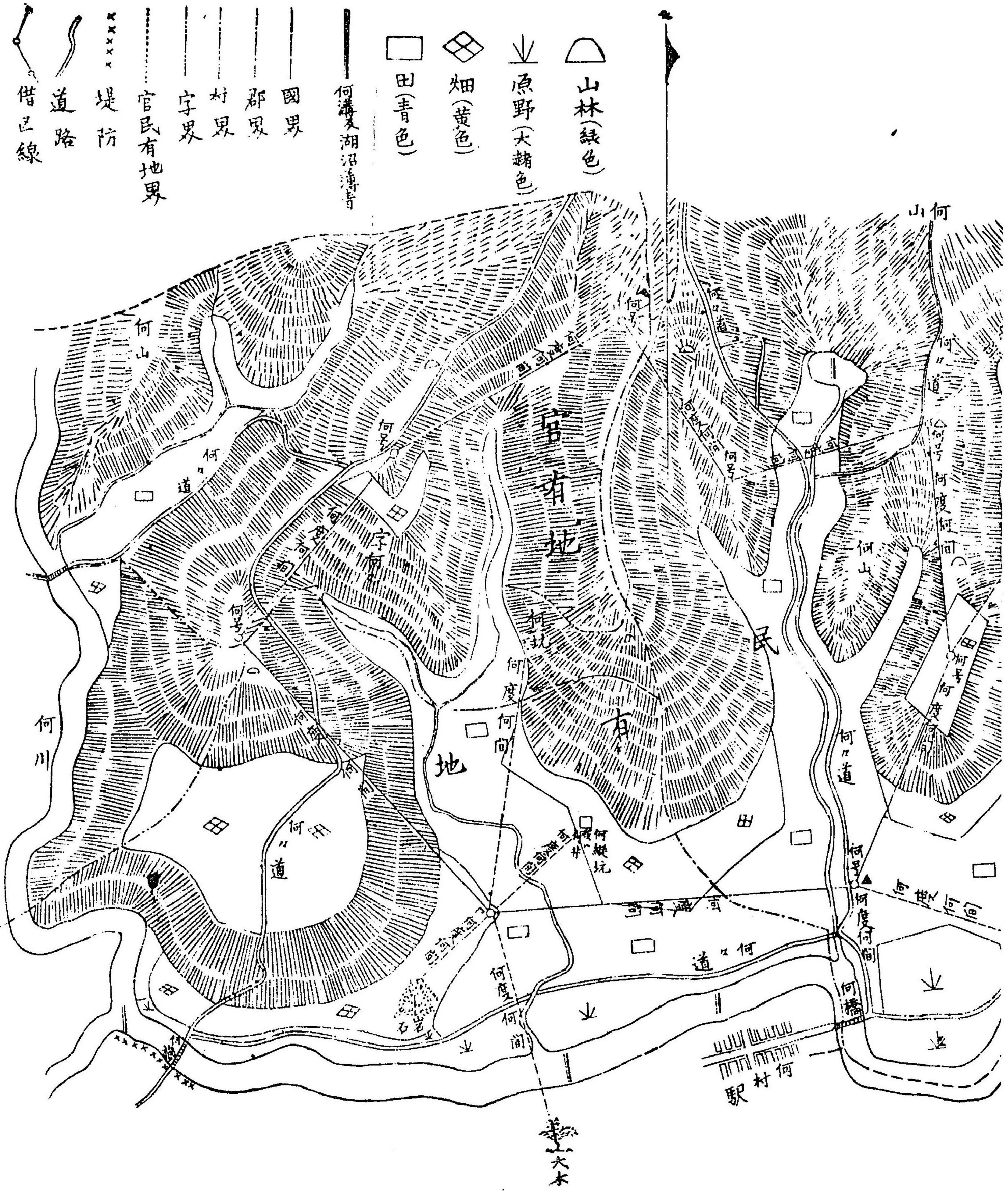
右布達候事

何縣何國何郡何町何字何  
 何鑛借區願地  
 官地字何  
 民地字何  
 合計何坪

何府何國何郡何町何番地  
 華士族平民  
 願人何 某印  
 地主何 某印  
 隣借區人何 某印  
 地九戸長何 某印







志方坪以内ノ借区ニ於テハ岡上△或ハ▲印ノ如キ其区界ノ兩端ニ確乎トシテ容易ニ動カスヘカリヲサレ物ヲ設クヘシ(家屋橋梁木)  
 志方坪以上ノ地ニテハ少クモ四ヶ所同様ノモノヲ置カザルヘカラス若シ其近傍ノ家屋橋梁木(大木)ナキハ方四寸ニ下ラサル杭ヲ凡五尺  
 ノ深サニ打込ミ杭ノ頭部凡尺寸ノ地面ニ出シ置クヘシ或ハ其近傍ノ道路ニ四ツ角ノ如キ地カ又ハ郡界村界ノ傍杭アル片ハ長杭ニ  
 點トシテ測量ニ或ハ其杭ヨリ何方位何間トヲ測リ前ニ記セシ如キ方四寸ニ下ラザル杭ヲ同様ノ深サニ打込ミ之ヲ點トスルニ  
 ナレ同ノ如ク其地借借区ノ間ハ少クモ其借区ノ何番杭ヨリ他借区ノ何番杭ニテ方位及ヒ距離ヲ測リ之ヲ點トスルニ  
 増減借区ノ片ハ原岡ヲ制スル若シノ増減前同様ノ式ニ依ルヘシ減区ノ片ハ其区域ハ無彩色ニ製スルニ  
 何藩トアルハ其點ヨリ一二三點ト順次記載スルニ





(十四) 借區及試掘願等ニ屬スル圖面差出方  
訓令第五十一號  
明治廿三年十一月十日

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 所

日本坑法第九款第二項ニ依リ借區願ノミチ農商務省ニ差出シ置キ後日附圖面ヲ該省ニ差出トキ又ハ試掘及借區出願後圖面ノ引替等申出テタルトキハ本年(七月)全省令第七號第四條第一項ニ依リ同時ニ其圖面ノ寫ヲ當廳ニ差出スヘク答ニ候條出願人ニ於テ右手續ヲ誤ラサル様致サスヘシ

(參看) 借區願ニ添フヘキ圖面差出期限  
第九  
借區願書及坑區圖ヲ同時ニ差出シ難キトキハ願書ノミチ差出シ置キ坑區圖ハ願書ノ日附ヨリ三十日以内ニ之ヲ差出スコトヲ得此期限内ニ差出サ、ルトキハ其出願ヲ無効トス

農商務省令第七號拔萃  
第四條 試掘借區通河、借區外坑道及借區外製煉所建設等ニ係ル願書ヲ農商務大臣ニ差出シタルトキハ同時ニ其ノ願書及圖面ノ寫ヲ添ヘ試掘地又ハ借區地ノ市町村長ヲ經由シ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官ニ於テ前項ノ届書ヲ受理シタルトキハ圖面ノ正否公益上ノ利害并ニ其ノ出願地ニ於テ他ニ鑛業ヲ營ム者ノ有無ヲ調査シ意見ヲ附シ農商務大臣ニ具申スヘシ其御地若シハ官有地ニ係ルモノハ地方長官主管ノ官廳ニ協議ヲ遂シヘシ

(十五) 他府縣人ノ坑業ヲ出願スルトキ代理人取定方  
明治二十年二月廿四日  
第十三類 警 察



縣令第九十三號

他府縣人民ニシテ管下諸鑛山坑業等既ニ許可ヲ得タル者及ヒ自今出願セサル者ハ其坑業地元町村ニ於テ相當ノ代理者ヲ定メ其人等縣廳ニ届出諸般代理處辨セシムヘシ

(十六) 借區繼年期出願方 明治二十二年十一月十六日 告示第百廿四號

諸鑛山借區繼年期出願之義ハ其期限中出願スヘキ管ニ有之候條滿期ニ至リ其出願ヲ爲サ、ル者ハ即廢業ト認メ証券引揚シヘシ

(十七) 獸醫假開業免狀下付願 明治廿三年九月十五日 縣令第五十八號

明治廿三年八月法律第七十六號獸醫免許規則第十四條ニ依リ假開業免狀ノ下付ヲ出願セントスルモノハ別紙書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所轄郡市役所ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

但明治二十年(二月)縣令第十九號獸醫假開業規程ハ廢止ス 書式(用紙美濃紙正副二通)

獸醫假開業免狀下附願

住所(寄留ナレハ本籍ヲ併記スヘシ) 族 籍 氏 名

年月日生

私義何郡市何町村何番地ニ於テ獸醫開業仕度候間假開業免狀御下付被成下度別紙履歷書相添ヘ此段奉願候也

右

年月日

農商務大臣宛

氏名印

(參看) 獸醫免許狀ノ件 明治廿三年八月廿七日 法律第七十六號拔萃

第十四條 獸醫ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ依リ農商務大臣ハ第二條ノ資格ナキモノト雖トモ出願者ノ履歷ニ依リ營業區域及年限ヲ定メ獸醫假免狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第二條 獸醫免狀ヲ受シルコトヲ得ル者左ノ如シ

- 一 獸醫免許試驗ニ合格シ其証書ヲ有スルモノ
- 一 官立府縣立獸醫學校若シハ農學校ニ於テ獸醫學ヲ專修シ其卒業証書ヲ有スル者
- 一 公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣ノ認可シタル學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其卒業証書ヲ有スル者
- 一 外國ニ於テ官立府縣立ノ獸醫學校若シハ農學校ト同等以上ノ學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其卒業証書ヲ有スル者

(十八) 坑業人坑區外ニテ鑛物採掘方ノ件 明治廿三年十月廿七日 訓令第四十七號

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 場

坑業人坑區外ニ於テ安リニ鑛物ヲ採掘シ又ハ坑法第二十款ノ規定ヲ履行セサルモノ有之候テハ甚以不都合ノ次第ニ候條心得違無之様豫テ坑業人一般ニ輸示スヘシ

第十四類 農工商



(參看) 開坑又ハ廢鑛ヲ採製スル事業ノ件 明治六年 七月廿日  
 第二百五十九號布告日本坑法拔萃  
 第二十 通例開坑又ハ廢鑛ヲ採製スルニモ一年間ノ事業ハ地面五百坪ノ下ニ就テ壯健ナル一夫三百日ヲ以テ成セル程ノ工數ヨリ減スヘカラス若シ之ニ背ク者實ニ百方免レ難ク妨碍判然ナルニ有ラズシテ其業ヲ禁止スヘシ  
 (十九) 鑛業人加名、相續讓受渡等ニ係ル屆書ノ件 明治廿三年 十月十三日  
 訓令第四十五號

郡 役 所  
 市 役 所  
 村 役 場

鑛業人ヨリ加名、相續讓受渡等ニ關スル屆書ヲ當廳ニ進達スルトキハ村長ニ於テ加名人讓受人相續人ノ身代限り處分之有無ヲ取調ヘ副申スヘシ  
 (二十) 鑛業試掘延期其他願書差出方 明治廿三年 十月十三日  
 告諭第一號

鑛業試掘延期借區繼年期加除名、相續讓受渡、坪數増減等ニ關スル願書ヲ農商務省ニ差出シタルトキハ明治二十三年七月全省第七號第四條ニ因リ全時ニ當廳ニ届ヘキノ處往々右手續ヲ怠リタルモノ有之趣ニ候條自今右様ノ義無之様各鑛業人ニ於テ厚ク注意スヘシ  
 (參看) 鑛業ニ關スル出願手續 明治二十三年 七月三十一日  
 ○農商務省令第七號拔萃  
 第四條 試掘借區、通洞、借區外坑道及借區外製煉所建設等ニ係ル願書ヲ農商務大臣ニ差出シタルト

キハ同時ニ其ノ願書及圖面ノ寫ヲ添ヘ試掘地又ハ借區地ノ市町村長ヲ經由シ地方長官ニ届出ツヘシ  
 地方長官ニ於テ前項ノ屆書ヲ受理シタルトキハ圖面ノ正否公益上ノ利害并ニ其ノ出願地ニ於テ他ニ鑛業ヲ營ム者ノ有無ヲ調査シ意見ヲ附シ農商務大臣ニ具申スヘシ其ノ御料地若シハ官有地ニ係ルモノハ地方長官主管ノ官廳ニ協議ヲ遂クヘシ  
 (廿一) 鑛業ニ關スル願書圖面等訂正差出方 明治二十三年 十一月廿四日  
 告示第九十一號

鑛業試掘又ハ借區願書若シハ圖面訂正ヲ要スル廉アリ農商務省ヨリ直接或ハ當廳ヲ經テ願人ニ返却スルトキハ正本又ハ圖面一通ノミ下戻シ候等ニ付其訂正ノ爲メ異動ヲ生シタルトキハ更ニ副本又ハ副圖ヲ添テ差出スヘシ  
 (廿二) 鑛物標本差出方 明治廿三年 十二月十五日  
 告示第九十六號

本年七月農商務省令第七號第五條ニ依リ借區出願人ニシテ鑛物標本ヲ全省ニ差出候節ハ自今方三寸深サ五寸ニ超ヘサル箱ニ詰メ蓋面ニ月日産地差出ノ人住所氏名ヲ明瞭ニ記載シ尙ホ箱中ニ其産地并其鑛物ノ附屬スヘキ借區願書ノ出願年月日及借區券番號ヲ記シタル紙札ヲ納レ差出スヘシ  
 (參看) 鑛物ニ就テ借區出願方 明治廿三年 七月  
 農商務省令第七號拔萃

第五條 新ニ發見シタル鑛物ニ就テ借區ヲ出願スル者ハ其ノ鑛物ノ標品ヲ農商務省鑛山局長宛ニテ差出スヘシ  
 舊坑ニ就テ借區ヲ出願スル者其ノ舊坑ヨリ出願鑛物ヲ採製シタル事蹟ヲ證明シ得ルトキニ限り標品ヲ要セス  
 第十四類 農工商 廿五



前項ノ標品及証明書ハ借區願書ト同時ニ差出スヘシ  
但シ標品ヲ借區願書ト同時ニ差出スコトヲ得サルトキハ日限ヲ定メ借區願書ヲ差出ストキ其旨  
ヲ届出ヘシ

明治廿四年  
三月三十日

(廿三) 鑛業試堀并借區開坑廢業ノ節願出心得方  
縣令第三十五號  
鑛業試堀并借區開坑ヲ廢業セントスル時ハ農商務省ヨリ下附セラレタル証券若クハ指令書ヲ添付當廳  
へ願出ツヘシ

明治十五年  
二月十五日

郡 役 所

乙第拾號

半馬其他家畜一覽表差出方之義ニ付明治十一年一月乙第拾三號ヲ以テ相達置候處今般別表之通改正候  
條爾今右表式ニ照準シ可取調此旨相達候事

家畜一覽表例言

- 一 此表ハ管内家畜ノ改良及ヒ増減養育ノ盛衰ヲ調査センカ爲メニ編成スルモノナリ
- 一 表中種類ヲ分チ左ノ九種トス
  - 内種トハ牝牡皆内國種ナル者ヲ云フ
  - 洋種トハ種類ノ正確ナラサル洋種ノ牝牡ヨリ得タルモノヲ云フ
  - 内國種ノ牝ニ純粹洋種ヲボシ種ノ牝ヲ配シテ得タルモノ、如キハ假令ハ和洋デボン一回雜種ト云ヒ一回雜種ノ牝ニ洋種短角種ノ牝ヲ配シテ得タルモノ、如キハ和洋短角二回雜種ト云フ以下三四五回ハ之レニ倣ヒ六回ニ至ツテハ何々改良種ト稱ス

○牝牡洋種ニシテ假令ハ短角種ノ牝ニテボン種ノ牝ヲ配シテ得タルモノ、如キハ洋種デボン何回雜種ト稱ス

○退却雜種トハ假令ハ一回雜種ノ牝ニ内國種ノ牝ヲ配シ又ハ二回雜種ノ牝ニ一回雜種ノ牝ヲ配シテ得タルモノ、如キヲ云フ

- 一 ○雜種ハ都テ種牝ノ種類ヲ唱フルモノトス
- 一 初生ヨリ滿十二ヶ月迄ノ者ハ之ヲ分婉ノ部ニ掲ケ二歳ヨリ三歳マテヲ、犢トシ、四歳ヨリ十歳迄ヲ壯トシ、十一歳以上ノ者ヲ指テ老トス
- 一 カハ耕作運搬其他力役ノ用ニ供スルモノ、食ハ食料ニ供スルモノ、乳ハ乳汁ヲ取ル者ヲ云フ
- 一 賣トハ管外へ販賣スルモノ、屠ハ食料ニ供スル爲ニ屠フルモノ、斃ハ自然ニ斃死スルモノ、疫ハ疫病ノ爲メ斃ル、モノ、殺トハ疫症ノ兆効アリテ豫防ノ爲メ撲殺スル者ヲ云フ
- 一 合計トハ表中各種各自ニ就テノ合數ヲ云ヒ、總計ハ此合數ヲ都ヘタル總數ヲ云フ



























- 全十八年乙第六十七號
- 全廿年達甲第三號
- 一統計材料諸表
- 全十九年達甲第十九號
- 一町村土木工費總計表
- 全上
- 一水害表

明治二十三年  
十一月十七日

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 場

米麥作物報告ノ節ハ前期十箇年間収穫高ノ平均數ヲ以テ後期十箇年間ノ平均作ト定メ其増減歩合ハ百分率ヲ用フヘシ

但明治二十三年ヨリ向フ十ヶ年間ハ明治十三年ヨリ明治廿二年ニ至ル十ヶ年間収穫高ノ平均數ヲ取リ自後毎期遞次此例ニ據ルヘシ

(廿九) 勸業通信規程 明治廿一年  
二月三日  
達甲第四號

郡 役 所  
戶 長 役 場

勸業通信規程左之通り改正シ明治十二年(六月)乙第八十二號勸業通信規則并ニ之ニ關スル從前ノ達

總テ廢止ス

勸業通信規程

- 第一條 勸業通信規程ハ勸業事項通信報告ノ便捷ヲラシムコトヲ圖リ縣廳農商課ト各通信委員トノ間ニ於テ時々通信質問ノ便ヲ開キ農事工業商況ノ氣脈ヲシテ相聯絡セシムル爲メニ設ケルモノトス
- 第二條 通信委員ハ縣廳ニ於テ各郡農工商實業者中ニ囑托シ年手當ヲ給ス但其人員ハ一郡一名トシ時宜ニ依リ一郡ニ二名又ハ數郡ニ一名ヲ置クコトアルヘシ
- 第三條 各通信委員ハ常ニ其郡内農事工事通商ノ景況ト將來勸奨ノ見込等ヲ詳記シ時々農商課ニ通信スヘシ
- 第四條 前條通信ヲ分テ臨時報月報ノ二種トス其順序左ノ如シ
- 臨時報トハ事ノ重大又ハ急速ニ係ルモノニシテ凡ソ左ノ事項トス
- 一 氣候不順ニシテ冷熱度ヲ失シ或ハ風雨水旱等ノ災ニ因テ農業蠶事等ヲ妨グルノ類
  - 二 植物ノ虫害桑葉ノ霜災或ハ家畜傳染病ノ徴候又ハ蔓延スヘキ景況ノ類
  - 三 新ニ事業ヲ創起シ或ハ器械ヲ建設シタル者非常ノ災害ニ罹リ中途ニシテ廢業スル等ノ類
  - 四 輸出入ノ權衡ニ係ル重大ナル物品<sup>生糸繭蠶種</sup>織物等ノ類ノ時價及其騰貴下落ノ理由
  - 五 貿易上邊カニ其形勢ヲ變シタル有様<sup>蠶種</sup>等ハ平常何品幾何ノ價格ヲ以テ本縣ヨリ幾許ノ高ヲ輸出シ且ツ其將來ノ景況ニ就テノ意見等
- 月報トハ事急遽ニ係ラス每一ヶ月間ノ事項ヲ蒐集シテ通報スヘキモノニシテ凡ソ左ノ事項トス
- 一 山野ヲ開キ廢田ヲ興シ新ニ植物ヲ培養スル種類及ヒ其生育ノ景況等
  - 二 新ニ牧場ヲ開キ及畜養物生育ノ景況
  - 三 耕作及養蠶等ノ方法ヲ改良セシムル類
  - 四 從來棄テ、顧ミカリシ山野ノ遺利ヲ拾ヒ有益ノ物産ヲ興セシムル類
- 第十四類 農工商



- 五 養蠶ノ盛衰與廢并ニ製糸所創設及其製品販路ノ景況
- 六 農具或ハ工業上便宜ノ機械ヲ用ヒ或ハ水力風力火力牛馬力等ニ因リテ大ニ勞費ヲ減少セシ發明等ノ類
- 七 現時海外輸入品ニ代用スヘキ農工産物ノ繁殖或ハ新タニ輸出シテ外國需用ノ適否ヲ試ミシ類
- 八 從來農産物ノ製産高ヲ増加シ又ハ減少セシコト及其品位ヲ改良又ハ退却シタル景況
- 九 縣下必需品ノ有餘不足及從來輸入セシ物品ノ増減及ヒ其價格ノ昂低并産地等
- 十 農事工業上ニ於テ人民新タニ一種ノ營業ヲ興起セシ類
- 十一 衆ニ摺テ、其業ヲ勉メ遺利ヲ興シ産ヲ開キ器械及模造品ヲ創造シ其他荷モ一般ノ公益トナルヘキ事業ヲ起シ世人ノ標準トナルヘキ者ノ姓名及ヒ其履歷等
- 第五條 凡ソ通信ハカメテ平易ノ文ヲ用ヒ虛飾失實ノ弊ナキヲ要ス其得失利害ニ關スルモノハ最モ注意スヘシ
- 第六條 報告書中筆述シ難キ物質ノ形狀等ハ圖書ヲ添ヘ及ヒ數量ノ多端ナル統計ニ係ルモノハ計表ヲ添フ可シ又々各郡村方言等ノ一般ニ解得シ難キモノハ傍訓ヲ施シ或ハ分註ヲ加フヘシ其物質形狀等摸寫シ難キモノハ現品ヲ送致スヘシ
- 第七條 農商課ニ於テ各報ヲ檢點シ事實明瞭ナラサルカ或ハ疑義アリテ之レヲ質問スルカ若シハ別ニ問題ヲ發スルコトアルトキハ各通信委員ハ速ニ之レニ應答スヘシ
- 第八條 農商課ニ於テハ各通信報告中ニ就キ一般ノ事業ニ關シ便宜ヲ與ヘ又ハ當業者ノ參考トナルヘキモノト認ムルトキハ或ハ之レニ本課ノ意見ヲ加ヘ内外ノ雜事雜説ヲ付記シテ之レヲ一般ニ報スヘシ但一郡一村ニ限リ關係ノ事項ハ特ニ該郡村ノミヘ報告スルコトアルヘシ
- 第九條 各通信委員ニ於テ農工商事業ニ關シ疑義アルトキハ農商課ヘ質問スルコトヲ得ヘシ

附 則

何人ヲ問ハス農事工業及貿易通商ニ關スル事項ノ世益ト認メ又ハ其事項ヲシテ廣シ報告シテ世人ニ知ラシメ或ハ疑義ヲ質問セント欲スル者ハ此規程ニ依リ通信スルヲ得ヘシ但其事項ノ緩急及可否ハ農商課ニ於テ取捨スヘシ

(二十) 郵便物表書ヘ地名記入ノ件 明治廿三年 六月三十日 達甲第廿五號

郡	役	所
市	役	所
村	役	場

今般其筋ヨリ照會ノ趣モ有之候ニ付テハ自今警察分署又ハ收稅部出張所派出所等ヘ宛發送スル郵便物ノ表書ニハ必ラス宛名所在ノ國郡市村名ヲ判然肩書スヘシ

(卅一) 銃獵期限 第十四類警察ノ部ニ就テ看ルヘシ

(卅二) 有害鳥獸防除規則 全上

(卅三) 有益鳥類獵獲禁止 明治廿四年 八月十日

縣令第五十九號 農作物保護ノ爲メ自今左ノ鳥類獵獲ヲ禁ス

燕 雀  
鴿 鴉

(卅四) 蠶種檢査ニ關スル件 明治廿四年 十月二日 縣令第七十號

蠶種ノ檢査ハ自今當應ニ於テ認可セシ私立檢査所ノ檢査ニヨリ證印ヲ附與シ當應ノ檢査ハ施行セス但認可セシ私立檢査所ハ其時々告示ス

第十四類 農工商



(卅五) 蠶種掃立枚數及製造額屆期限  
訓令二十三號

明治廿四年  
六月廿九日

卅八

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 場

明治廿年(四月)縣令第四十一號蠶種檢查規則施行手續第六條春蠶種掃立枚數及製造額屆ハ市村長ニ於テ一市村限取繼メ市長ハ七月三十一日迄ニ縣廳ヘ村長ハ七月二十五日迄ニ郡役所ヘ郡長ハ一郡分取繼メ七月三十一日迄ニ縣廳ヘ進達スヘシ  
但夏秋蠶種ノ掃立枚數製造豫算額屆モ本文ニ準テ檢査期日ヨリ三十日以前ニ取繼メ進達スヘシ

第十五類 租 稅

(一) 地租條例及地租條例施行細則取扱方  
縣令第三號  
明治廿三年  
一月廿九日

地租條例及地租條例施行細則取扱方心得左ノ通定ム

但從前ノ達指令等ニテ抵觸スルモノハ總テ廢止ス

地租條例及地租條例施行細則取扱方心得

第一類

田 未定田 沼田  
畑 未定畑 流作畑 切替畑  
郡村宅地 燒宇敷地 山車敷地  
市街宅地 社寺境內 鹽池  
鹽田 製鹽地 未定鹽溜  
鐵泉地 冷泉地 未定鹽溜

第二類

池沼 堀池 養魚池 水車溝  
山林 柴草山 竹木雜生 竹 致  
牧場 柴草山 石井 水車溝  
原野 柴草山 柴浦 地芝  
雜種地 布網蓋 野場 柴浦 地芝  
第十五類 租 稅  
土揚場 稻干場 海岸砂地 土取場 流木置場  
土揚場 稻干場 海岸砂地 土取場 流木置場

卅九



廿四年(四月)縣令第三十七號ヲ以テ二條削除

第三條 條例第十條第一項ノ屆書ハ第一號書式ニヨリ其時々所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第四條 條例第十條第二項ノ土地ハ五ヶ年目ニ至リ第二號書式ニ依リ地價修正願書ヲ其年一月三十一

日限リ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第五條 條例第十條第三項ノ土地ハ六ヶ年目ニ至リ第三號書式ニヨリ地價修正願書ヲ其年一月三十一

日限リ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第六條 條例第十六條第一項ノ屆書ハ第四號書式ニヨリ其時々所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第七條 條例第十六條第三項ニヨリ十一年以上ノ開墾嶽下年期ヲ請ハントスルトキハ第五號書式ニヨ

リ願書ヲ其時々所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第八條 條例第十六條第四項ノ土地ハ第六號書式ニヨリ拂下又ハ下渡許可ノ日ヨリ三十日以内ニ地價

ノ査定及嶽下年期附與願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第九條 條例第十六條第五項ノ土地ハ第七號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十條 條例第十六條第六項ノ土地ハ第八號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十一條 條例第十八條ニ依リ繼年期及免租地開墾ノ地價査定ヲ請ハントスルトキハ第九號書式ニヨ

リ期明ノ年一月三十一日限リ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十二條 條例第十九條ノ土地ハ第十號書式ニヨリ期明ノ年一月三十一日限リ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差

出スヘシ

第十三條 條例第二十條ニヨリ免租ヲ請ハントスルトキハ第十一號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅

分署ヘ差出スヘシ

第十四條 荒地免租年期中再ヒ水害ニ罹リタルトキハ第十二號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署

ヘ差出スヘシ

第十五條 免租年期明ニ至リ原地價ニ復シタルトキ及他ノ地目ニ變換并ニ改租以前ノ荒地ニシテ新ニ

地價査定ヲ請ハントスルトキハ第十三號書式ニヨリ年期明ノ年一月三十一日限リ願書ヲ所轄直稅分

署ヘ差出スヘシ

第十六條 條例第二十一條ニヨリ低價年期ヲ請ハントスルトキハ第十四號書式ニヨリ免租期明ノ年一

月三十一日限リ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十七條 低價年期明原地價ニ復シ又ハ復セサルトキハ第十五號書式ニヨリ其期明ノ年一月三十一日

限リ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十八條 荒地免租年期明ニ至リ尙荒地ノ形狀ヲ存シ其免租繼年期ヲ請ハントスルトキハ第十六號書

式ニヨリ其期明ノ年一月三十一日限リ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第十九條 條例第二十四條後段ノ土地ハ第十七號書式ニヨリ其期明ノ年一月三十一日限リ願書ヲ所轄

直稅分署ヘ差出スヘシ

第二十條 條例第四條第十三條ニヨリ免租ヲ請ハントスルトキハ第十八號書式ニヨリ公立學校敷地郷

村社地墳墓地禁伐林ハ許可又ハ命令ヲ受ケタルノ日ヨリ用惡水路溜池堤塘井溝鐵道用地及公衆ノ用

ニ供スル道路ハ工事着手ノ日ヨリ三十日以内ニ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第二十一條 條例第十一條ニヨリ地價ノ査定ヲ請ハントスルトキハ第十九號書式ニヨリ許可ノ日ヨリ

三十日以内ニ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

廿三年(七月)第五十一號ヲ以テ廿二條ヲ削除

第二十二條 官有地拂下又ハ下ケ渡ノ許可ヲ受ケタルトキハ第二十一號書式ニヨリ許可ノ日ヨリ三十

日以内ニ願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第二十四條 畦畔ヲ廢除シタルトキ第二十二號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

但地目變換荒地起返其他異動ノ爲メ廢除スルモノハ此限リニアラス

第十五類 租 稅



第二十五條 前條ノ地價ハ廢除シタル翌年ヨリ訂正スヘシ  
 第二十六條 畦畔ヲ新設シタルトキハ第二十三號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ  
 但地目變換荒地起返其他異動ノ爲メ新設スルモノハ此限リニアラス  
 第二十七條 前條ノ地價ハ新設シタル當年ヨリ訂正スヘシ  
 第二十八條 土地分裂合併ノ際反別ニ異動ヲ生シタルトキハ第二十四號書式ニヨリ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ  
 但反別ニ異動ヲ生セサルモノト雖モ分裂又ハ合併セントスルトキハ其時々願書ヲ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

第二十九條 道路溝渠ヲ隔ツルモノ并ニ地目若クハ字ヲ異ニスルモノハ合筆スルヲ得ス  
 第三十條 實地ノ檢査ヲ要スルトキハ地主又ハ地主總代之レニ立會フヘシ  
 第三十一條 前各條ノ願書市村長ノ與書ヲ受クヘシ但願書ハ正副二通一筆限帳ハ一冊願書ハ一通トス

(第一號)

地目變換届(一類地ヲ二類地ニ變換シタルモノハ變換届トス)  
 何 郡 何 村  
 字 何 第 何 番  
 一 何 (舊地) 反別何程  
 此地價金何程  
 此地租金何程  
 (數筆變換シタルモノハ列記スヘシ)

右之地所今般何々(變換)ニ變換候間此段及御届候也

明治何年何月何日

山梨縣知事宛

右 何 某 印

(第二號)

地目變換地價修正願  
 何 郡 何 村  
 當市明治何年一月ヨリ十二月迄ニ於テ地目變換及御届置候分一筆限リ實地丈量之土地價取調候處別冊之通ニ候間地價修正相成度別冊一筆限取調書相添此段相願候也

年 月 日

山梨縣知事宛

右地主或ハ地主總代 何 某 印

(第二號附屬)

明治何年自一月地目變換地價修正一筆限取調書  
 至十二月地目變換地價修正一筆限取調書  
 ○(數年ニ係ルモノハ一ヶ年限リ別冊ニスヘシ)  
 何 郡 市 村

第十五類 租 稅

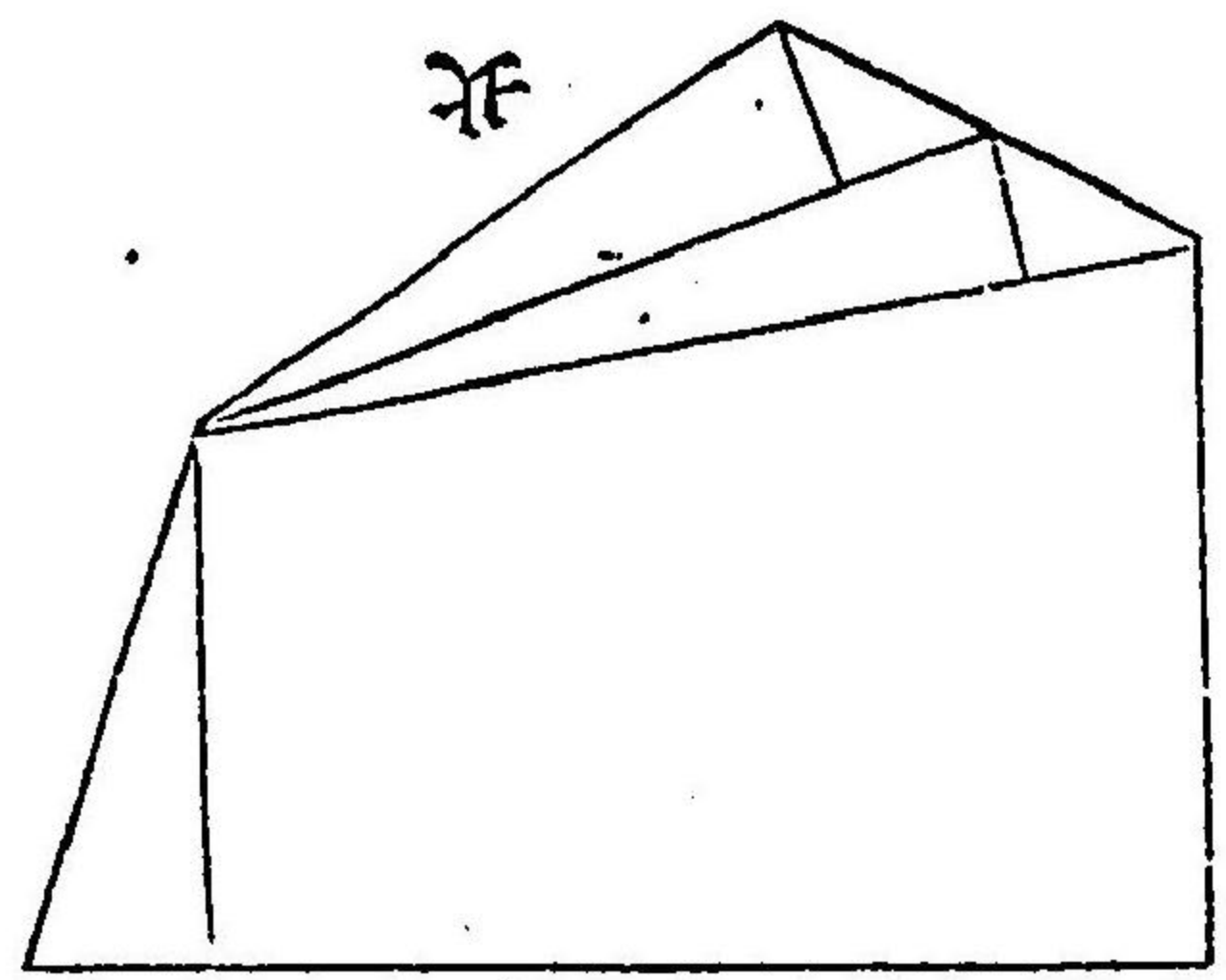


(全筆變換ノ例)

字何々  
 第何番  
 ○元畑反別何程  
 ○此地價金何程  
 ○此地租金何程  
 ○一郡村宅地反別何程  
 內反別何程  
 此地價金何程  
 此地租金何程  
 但何年何月變換

○地元村ノ者ハ肩書ニ及ハス以下同  
 丈量増  
 反金何程

何郡何村ノ  
 某印



イ 何坪何合何勻  
 ロ 全 上  
 ハ 全 上  
 ニ 全 上  
 ホ 全 上  
 計 全 上  
 此二除  
 何坪

(合筆變換ノ例)

字何々  
 第何番  
 ○元郡村宅地反別何程  
 ○此地價金何程  
 ○此地租金何程  
 字何々  
 第何番  
 ○元田反別何程  
 ○此地價金何程  
 ○此地租金何程  
 字何々  
 第何番  
 ○元田反別何程  
 ○外反別何程  
 ○此地價金何程  
 第十五類

租 稅

○畦畔



○此地租金何程  
第何番ニ比較

何等

一畑反別何程  
内反別何程

畦畔生地成増  
丈量増

何ノ某印

此地租金何程  
但何年何月ノ變換

反金何程

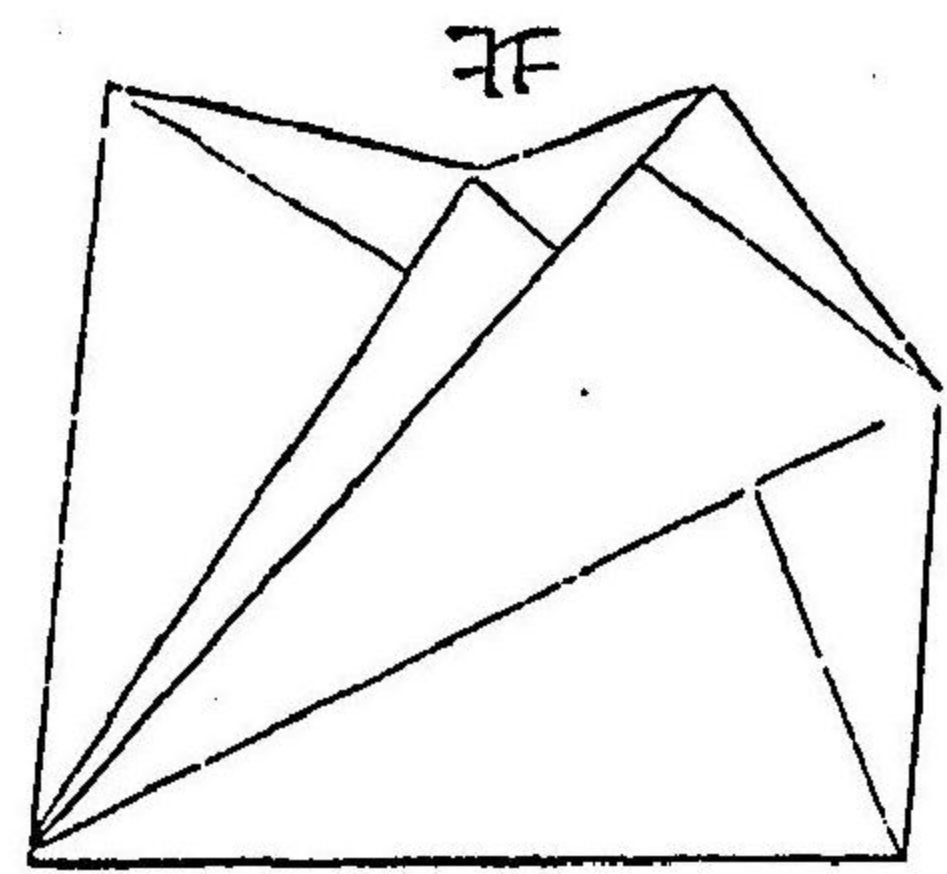
郡村宅地ヨリ變換

反別何程  
此地租金何程

畦畔生地成増  
丈量

田ヨリ變換

内反別何程  
此地租金何程



イ何程  
ロ何程  
ハ何程  
計何程  
此二除何程

(分裂變換ノ例)

字何々  
第何番

○反別何程  
○据置

○元畑反別何程

○此地價金何程  
○此地租金何程

○此地租金何程

内  
○元反別何程  
○此地價金何程

何等

何ノ某印

○第何番ニ比較  
一田反別何程

丈量増  
畦畔成減

反金何程

内反別何程  
此地價金何程  
但何年何月變換

イ何程

變換ノ分

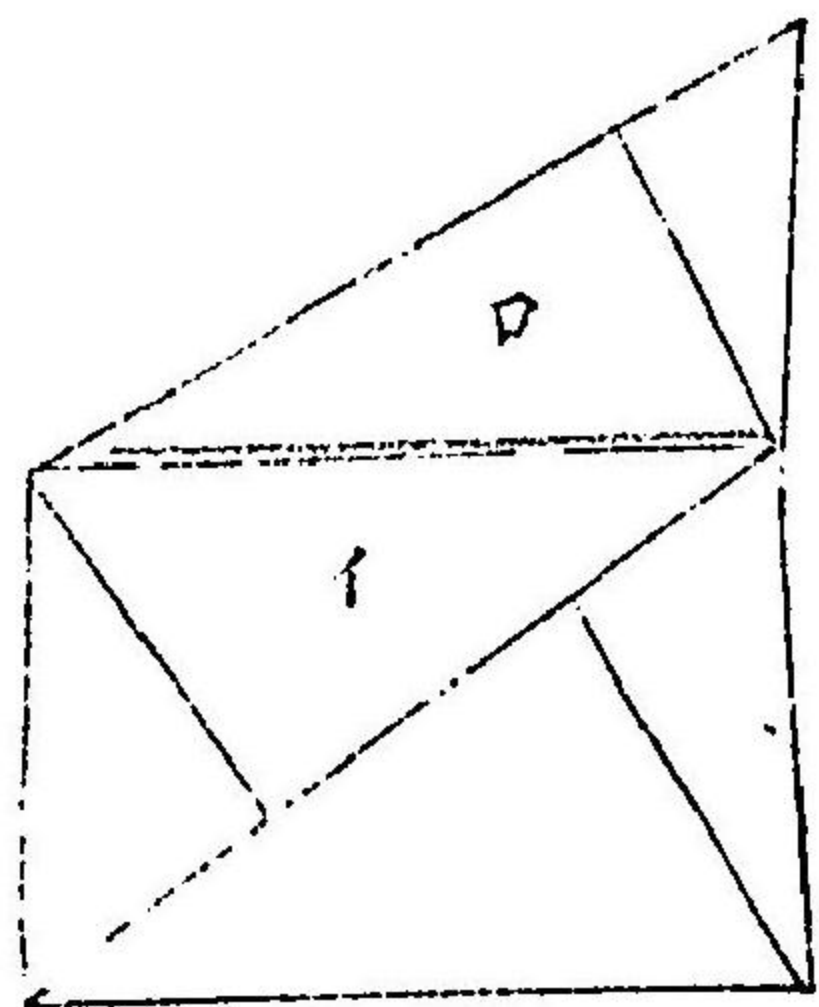
此二除何程

ロ何程

据置ノ分

此二除何程

第十五類 租 稅





右寄

○元反別何程

○外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

合反別何程

內 反別何程

外 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

內 譯

○元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

田反別何程

內 反別何程

外 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

元郡村宅地反別何程

○何筆

○畦畔

何筆

畦畔生成増

文量減

畦畔成減

○何筆

何筆

何筆

丈量増

畦畔成減

此地價金何程

此地租金何程

元田反別何程

外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

畑反別何程

內 反別何程

外 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

內

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

反別何程

內 反別何程

外 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

右之通和違無之候也

第十五類 租 稅

畦畔

何筆

畦畔生地成増

丈量減

何筆

何筆

宅地ヨリ變換

何筆

畦畔生地成増

丈量増

田ヨリ變換



年 月 日

山梨縣知事宛

(第三號)

類地變換地價修正願

當市明治何年中ニ於テ第一類地ヨリ第二類地ニ變換之義及御屆置候分一筆限リ實地丈量之上地價金取調候處別冊之通ニ候間本年ヨリ地價金修正相成度此段相願候也

年 月 日

山梨縣知事宛

(第三號附屬)

明治何年中類地變換地價修正一筆限取調書

何市郡村

各地主又ハ地主總代 五十

何 某 印

何市郡村

右地主又ハ地主總代 何 某 印

字何々

第何番

○元田反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

○何番ニ比較

一池沼反別何程

內 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

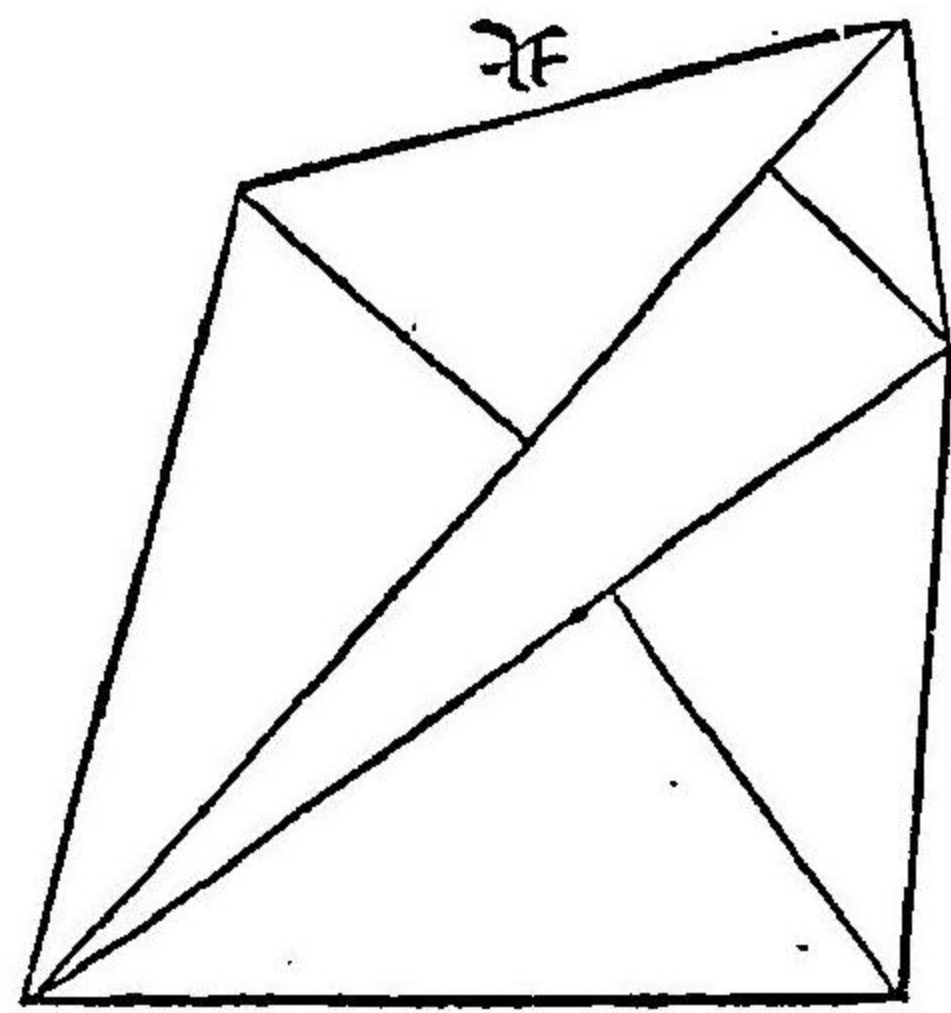
但何年何月變換

養魚池(或ハ蓮堀)何等

丈量増

反金何程

何 某 印



イ 何 程

ロ 何 程

計 何 程

ニ除 何 程

字何々 第何番

第十五類 租 稅



元畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番比較

一山林反別何程

內 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年何月變

竹數〔林或ハ實地〕何等  
名稱ヲ云フ

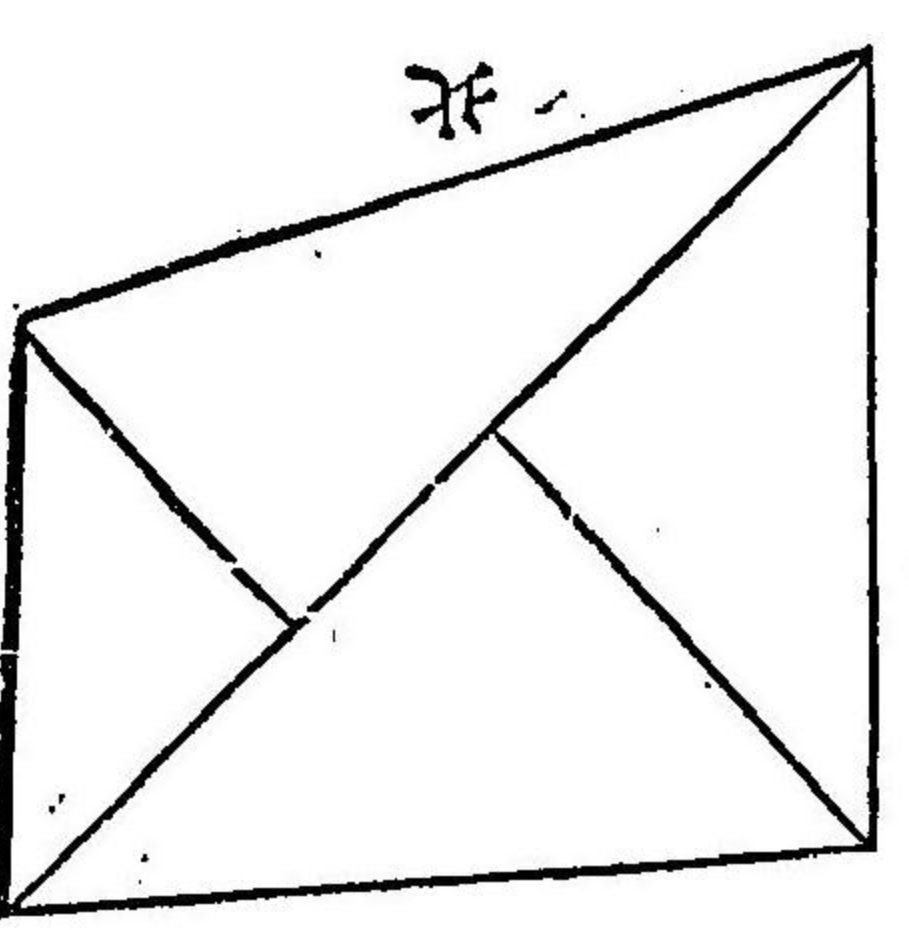
丈量增

反金何程

何程

此二除何程

何 某印



字何々  
第何番

元畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番比較

一原野反別何程

內 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年何月變換

芝地〔實地〕何等  
名稱

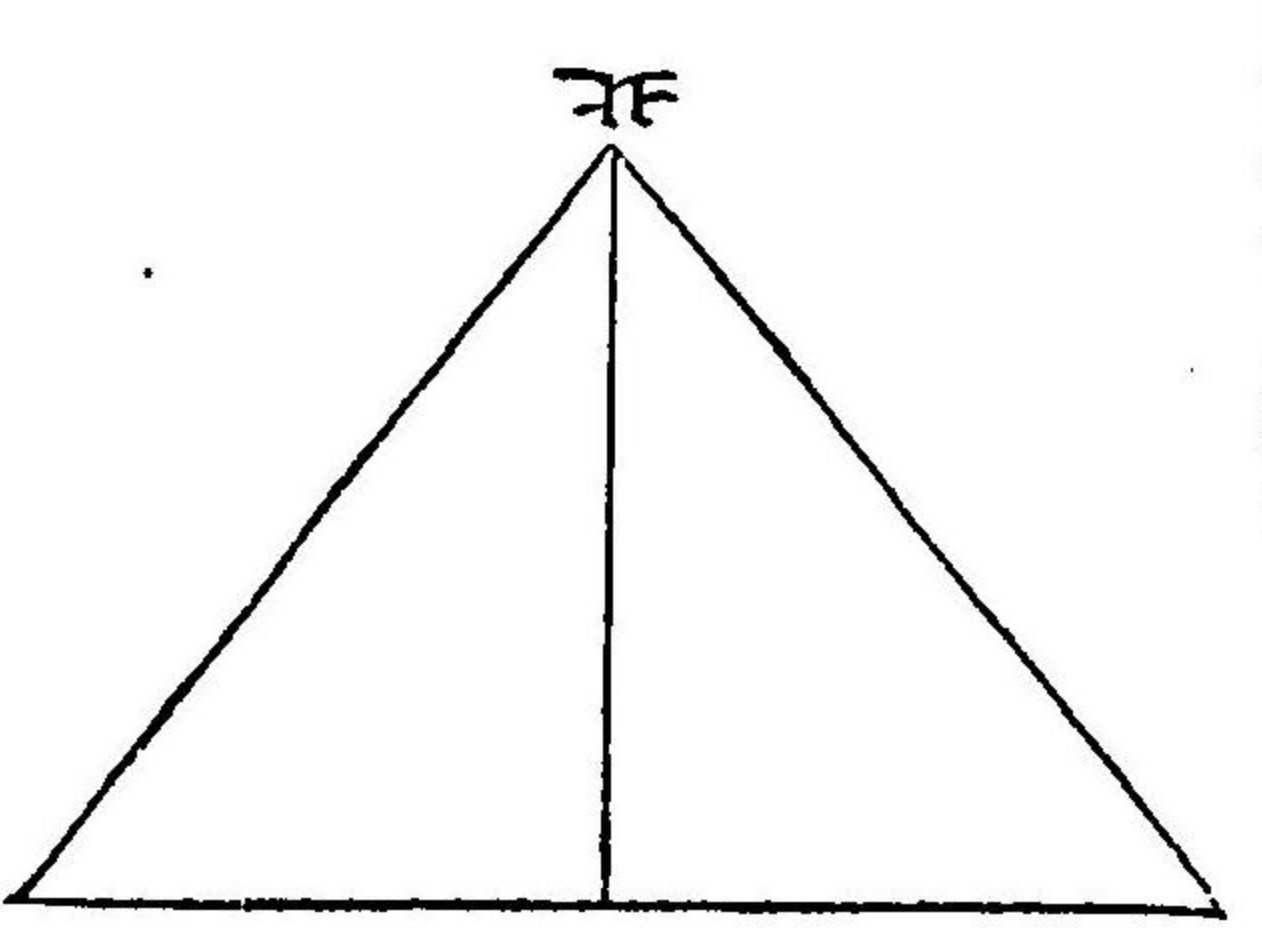
丈量增

反金何程

何程

此二除何程

何 某印



元反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番比較

一山林反別何程

內 反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年何月變換

芝地〔實地〕何等  
名稱

丈量增

反金何程

何程

此二除何程



此地價金何程

此地租金何程

內 譯

○元田反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

池沼反別何程

內 反別何程

此地價金何程

○元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

山林反別何程

內 反別何程

此地價金何程

○元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

五十四

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

右之通相違無之候也

此地租金何程

此地價金何程

原野反別何程

年 月 日

(第四號)

何市郡

字何々

第何番

一山林反別何

此地價金何程

此地租金何程

字何々

第何番

一原野反別何程

此地價金何程

此地租金何程

第十五類

租 稅

五十五

山梨縣知事宛

開墾届

右地主又ハ地主總代

何 何 某 某 印 印

何市郡村 某

同 人



(以下列記スヘシ)

右之地所本年何月若手十ヶ年以内成功ノ見込ヲ以テ何々地目ニ開墾致度候間此段及御届候也

年月日

山梨知事宛

開墾御下年期附與願

(第五號)

何市郡

字何々

第何番

一何地反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但明治何年ヨリ全何年迄何ヶ年季

○(數筆以上ノモノハ一筆限帳トシテ添付スヘシ)

右之地所今般何々(目的)ニ開墾仕度ノ處何々ニテ(非常ノ勞費ヲ要ス)開墾成功難相成候ニ付實地御檢

査ノ上前記ノ通御下年期御附與相成度此段相願候也

年月日

山梨縣知事宛

(第六號)

右地主

何

某印

何市郡村

何

某

(拂下)地々價査定及ヒ開墾御下年期附與願

當市内字何々官有地開拓之上今般拂下相成候ニ付一筆限リ實地丈量之上素地相當ノ地價取調候處別冊之通ニ有之然ルニ未タ實地熟地ニ至ラス又ハ何々(御下年期ヲ要ス)候ニ付別冊一筆限ニ記載之通御下年期中素地々價ニヨリ御徵租相成度此段相願候也

年月日

山梨縣知事宛

(第六號附屬)

右地主又ハ地主總代

何 何 某印 某印

(下渡)地々價査定及ヒ開墾御下年期一筆限取調帳

何市郡村

字何々

第何番

○元官有山林反別何程

○何番ニ比較 何等 第十五類 租 稅

○何年何月何日第何號ヲ以テ(拂下)(下渡)御許可



一山林反別何程

内反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

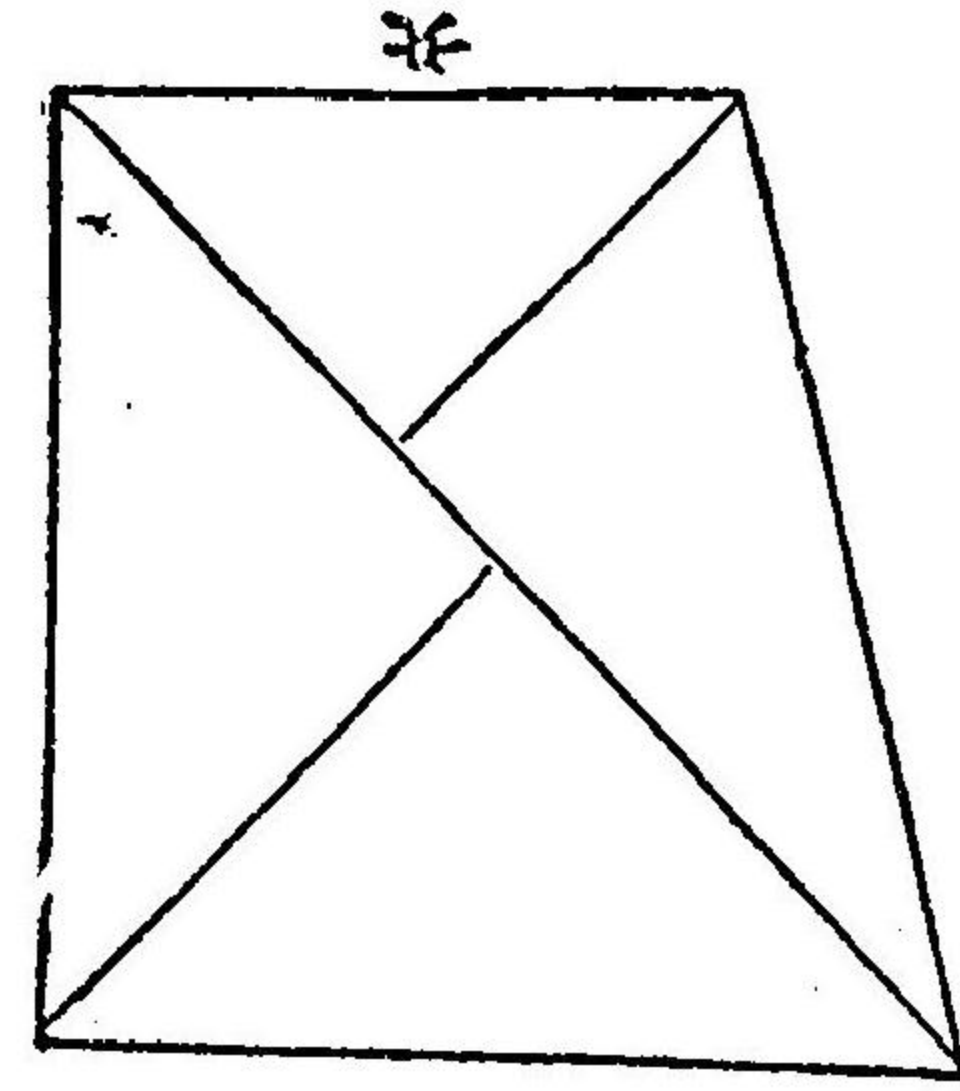
金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年季

丈量増

何 五十八 某印

本年月割納租何月ヨリ何々  
月分翌何年ヨリ納租ノ分



イ何程  
ロ全上  
計全上

此二除何程

字何々

第何番

○元官有原野反別何程

○何番ニ比較

一原野反別何程

内反別何程

丈量増

何年何月何日第何號ヲ以テ(拂下)(下渡)御許可

何 某印

此地價金何程

此地租金何程

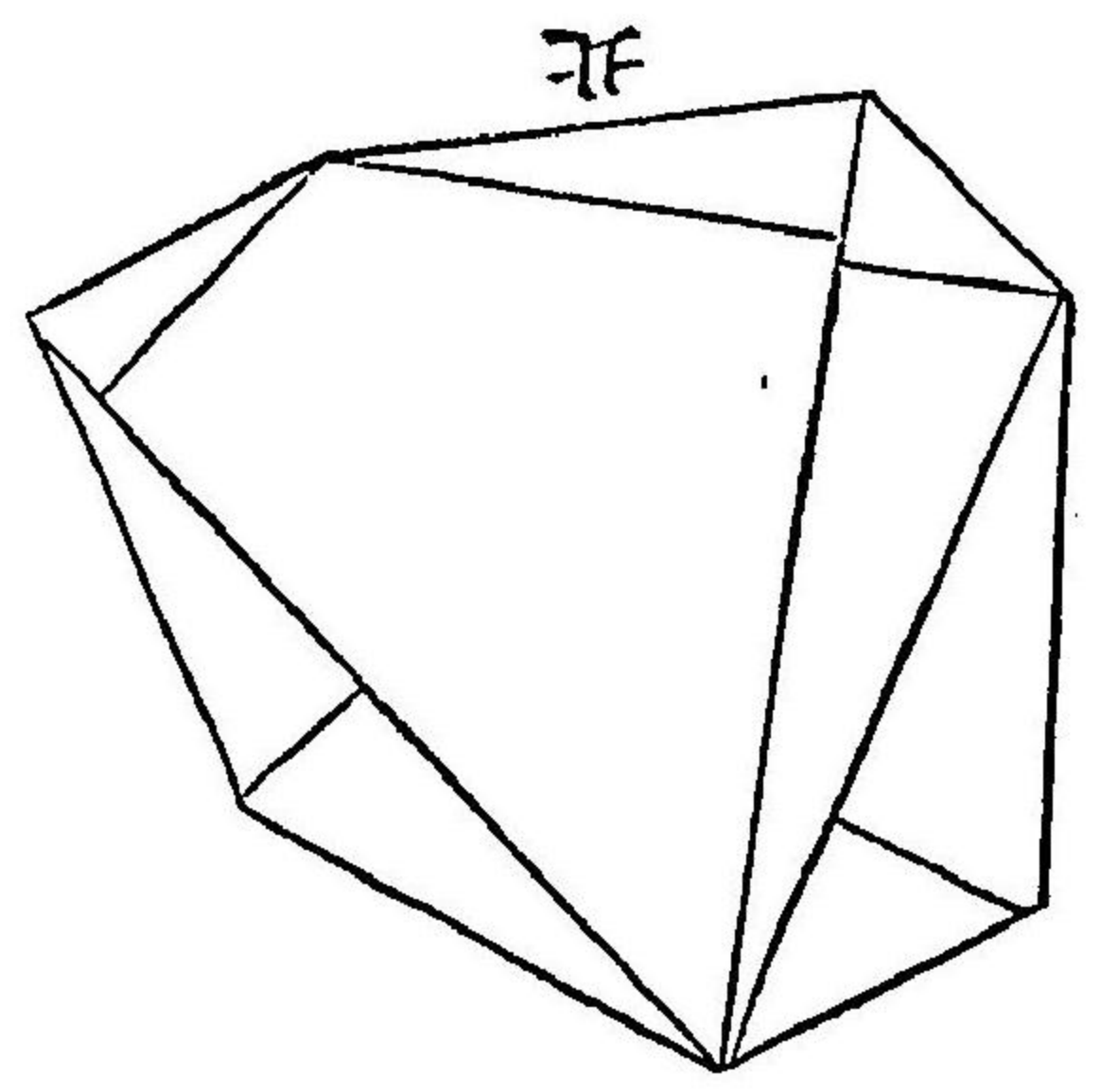
内金何程

金何程

但明治何年ヨリ全何年迄何ケ年季

反金何程

本年月割納租何月ヨリ何ケ月分  
翌何年ヨリ納租ノ分



イ何程  
ロ何程  
ハ、、、  
ニ、、、  
計、、、  
此二除、、、

以下一筆限リ做之  
總計

○元官有反別何程  
合反別何程

内反別何程

此地價金何程

第十五類

租 税

丈量増

何筆

五十九



此地租金何程

内 金何程

金何程

○元官有山林反別何程  
山林反別何程

内 反別何程

此地假金何程

此地租金何程

内 金何程

金何程

○元官有原野反別何程  
原野反別何程

内 反別何程

此地假金何程

此地租金何程

内 金何程

金何程

○以下各地目限々倣之

六十

本年月割納租何月ヨリ何ヶ月  
分翌何年ヨリ納租ノ分

何筆 明治何年ヨリ何ヶ年季  
何筆 全何年迄何ヶ年季

(年期ノ異ナルモノハ  
内譯スヘシ以下倣之)

前全

何筆 明治何年ヨリ何ヶ年季  
何筆 全何年迄何ヶ年季

前全

右之通相違無之候也

年 月 日

(第七號)

山梨縣知事宛

新開地畝下免租年期附與願

何郡市村

字何々

○元官有(湖又ハ) 明治何年何月何日第何號ヲ以テ無代下渡御許可  
一何反別何程

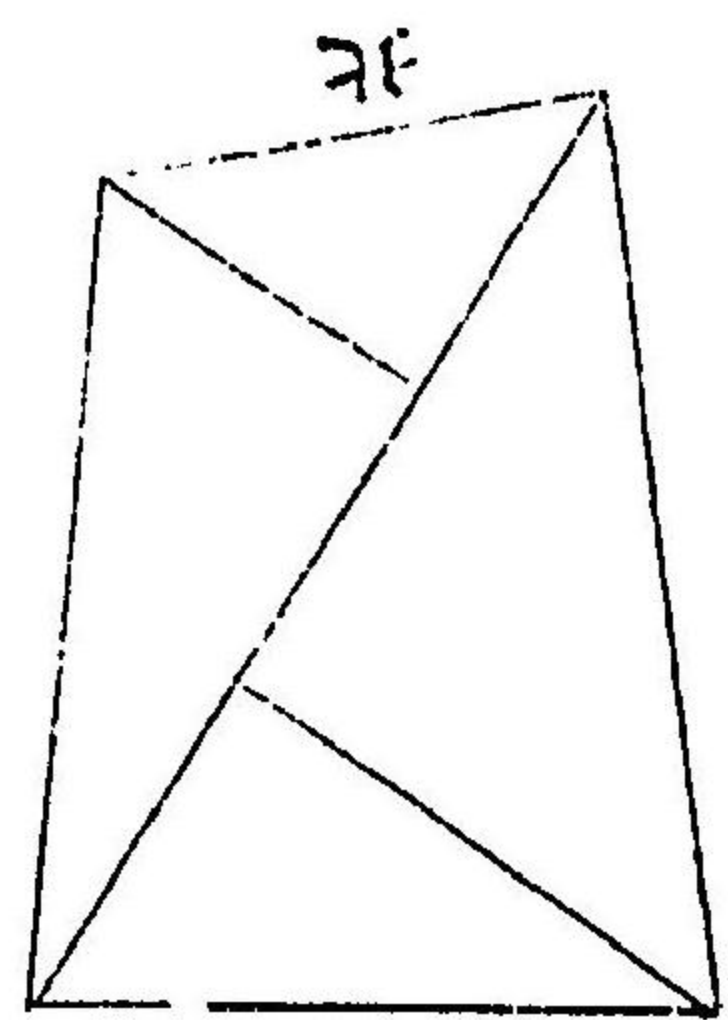
但明治何年ヨリ同何年迄何ヶ年季

右地主又ハ地主總代

何 何 某印

何郡市村

何 某印



イ 何程  
ロ 何程  
計 何程  
此二除何程

第十五類 租 稅

六十一



右ハ水面埋立成功ニ付今般御下渡相成候ニ付實地丈量ノ上現地反別取調候處前記之通ニ有之候間右等  
期間地租御免除相成度此段相願候也

六十二

年月日

山梨縣知事宛

右地主又ハ地主總代  
何 某印

(第八號)

地目變換地價据置年期附與願

何市郡

字何々

何市郡村

某

第何番

一何(地)反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年ヨリ何年迄何ケ年据置

○(以下倣之列記又ハ一筆限別冊トナシ添付スヘシ)

右之地所今般何々(變換)ニ變換仕度ノ處何々(用水路新設又ハ事業上勞)ノ爲メ非常ノ勞費ヲ要シ普通  
變換ノ例ニヨリ修正地價ニヨリ六ケ年目ヨリ御徵租相成候トキハ到底收支難相償候ニ付實地御檢査ノ  
上前記年期間地價御据置相成度別紙事業費概算書式相添此段相願候也

年月日

右地主又ハ地主總代

何 某印

(第九號)

山梨縣知事宛

明治何年

(開墾(下) 繼年期)及ヒ素地價(取調一筆限帳  
新開免租)

何市郡村

字何々

第何番

有租地ノ分

何 某印

一山林反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期ノ處未成功ニ付

同何年ヨリ何年迄何ケ年繼年期

字何々

第何番

何等

一原野反別何程

第十五類

租 稅

今回素地々價査定ノ分

何 六十三 某印



此地賃金何程

反金何程

六十四

此地租金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期ノ處未成功ニ付

同何年ヨリ何年迄何ケ年繼年期

字何々

第何番

一原野反別何程

有租地ノ分

何

某印

此地賃金何程

此地租金何程

但同年期

字何々

第何番

一山林反別何程

右 同

何

某印

此地賃金何程

此地租金何程

但明治何年ヨリ同何年迄何ケ年期ノ處未成功ニ付

同何年ヨリ何年迄何ケ年繼年期

。以下倣之

總計

何筆

合反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

內反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

內譯

山林反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

。以下倣之

原野反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

內反別何程

此地賃金何程

此地租金何程

右之通相違無之候也

今回素地々價査定ノ分

何年ヨリ何年迄何ケ年期明ノ處

何年ヨリ何年迄何ケ年繼

何年ヨリ何年迄何ケ年期明ノ處

何年ヨリ何年迄何ケ年繼

今回素地々價査定ノ分

右地主又ハ地主總代

何

何

某印

某印

(第十號)

第十五類 租 稅

山梨縣知事宛

六十五

年 月 日



開墾年期又ハ(地價据置年期明)地價修正(及査定)願  
 新開免租年期明) 六十六

當市開墾地ノ内本年明成功ノ分一筆限實地丈量之上現地相當之地價金取調候處別冊之通ニ有之候間  
 地價修正及ヒ御査定)相成度別冊一筆限帳相添此段相應候也

年 月 日

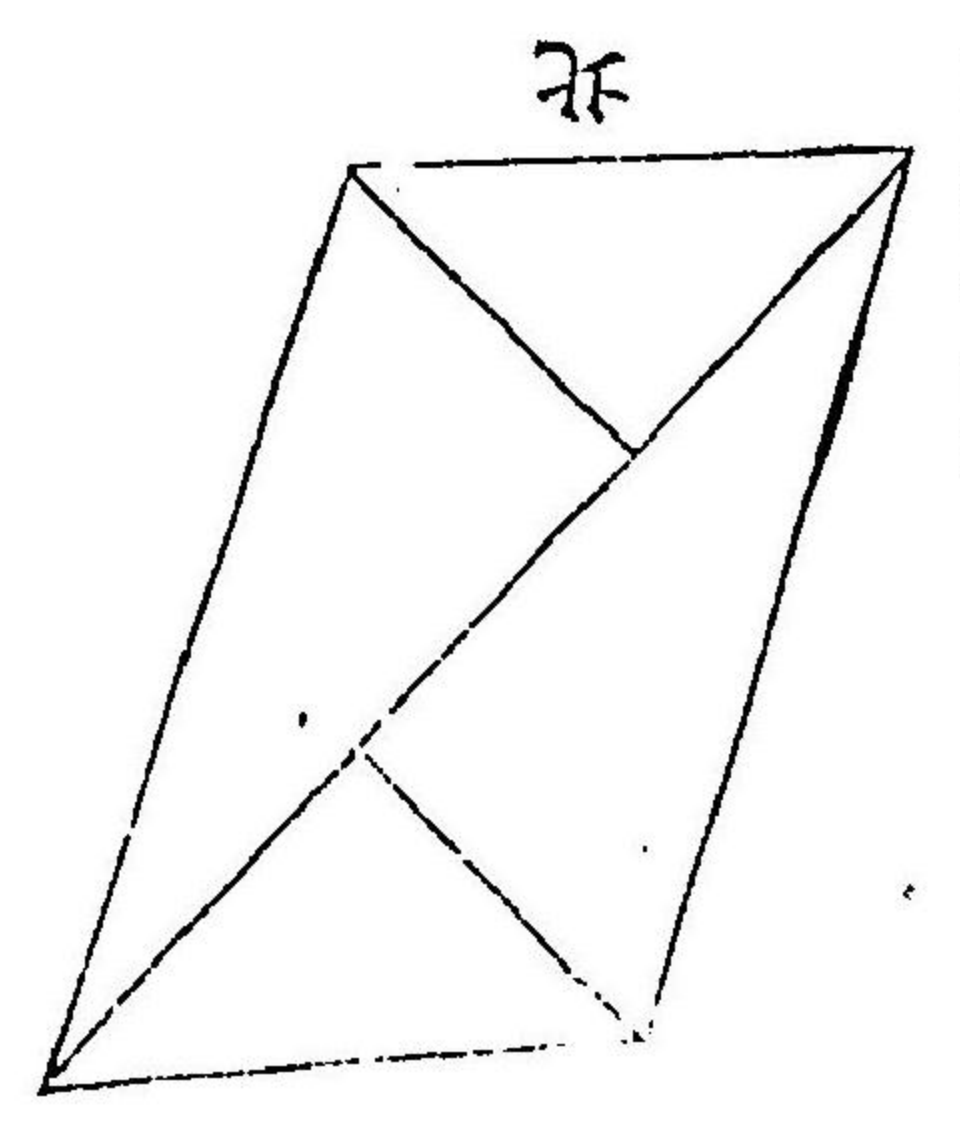
山梨縣知事宛

右地主又ハ地主總代  
 何 某印  
 何 某印

明治何年  
 開墾年期明成功之分一筆限取調帳  
 何 市郡  
 何 村

字何々  
 第何番  
 ○元山林反別何程  
 ○此地價金何程

○但何年ヨリ何年迄何々年季



○此地租金何程  
 ○何番ニ比較  
 一田反別何程

何等

何 某印

内反別何程  
 丈量増  
 畦畔成減

此地價金何程  
 反金何程

何 坪  
 此二除何程

字何々  
 第何番  
 ○元原野反別何程  
 ○此地價金何程  
 ○此地租金何程  
 ○内

反別何程  
 据置  
 此地價金何程  
 此地租金何程

○元反別何程  
 第十五類 租 稅

六十七



六十八  
但何年ヨリ何年迄何ケ年季

此地價金何程  
此地租金何程

同番ノ内一

何番ニ比較

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

同番ノ内二

何番ニ比較

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

反金何程

何 某印

何等

反金何程

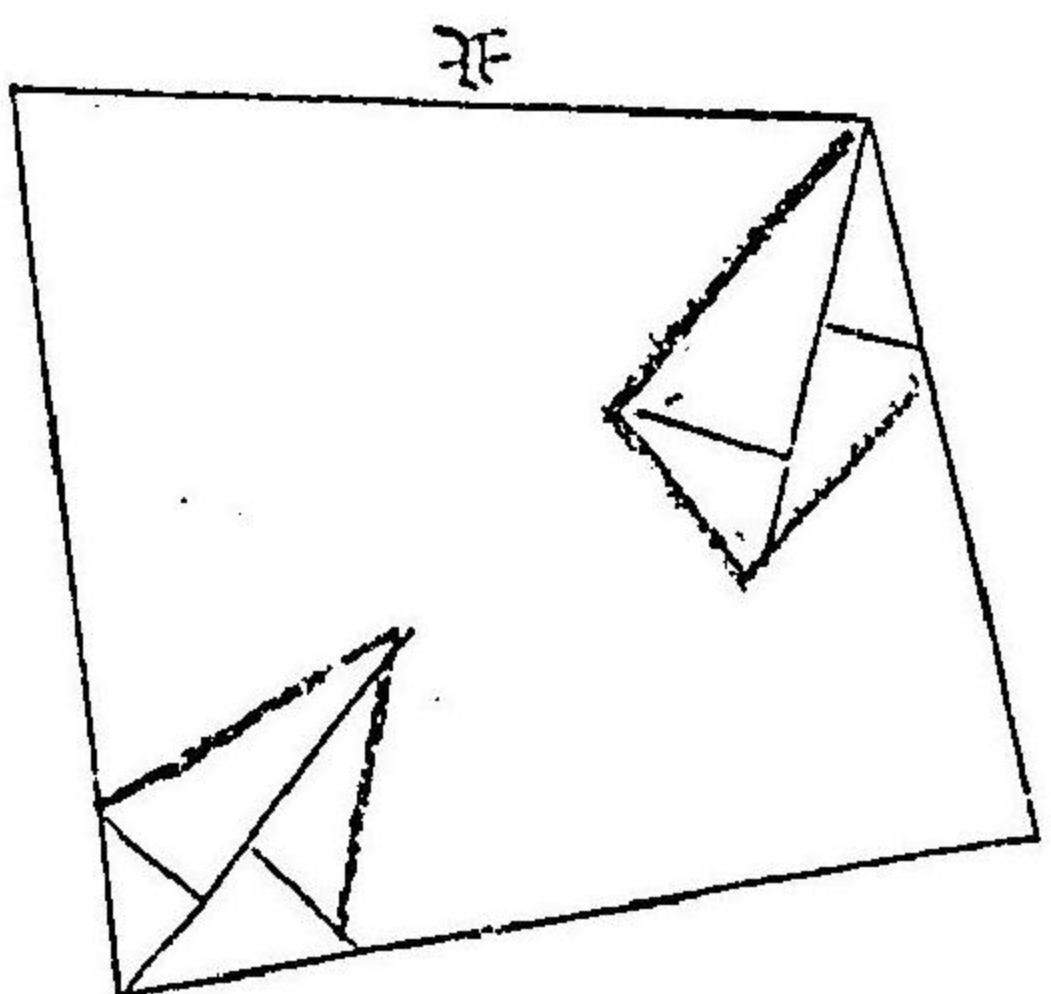
同 人印

イ何程

此二除何程

ロ何程

此二限何程



第何番  
字何々

○元山林反別何程

○但無租地

何番ニ比較

一田反別何

兩反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○(以下倣之)

何等

○但何年ヨリ何年迄何ケ年季

何 某印

丈量増

畦畔成減

反金何程

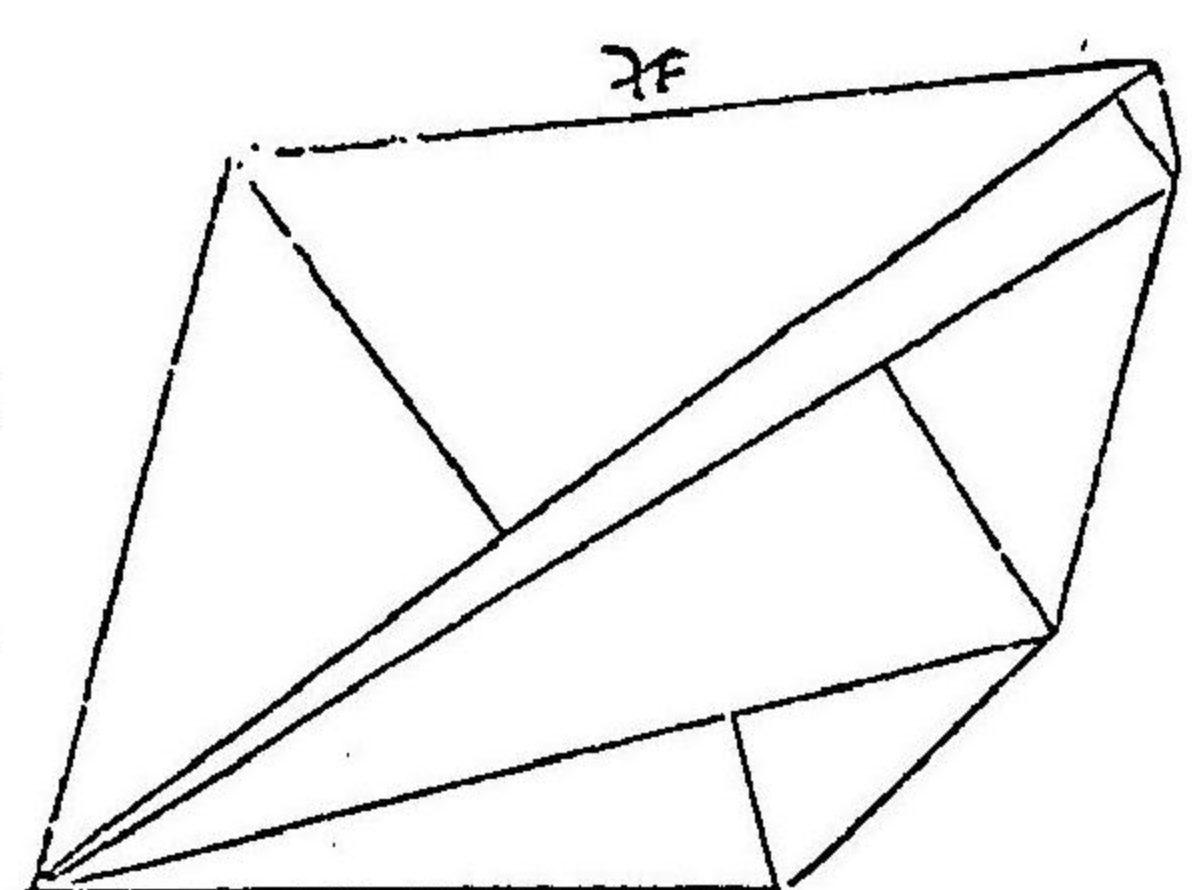
イ何程

ロ全上

ハ全上

計全上

此二除何程



第十五類  
總計  
租稅

六十九



○元反別何程

○內反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

合反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

此譯

○元山林反別何程

○內反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

田反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○元山林反別何程

內

無租地

何筆

七十

丈量增  
畦畔成減  
丈量減

何筆

無租地

何筆

丈量增  
畦畔成減  
丈量減

何筆

何筆何年ヨリ何年迄何ヶ年季

○此地價金何程

○此地租金何程

反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

元山林反別何程

○但無租地

反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○元原反別何程

○內反別何程

此地價金何程

此地租金何程

畑反別何程

內反別何程

此地價金何程

此地租金何程

第十五類

租 稅

何筆

丈量增  
畦畔成減

何筆何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何筆

畦畔成減  
丈量減

何筆

無租地

何筆

丈量增

七十一



右之通、違無之候也

内  
○内譯記載方田ニ倣ヒ年期ノ異ナル毎ニ列記ス

年 月 日

右地主又ハ地主總代

山梨縣知事宛

何 何  
某 某  
印 印

(第拾一號)

荒地免租年期明附願

本年何月何日大雨洪水ノ爲メ河川出水(又ハ何々)ノ節荒地相成候ニ付一筆限損害ノ輕重起返ノ難易  
精密取調候處別冊ノ通ニ有之候尚免租年期御附與相成度此段相願候也  
何郡(市)何村  
何 何  
何 何  
某 某  
印 印

年 月 日

山梨縣知事宛

何 何  
某 某  
印 印

(第十一號附屬)

明治何年荒地免租年期一筆限取調帳  
○(開墾銀下及低價年期中ノ荒地ハ別冊ニ取調ノコ)  
何郡(市)何村

字何々

第何番

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

畦 畔

何  
某  
印

但川欠何年ヨリ何年迄何ヶ年季

○(全筆荒地ハ野取圖ヲ畫シニ及ハス以下同シ)

字何々

第何番

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

畦 畔

同  
入  
印

但押堀何年ヨリ何年迄何ヶ年季

字何々

第何番

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但石砂入何年ヨリ何年迄何ヶ年季

第十五類 租 稅

何  
某  
印



字何々

第何番

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但砂入何年ヨリ何年迄何ヶ年季

字何々

第何番

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但川成何年ヨリ何年迄何ヶ年季

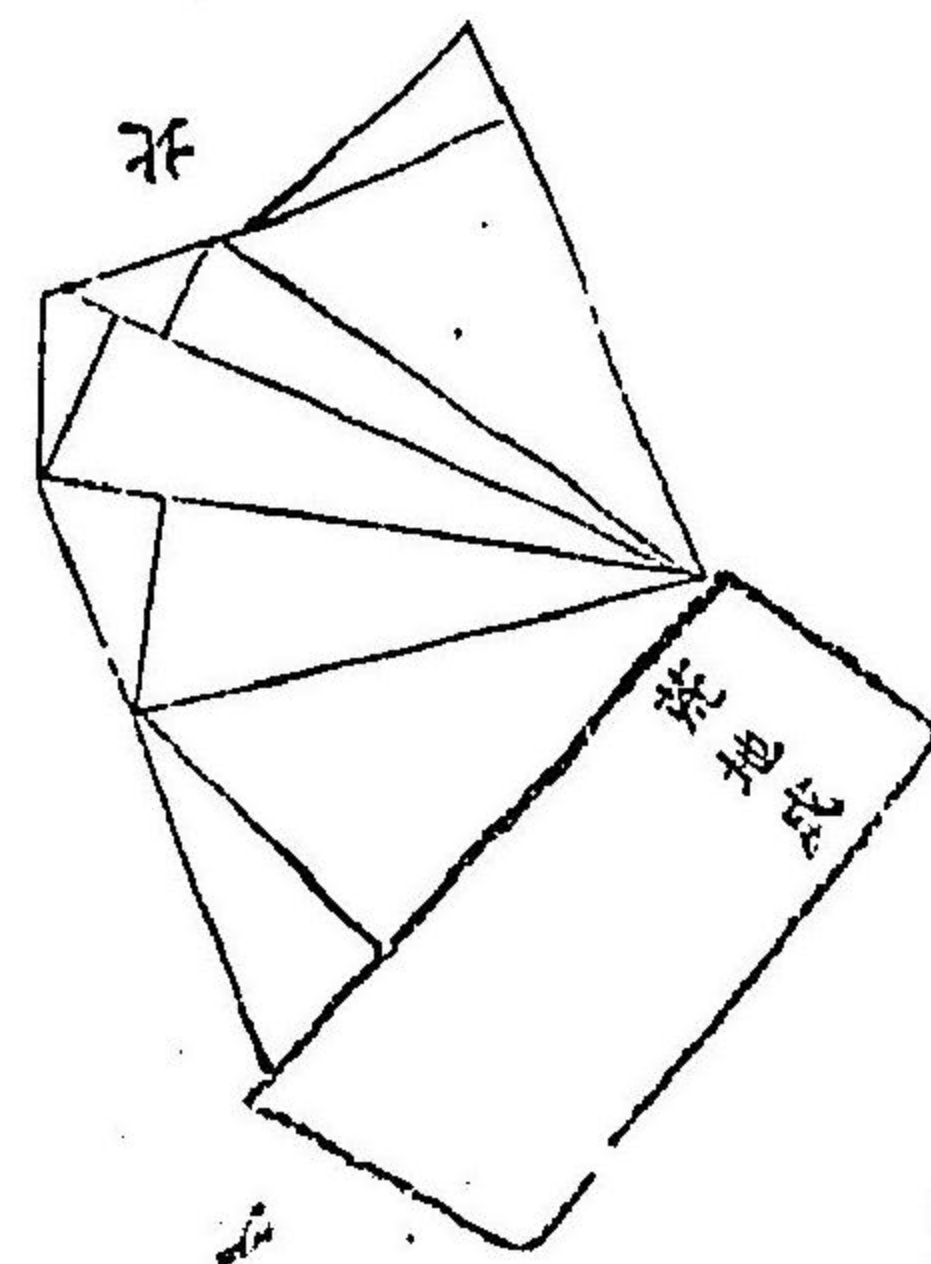
。殘反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何 某印

何 某印



合反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

此譯

田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内

反別何程

外反別何程

此地價金何程

第十五類 租 税

イ 何程  
 ロ 何程  
 ハ 何程  
 ニ 何程  
 ヒ 何程  
 フ 何程  
 エ 何程  
 セ 何程  
 ソ 何程  
 タ 何程  
 チ 何程  
 リ 何程  
 ニ 何程  
 ホ 何程  
 ヘ 何程  
 ト 何程  
 チ 何程  
 リ 何程  
 ニ 何程  
 ホ 何程  
 ヘ 何程  
 ト 何程

此二除何程 生地ノ分  
 何筆

何筆

畦畔

總計

何筆

何筆 川欠 何年ヨリ何ヶ年

畦畔



此地租金何程  
反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程

何筆 押堀 何年ヨリ何ケ年  
何筆 何々 何年迄  
何筆 石砂 何年ヨリ何ケ年  
何筆 入 何年迄

〇(以下年季ノ異ナル毎ニ列記スヘシ)

畑反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程

〇(以下田ニ做フ)  
右之通相違無之候也

年 月 日

右地主又ハ地主總代

何 某印  
何 某印

山梨縣知事宛

(第十二號)

再荒地免租年期附與願

何 郡 (市) 村

本年何月何日大雨洪水ノ爲メ何川出水(又ハ何々)ノ節再荒地租相成候ニ付一筆限損害ノ輕重起返ノ難  
易等精密取調候處別冊ノ通ニ有之候間更ニ免租年期御附與相成度別冊相添此段相願候也  
右地主又ハ地主總代

年 月 日

何 某印  
何 某印

山梨縣知事宛

(第十二號附屬)

明治何年再荒地免租年期一筆限取調帳

何 郡 市 何 村

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但川欠 何年ヨリ何年迄何ケ年季ノ處再荒ニ付

更ニ何年ヨリ何年迄何ケ年季

何 某印

第十五類 租 稅



字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但 川成

何々

字何々

第何番

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但 何々

更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年季ノ處再荒ニ付

字何々

第何番

一何反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但 石砂入

更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年季ノ處再荒ニ付

合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但 何々

更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年季ノ處再荒ニ付

總計

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何筆

何 某印

何 某印

何 某印

何筆

何年ヨリ何年季  
何筆迄何年季

何年ヨリ何年季  
何筆迄何年季

何年ヨリ何年季  
何筆迄何年季

何筆



○(以下田ニ做フ)  
右之通相違無之候也

年 月 日

山梨縣知事宛

右地主又ハ地主總代

何 何  
某 某  
印 印

(第十三號)

荒地免租年期明賦租願

當市(村)荒地ノ内本年期明起返ニ付實地取調候處別冊之通ニ有之候間御檢査之上賦租相成度別冊相添  
此段相願候也

年 月 日

山梨縣知事宛

何 郡 市 村  
右地主又ハ地主總代  
何 何  
某 某  
印 印

(第十三號附屬)

明治何年荒地免租年期明起返一筆限帳

何郡市何村

○(元地價ニ起返ノ例)

字何々  
第何番

○元反別何程

○外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一田反別何程

内反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○畦畔

○何等

丈量塔  
畦畔

反金何程

イ 何 程

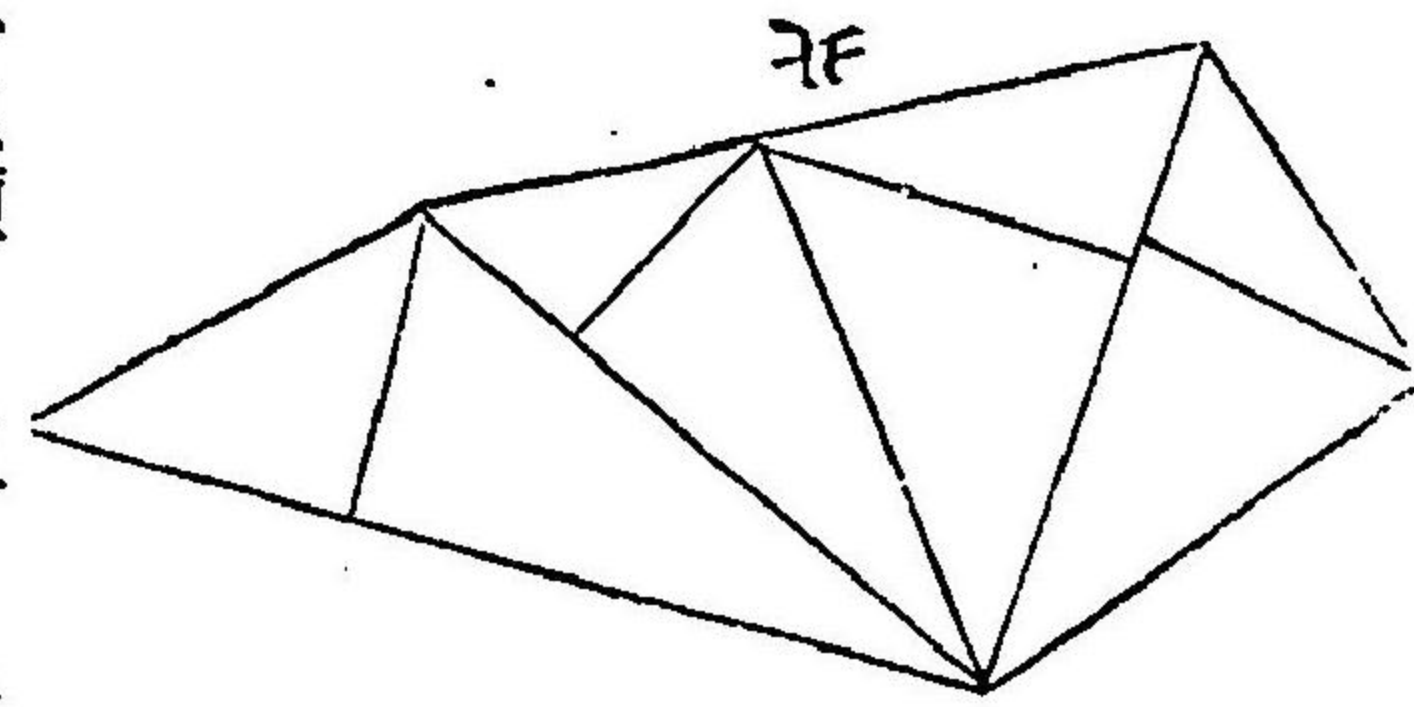
ロ 何 程

ハ 何 程

計 何 程

此ニ除何程

第十五類  
租 稅





(變換起返ノ例)

字何々  
第何番

元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

○何番ニ比較

一田反別何程

内反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

丈量増  
畦畔成減

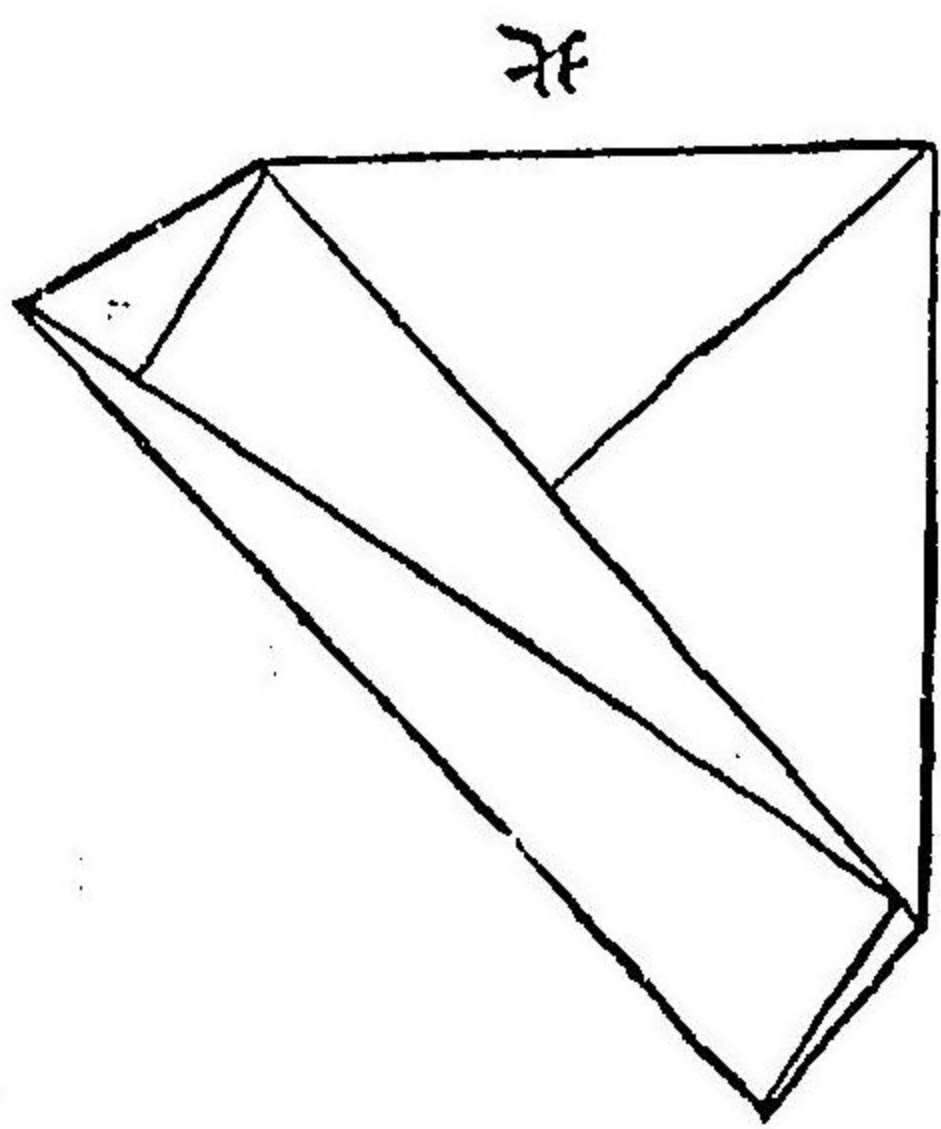
反金何程

○何等

何

某印

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季



(内荒地起返ノ例)

字何々  
第何番

田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○元反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一田反別何程

内反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

丈量増  
畦畔

反金何程

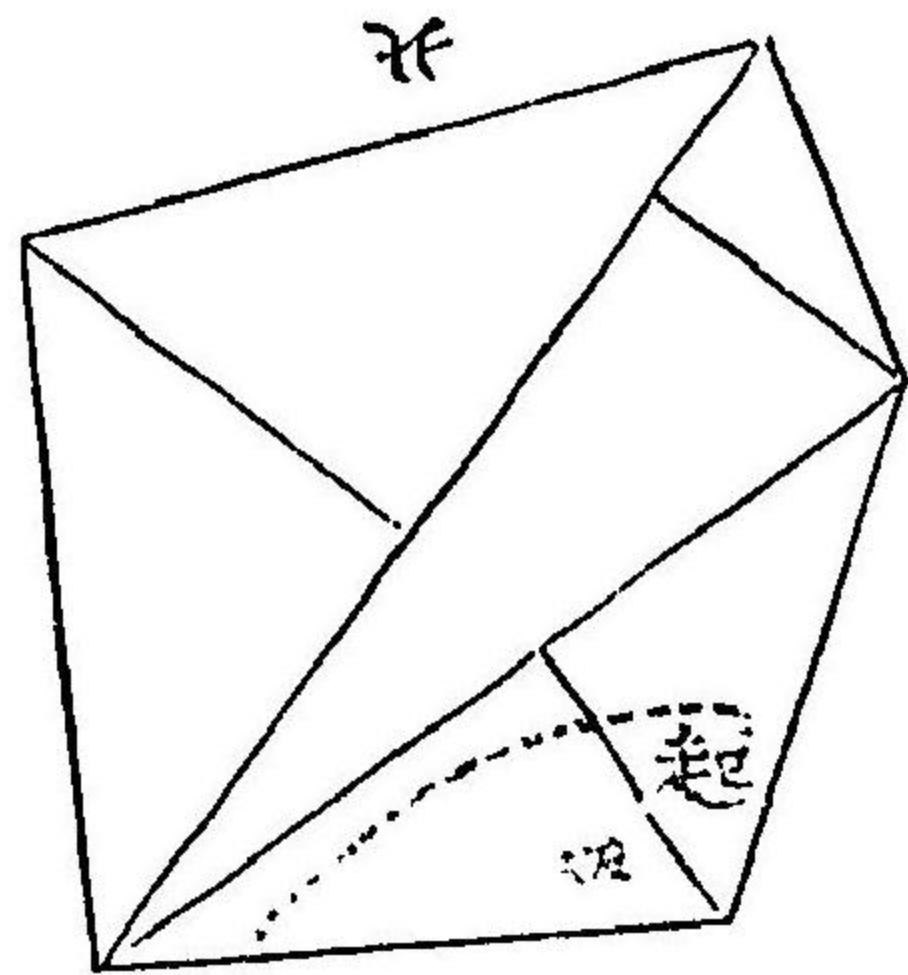
何等

何

某

在來生地

何年ヨリ何年迄何ヶ年季



第十五類 租 稅

イ何程

ロ何程

計何程

此二除何程



八十四  
 內 何 程 在來生地引  
 殘 何 程 起返ノ分

(地租改正以前荒地ノ例)

字何々  
 第何番

○元田荒地反別何程

○但地租改正以前ノ分

○何番ニ比較

一田反別何程

內反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○何等

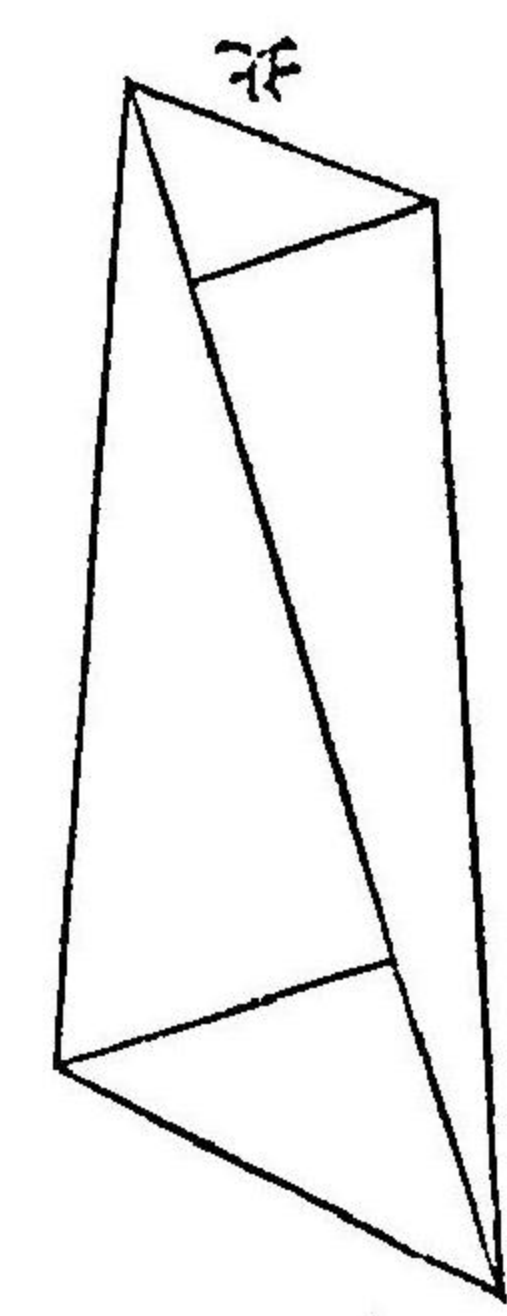
丈量増  
 畦畔成減

反金何程

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何

某印



(全荒地ノ内繼年季願アルノ例)

何 程

此二除何程

字何々  
 第何番

○元畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

○內反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

○此地租金何程

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

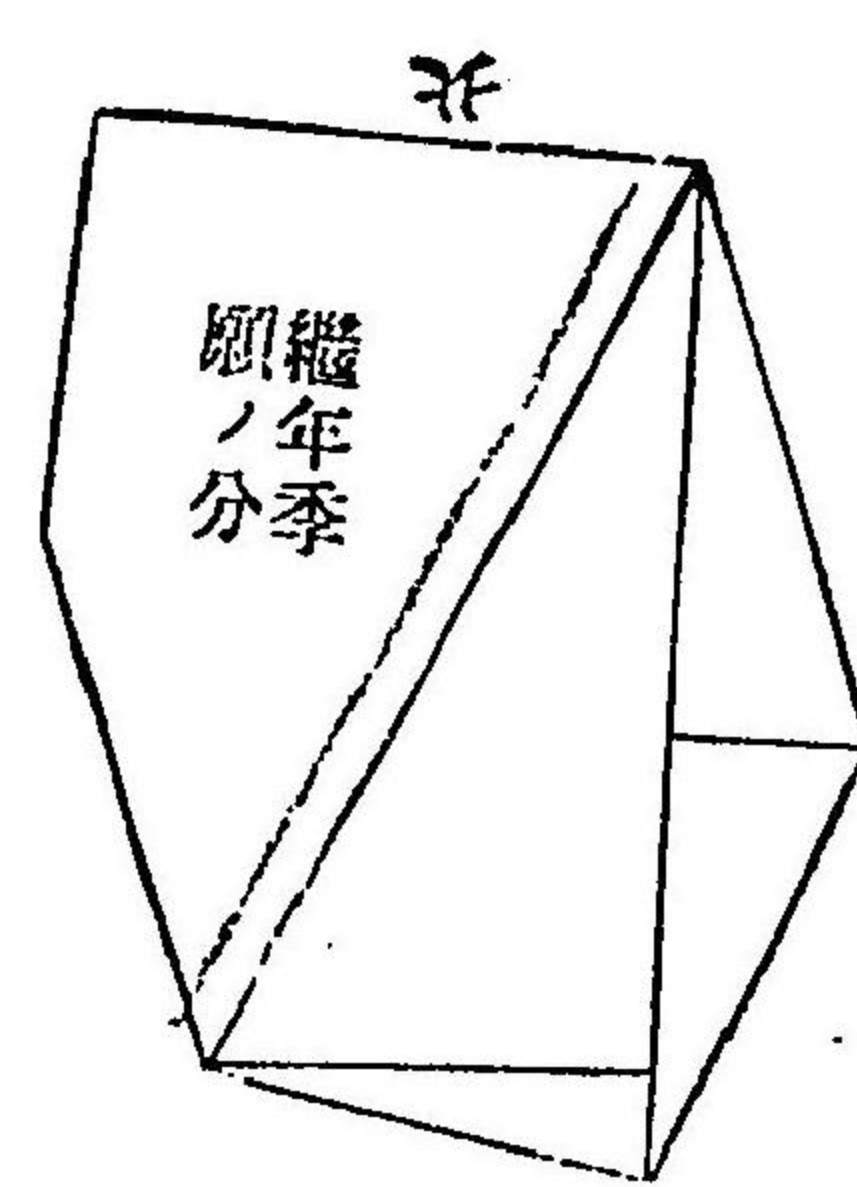
何年ヨリ何年迄何ヶ年季

繼年季願ノ分

何

某印

反金何程



第十五類 租 稅

イ 何 程

ロ 何 程

計 何 程

此二除何程



○以下倣之

總計（總計ハ各種類アル例ヲ掲シ）

元反別何程

何筆

内反別何程。改租以前ノ分

此地價金何程

合反別何程

内反別何程

丈量増

外反別何程

丈量減

此地價金何程

内譯

丈量減

元反別何程

何筆

○改租以前ノ分

○内反別何程

○宅地成減

○何々成減

○此地價金何程

○此地租金何程

田反別何程

丈量増

何筆

内反別何程

反別何程

外反別何程

反別何程

此地價金何程

内

丈量減

元反別何程

内反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

反別何程

内反切何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

元反別何程

○改租以前ノ分

反別何程

内反別何程

此地價金何程

第十五類

租

稅

他ノ地目ニ變換起返ノ分  
ハ元地ノ肩書ニ反別地價  
ノ租トモ組込内書ニ反別  
ノ記載スヘシ以下倣之

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何年ヨリ何年迄何ヶ年季



此地租金何程

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

。元反別何程

。此地價金何程

。此地租金何程

反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

畑田成

丈量增

何筆

何筆

畦畔成減  
丈量減

何筆

田成減

何筆

丈量增  
田畑成増

何筆

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

丈量減

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

。元反別何程

。內反別何程

此地價金何程

此租金何程

年 月 日

右地主又ハ地主總代

何

某印

何

某印

山梨縣知事宛

(第十四號)

荒地免租年期明低價年期附與願

何郡市村

當市(村)本年荒地免租年期明ノ内原地價ニ復シ難キ分實地丈量之上現地相當ノ地價取調候處別冊之通ニ有之候間低價年期御附與相成度此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何

某印

何

某印

山梨縣知事宛

(第十四號)

第十五類 租 稅

八十九



明治何年荒地免租年期明低價年期一筆限取調帳  
 何郡市何村

字何々

第何番

○元田反別何程

○外反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一田反別何程

内反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年ヨリ何年迄何ヶ年低價

○何等

○畦畔

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季

○反金何程

何

某印

丈量増

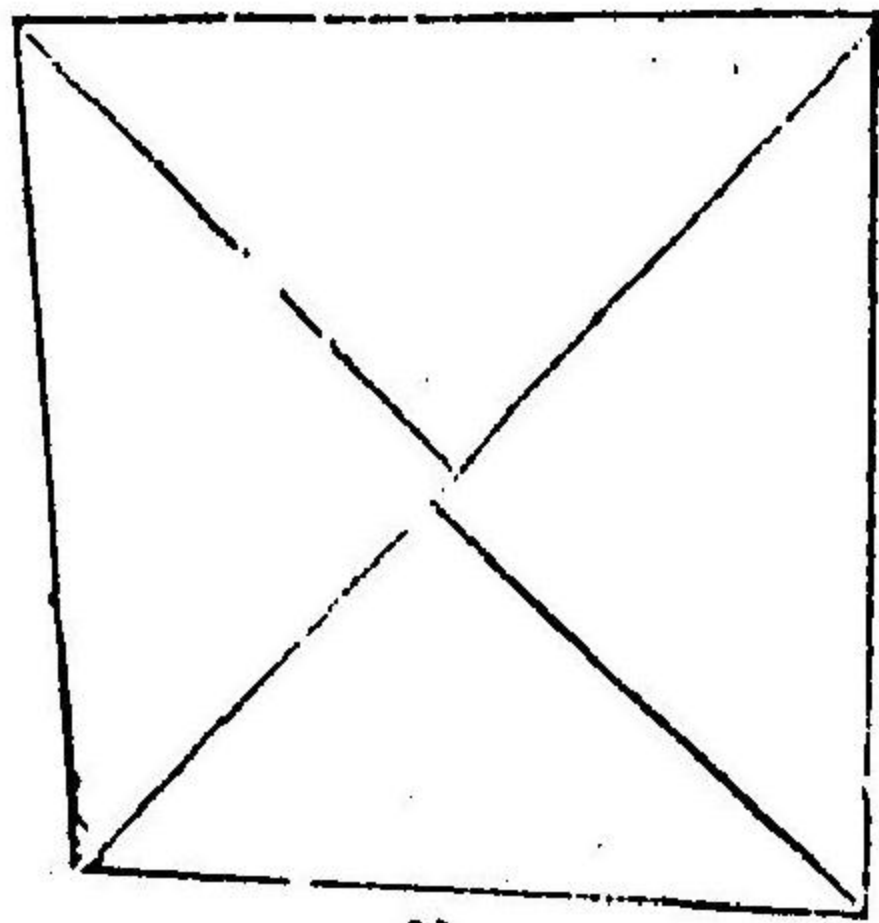
畦畔成減

但反金何程  
 何割減

何程

此二除何程

共



字何々

○第何番

○元田反別何程

○此假地價金何程

○此地租金何程

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何年ヨリ何年迄何ヶ年低價

第十五類 租 稅

何等

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

但改租以前ノ分

但反金何程

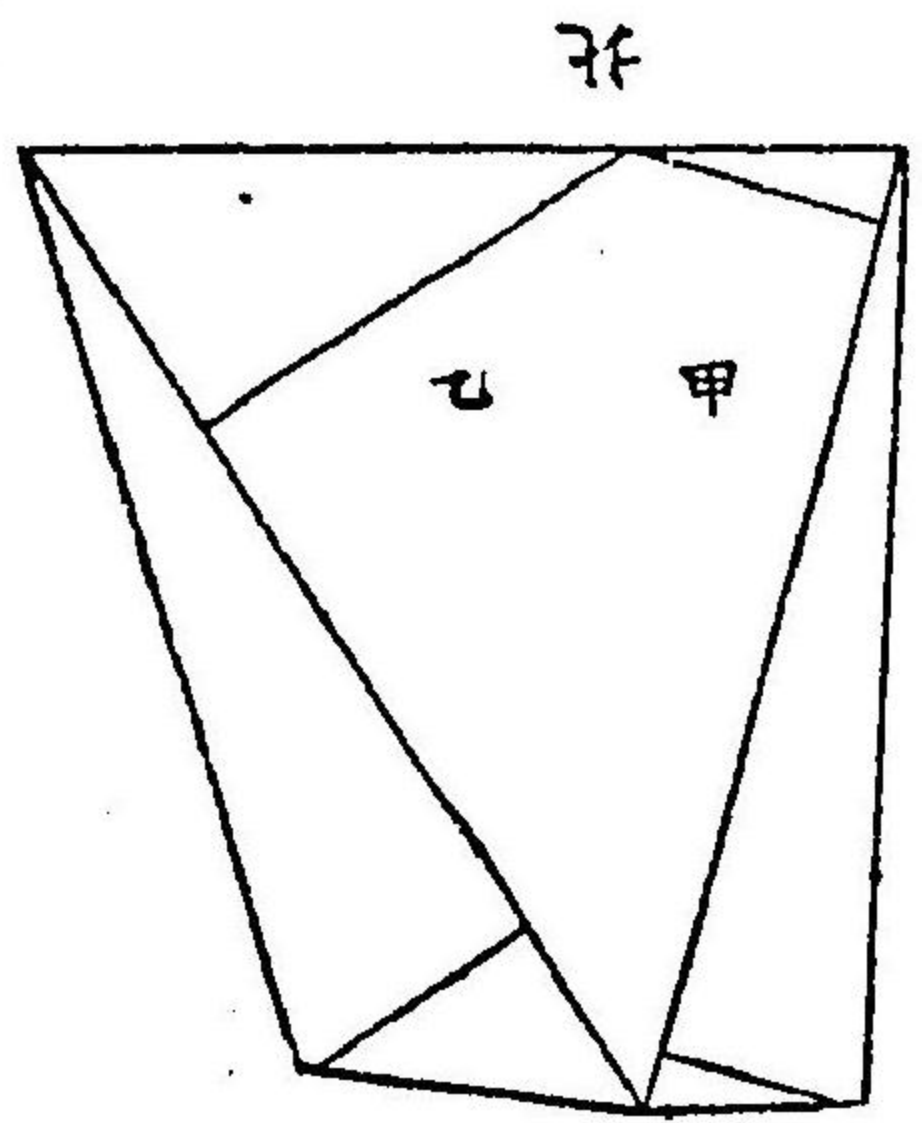
何

某印

但反別何程  
 何割減

但何割減





何程  
何程  
計何程  
此二除何程

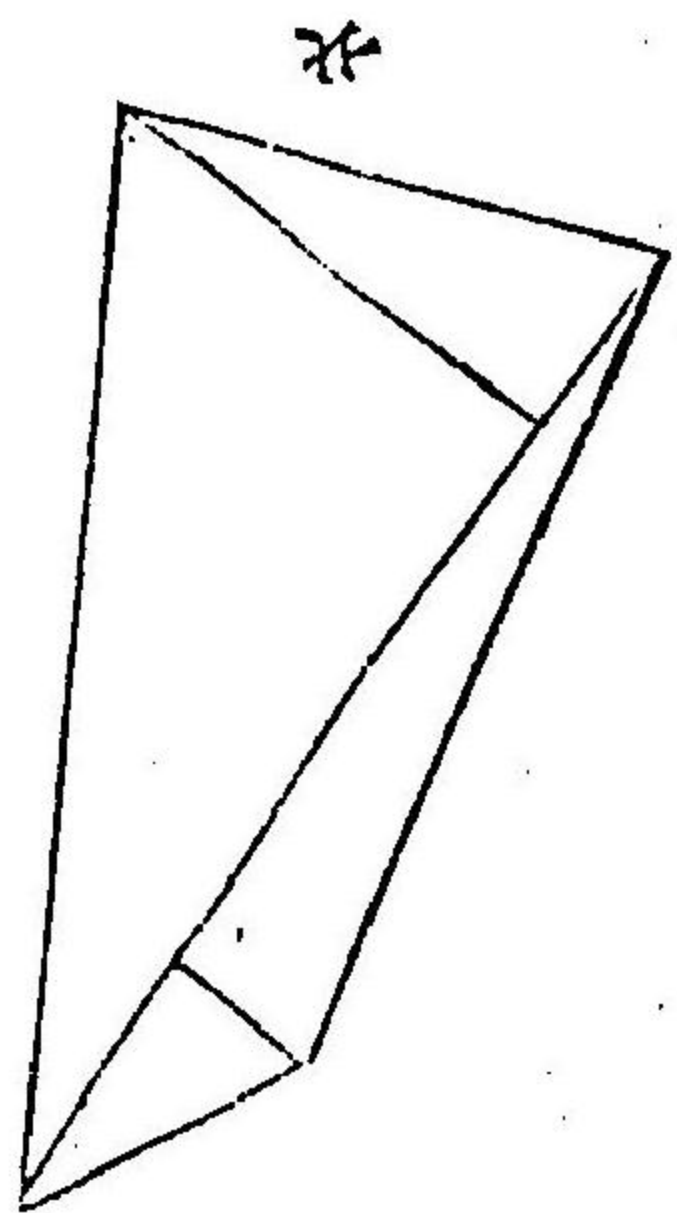
第何々番  
元畑反別何程  
此地價金何程  
一畑反別何程

丈量增

此地價金何程  
但何年ヨリ何年迄何ヶ年低價

何年ヨリ何年迄何ヶ年季  
反金何程  
何  
某印

但何割減



何程  
此二除何程

總計

元反別何程  
内反別何程

何筆  
改租以前低地價ノ分

此地價金何程  
此地租金何程

合反別何程  
内反別何程

何筆

外反別何程  
此地價金何程

丈量增  
丈量減  
畦畔成減

此地租金何程

元反別反別何程

何筆  
改租以前地價ノ分

内反別何程  
此地價金何程

此地租金何程  
田反別何程

何筆

第十五類 租 稅



外反別何程  
此反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程

九十四

丈量減  
畦畔成減

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

丈量増  
畦畔成減

但何割減

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季

何年ヨリ何年迄何ヶ年季

但何割減

元反別何程  
○此假地價金何程  
此地租金何程  
反別何程  
外反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程

丈量減

此地租金何程

○(以上低價年期ノ異ナル毎ニ列記スヘシ)  
○畑方田ニ倣フ)  
右之通相違無之候也

年 月 日

右地主又ハ地主總代

何 何  
某 某  
印 印

山梨縣知事宛

(第十五號)

荒地低價年期明地價御査定願

何 郡 市 村

當市(村)荒地低價年期地ノ内本年期明ノ分實地取調候處別冊ノ通ニ有之候間地價御査定相成度別冊相  
添此段相願候也

右地主又ハ地主惣代

何 何  
某 某  
印 印

山梨縣知事宛

(第十五號附屬)

第十五類 租 稅

九十五

年 月 日



明治何年期明低價地一筆限取調帳

何 郡 市 何 村

字何々  
第何番  
○元反別何程  
○此地價金何程  
○此地租金何程  
一田反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
但原地價ニ復セシ分  
字何々  
第何番  
○元反別何程

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季低價  
○但原反金何程  
○何割減  
○何等  
反金何程  
何  
某印

○何年ヨリ何年迄何ヶ年季低價  
○何年ヨリ何年迄何ヶ年季低價

○此地價金何程  
○此地租金何程  
○何番ニ比較  
一田反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
但何々ノ事故ニヨリ原地價ニ復セサル分  
○以下倣之  
總計  
○元反別何程  
○此低價金何程  
○此地租金何程  
合反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
内譯  
○元反別何程  
○此地價金何程  
○此地租金何程  
田反別何程  
第十九類 租 税

○但原反金何程  
○何割減  
○何等  
反金何程  
何  
某印

何筆  
何筆  
何筆  
何筆

九十七



此地賃金何程  
此地租金何程  
内

何年ヨリ何年迄何ヶ年低價

○元反別何程  
。此地賃金何程  
。此地租金何程

原地價ニ復セシ分

反別何程  
此地賃金何程  
此地租金何程

○何年ヨリ何年迄何ヶ年低價

○元反別何程  
。此地賃金何程  
。此地租金何程

原地價ニ復セシ分

反別何程  
此地賃金何程  
此地租金何程

○以下做之低價年季ノ異ナル毎ニ列記スヘシ  
右之通相違無之候也

年 月 日

右地主又ハ地主總代

何 何 某 某  
何 何 某 某  
印 印

山梨縣知事宛

(第十六號)

荒地免租年期明繼年期附與願

何 郡 何 村

當市(村)荒地本年免租年期明ノ由未ク起返不相或分一筆限實地取調候處別冊ノ通ニ有之候間繼年期御  
附與相成度別冊相添此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何 何 某 某  
何 何 某 某  
印 印

年 月 日

山梨縣知事宛

(第十六號附屬)

明治何年

荒地免租年期明繼年期取調一筆限帳

何 郡 市 何 村

字何々  
第何番

一田反別何程

第十五類 租 稅

何 某 印

九十九



此地價金何程

此地租金何程

但川欠 何年ヨリ何年迄何ヶ年季ノ處未起返ニ付更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但川成 何年ヨリ何年迄何ヶ年季ノ處未起返ニ付更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年繼

字何々

第何番

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金

但何々 何年ヨリ何年迄何ヶ年期ノ處未起返ニ付更ニ何年ヨリ何年迄何ヶ年季

字何々

第何番

反別何程ノ内

。外反別何程

一田反別何程

。起返

百

何 某印

何 某印

何 某印

此地價金何程

此地租金何程

但何ヶ前同季

。以下倣之

總計

合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内

反別何程

第十五類 租 稅

何 筆

何 筆

何年ヨリ何年迄何ヶ年繼

何ヨリ何ヶ年季明ノ分  
何年迄

何年ヨリ何ヶ年季明ノ分  
何年迄

百一



此地價金何程

此地租金何程

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○(以下倣之)

畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○(内譯田ニ倣フ)

右之通相違無之候也

年 月 日

山梨縣知事宛

(第十七號)

川(湖水)成荒地々種組換願

當市(村)荒地本年免租年期明ノ内川(湖水)ニ變換ノ到底起返スヘキ目的無之分取調候處別册之通ニ有之候尙官有地ニ御組換相成度此段相續候也

右地主又ハ地主總代

右地主又ハ地主總代

何 某 某 印

何 郡 市 村

何 某 某 印

年 月 日

山梨縣知事宛

(第十七號附屬)

明治何年荒地免租年期明川(湖水)成一筆限帳

何 郡 市 何 村

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但川成何年ヨリ何年迄何ヶ年季明ノ處起返目無之分

字何々

第何番

第十五類 租 稅

何 某 某 印



一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

但何々何年ヨリ何年迄何々年季明ノ處右同

○(以下做之)

總計

合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内譯

田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○(以下做之)

何 百四 某印

何筆

何筆

何年ヨリ何年迄何々年季ノ分

何年ヨリ何年迄何々年季ノ分

右之通相違無之候也

年 月 日

(第十八號)

山梨縣知事宛

免租地成除租願

右地主又ハ地主總代

何

某某印

當市(村)公立學校地、鄉村社

地、墳墓地、禁伐林(御許可)又ハ御命令

手相成候ニ付實地一筆限取調候處別冊之通ニ有之候間御免租相成度此段相願候也

年 月 日

山梨縣知事宛

(第十八號附屬)

右地主又ハ地主總代

何

某某印

免租地成一筆限取調帳

(民有地第一種ヲ第二種ニ組換タルモノ)

何郡(市)何村

第十五類 租 稅

百五



明治何年何月何日第何號ヲ以テ(御許可又(工事着手ノ日ヨリ免租ノ分ハ何年

字何々  
第何番

一田反別何程

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

内金何程

内金何程

○全築免租ヲ請フモノハ丈量ニ及ハス以下同シ

字何々  
第何番

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

内金何程

○明治何年何月何日第何號ヲ以テ御許可

字何々

第何番

○元反別何程

(公立學校)成  
又ハ何々

何々成 何 某印

右右  
同同

○此地價金何程  
○此地租金何程

○内

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

内金何程

内金何程

○殘反別何程

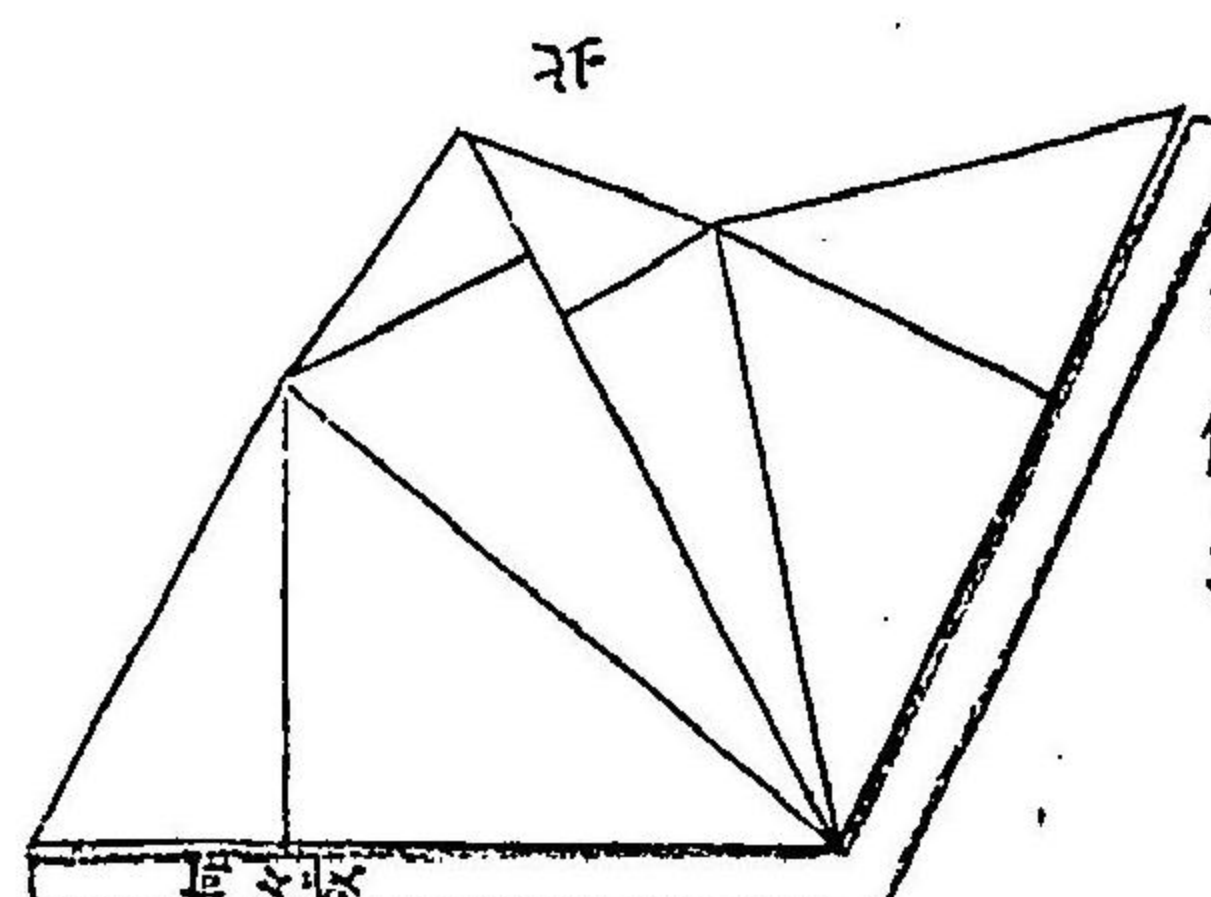
○此地價金何程

○此地租金何程

(以下倣之)

何々成 何 某印

○本年割免租何月ヨリ何ケ  
月分翌何年ヨリ免租ノ分  
生地



イ 何 程  
ロ 何 程  
ハ 何 程  
計 何 程

此二除何程 生地ノ分

第十五類 租 税



總計

何筆

合反別何程  
此地租金何程  
內金何程  
內金何程

本年月割免租ノ分翌  
何年ヨリ免租ノ分

○(地目、種類、許可ノ月異ナル毎ニ詳記スヘシ)

○道路敷、鑛道敷、等敷筆賃地ニ係リ一種類限リ一通ニ調製ノ分ハ筆限リ名稱ヲ掲クルニ及ハス  
總計ニノミ其種目ヲ記載スヘシ

右之通相違無之候也

右地主又ハ地主總代

年 月 日

何 郡 市 村  
何 某 印  
何 某 印

山梨縣知事宛

(第十九號)

有租地成地價査定願

何 郡 市 村

當市(村)何々地(民有地第二種)何々(民有地第一種ニ)ニヨリ地種組換ノ義御許可相成候ニ付一筆限賃  
地丈量ノ上現地相當之地價取調候處別冊ノ通ニ有之候間地價御査定相成度別冊相添此段相願候也  
右地主又ハ地主總代

年 月 日

何 某 印

山梨縣知事宛

(第十九號附屬)

何 某 印

有租地成一筆限取調帳

○(民有地第二種ヲ第一種ニ組換ケルモノ)

何郡市何村

字何々

第何番

○元民有地第二種何々地反別何程

○何年何月何日第何號ヲ  
以テ地種組換御許可

○何番ニ比較

○何等

一田反別何程

何 某 印

内反別何程

丈量増

外反別何程

畦畔成減

此地價金何程

反金何程

此地租金何程

十五類 租 稅

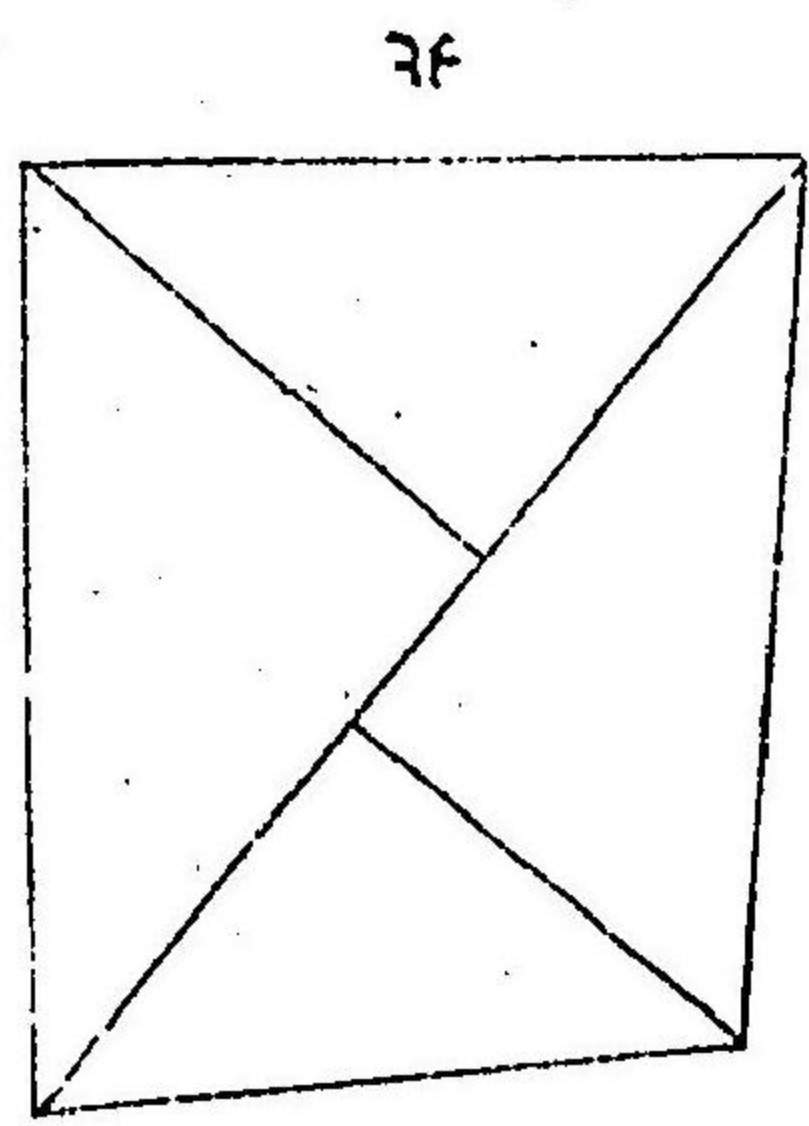
百九



内金何程  
但本年ヨリ直ニ田地相當納致度分

本年月割納租何月ヨリ何ヶ  
月分翌何年ヨリ納租ノ分

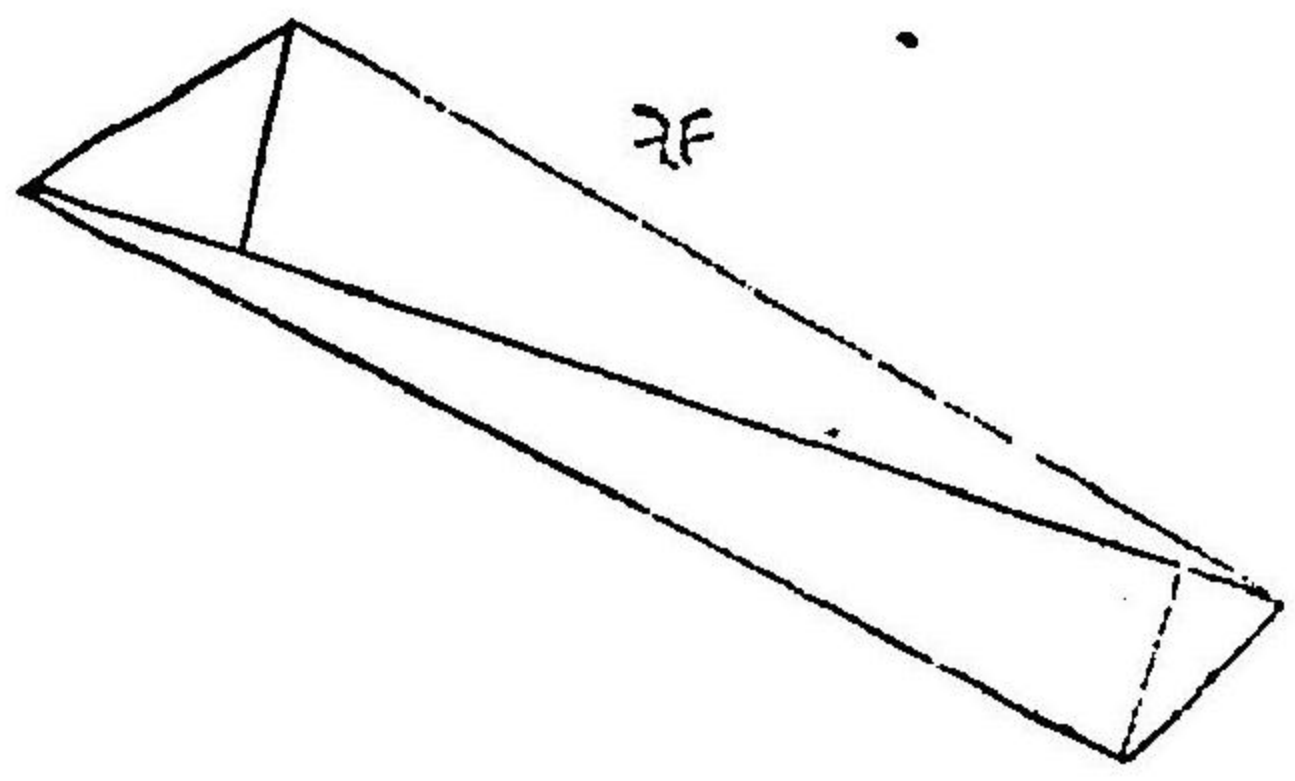
百十



何程  
此二除何程

字何々  
第何番  
○元民有地第二種道路敷地反別何程  
○何番ニ比較  
一原野反別何程  
内反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
内金何程  
内金何程  
○(以下做之)

何年何月何日第何號ヲ  
以テ地種組換御許可  
何  
某印  
反金何程  
本年月割納租何月ヨリ何ヶ  
月分翌何年ヨリ納租ノ分



何程  
此二除何程

總計  
○元民有地第二種反別何程  
合反別何程  
内反別何程  
外反別何程  
此地價金何程  
此地租金何程  
内金何程  
内金何程  
第十五類  
租  
税

本年月割納租ノ分  
翌何年ヨリ納租ノ分

百十一



(地目、種類、許可ノ月毎ニ内譯スヘシ)  
右之通相違無之候也

年 月 日

山梨縣知事宛

(第二十號)

官有地成除租願

何 郡 市 村

右地主又ハ地主總代

何 何 某某印

當市(村)官有何々地(道路敷、堤塘敷、警)ニ(御買上獻納又ハ寄付)御許可相成候ニ付一筆限取調候處別册ノ通ニ有之候間地租除却相成度別册相添此段相續候也

年 月 日

山梨縣知事宛

(第廿號附屬)

官有(何々地成)除租一筆限取調帳

何 郡 市 村

右地主又ハ地主總代

何 何 某某印

字何々 何年何月何日第何號御達ニヨリ御買上(獻納又ハ寄付)御許可

第何番

一畑反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○(全筆漬地ノ分ハ丈量ニ及ハス)

○(前ニ倣フ同種類ノモノハ毎年肩書ニ及ハス)

字何々

第何番

一田反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○(前ニ倣フ)

字何々

第何番

元反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○(前ニ倣フ)

字何々

第何番

元反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○(前ニ倣フ)

字何々

第何番

元反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○(前ニ倣フ)

但道路敷成 何 某某印

本年月割除租何月ヨリ何ヶ月分翌何年ヨリ除租ノ分

何々成 何 某印

右同



○内

一郡村宅地反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

○殘反別何程

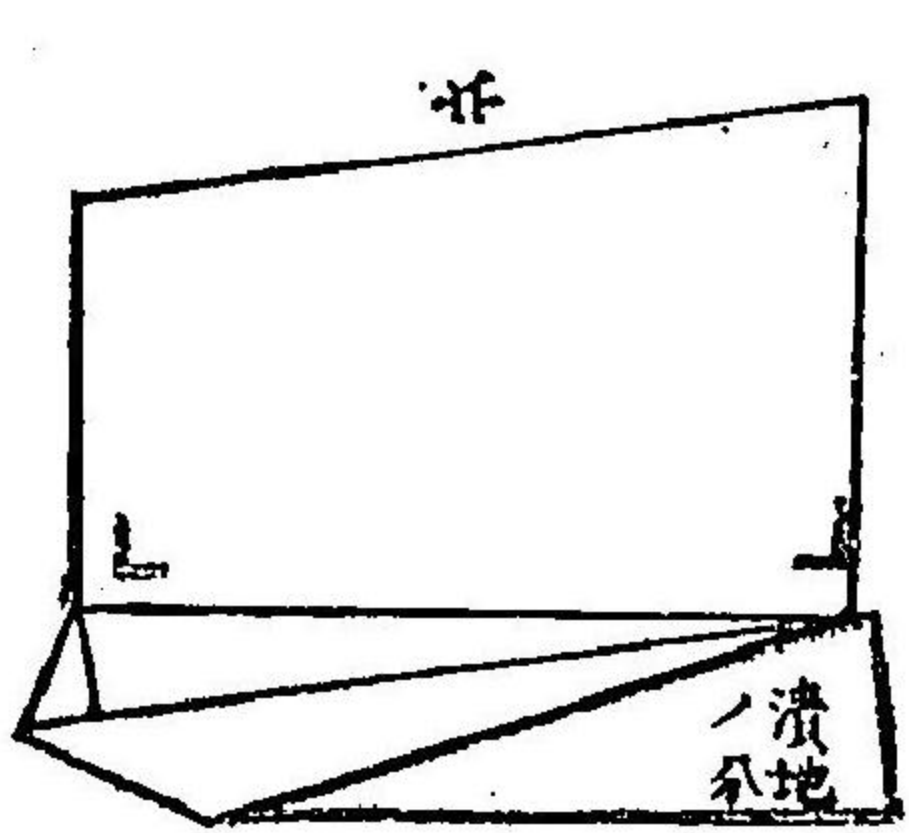
○此地價金何程

○此地租金何程

何々成 何

某印

右右 同同



總計

イ 何程  
 ロ 何程  
 ハ 何程  
 計 何程  
 此二除何程

何筆

本年月割除租ノ分  
翌何年ヨリ除租ノ分

合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

内金何程

内譯

○(地目種類限リ内譯スヘシ尤一種類限リ一通ニ調製ノ分ハ一筆限リニ種類ヲ攝ルニ及ハス)

右之通相違無之候也

右地主又ハ地主總代

何 何 某印

山梨縣知事宛

(第二十一號)

(拂下)地々價御査定願

何 郡 市 村

當市(村)官有地御拂下(無代御下渡)相成候分一筆限實地丈量ノ上現地相當ノ地價取調候處別冊之通ニ有之候間地價御査定相成度別紙一筆限帳相添此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何 何 某印

年 月 日

山梨縣知事宛

(第二十一號附屬)

第十五類 租 稅

百十五



官有拂下(無代下渡)地一筆限地價取調帳  
 何 郡 市 何 村

字何々

第何番

○元官有道路反別何程

○何年何月何日第何號ヲ以拂下(下渡)許可

○何番ニ比較

○何等

一畑反別何程

何

某

内反別何程

丈量増

此地價金何程

反金何程

此地租金何程

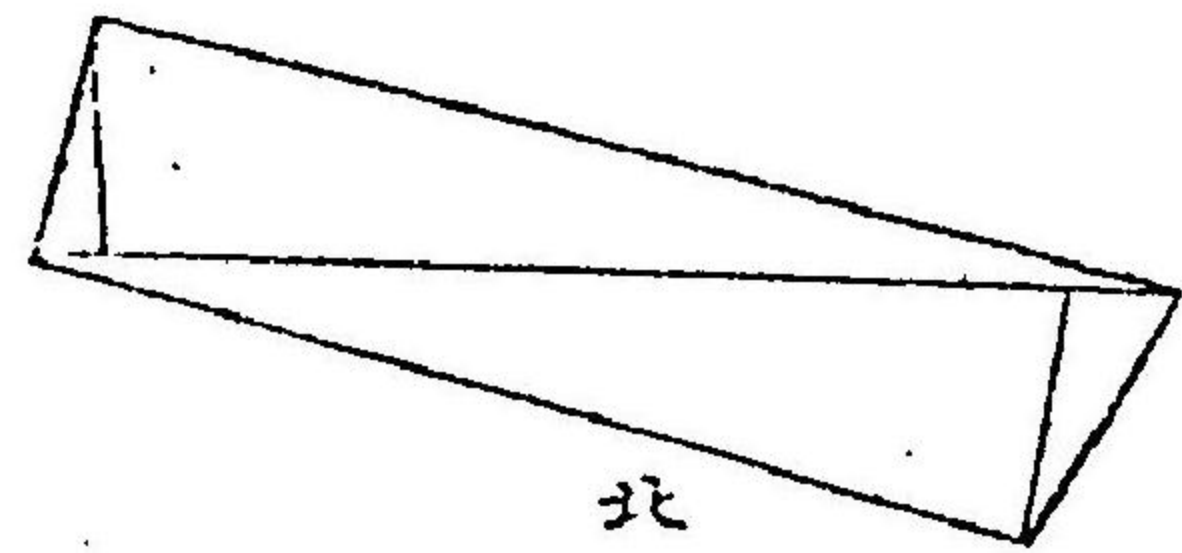
本年月割納租何月ヨリ何ヶ月分

内金何程

翌年ヨリ納租ノ分

但本年ヨリ直ニ畑地相當ノ納租致度分

北



何程

此ニ除何程

字何々

第何番

○元官有何々反別何程

○何等

○前同

○何番ニ比較

何

一(山林)反別何程

丈量増

反金何程

此地價金何程

右同

此地租金何程

右同

内金何程

右同

○以下倣之

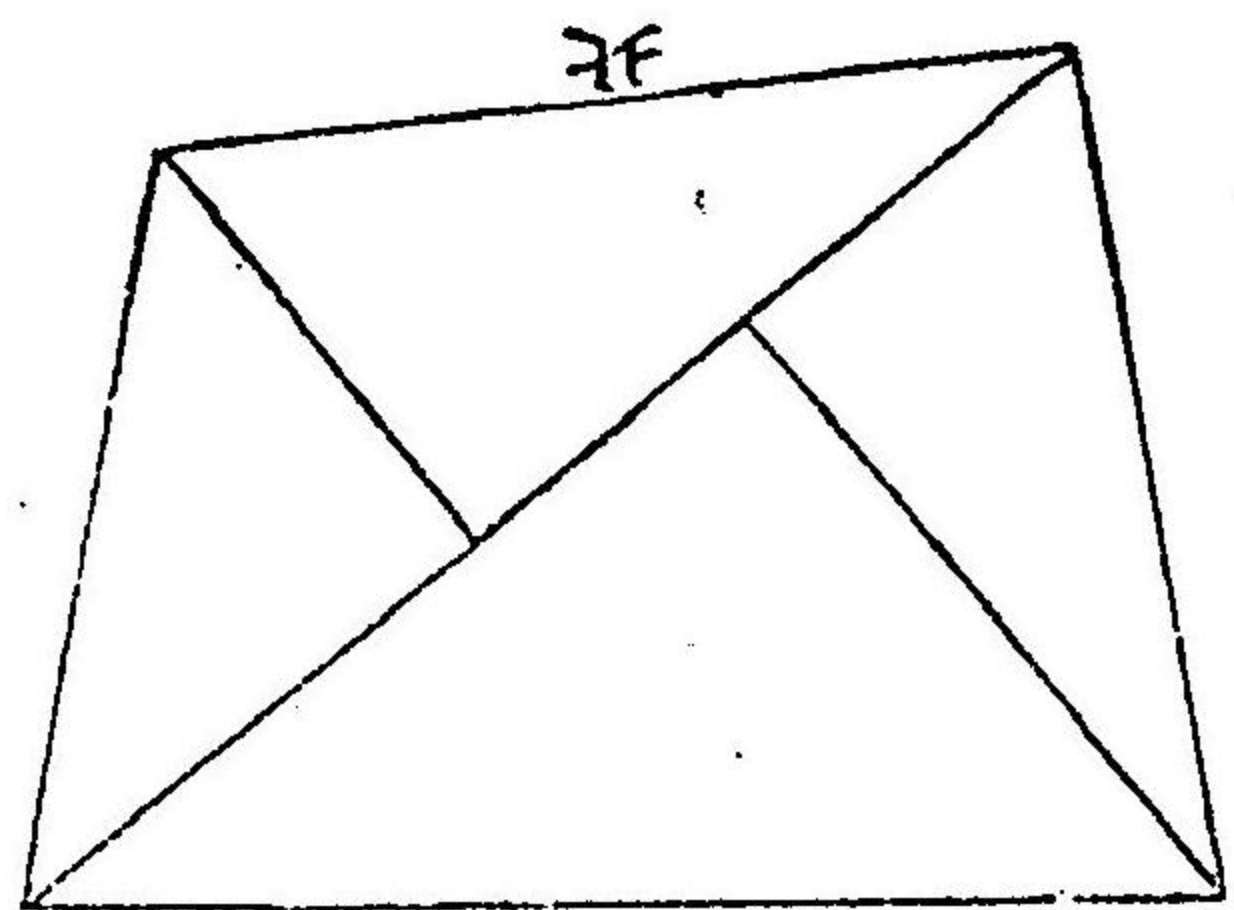
右同

第十五類

租

稅





何程  
此二除何程

○元官有地反別何程  
合反別何程

內反別何程  
外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

內金何程

內金何程

○(地目・順序・做・列記)

何筆

本年月割納租ノ分  
翌何年ヨリ納租ノ分

右之通相違無之候也

年 月 日

(第二十二號)

山梨縣知事宛

畦畔廢除地價更定願

右地主又ハ地主總代

何 何  
某 某印

何 郡 市 村

何 某

字何々

第何番

○元畦畔反別何程

一田反別何程

內反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

○合反別何程

此地價金何程

此地租金何程

第十五類 租 稅

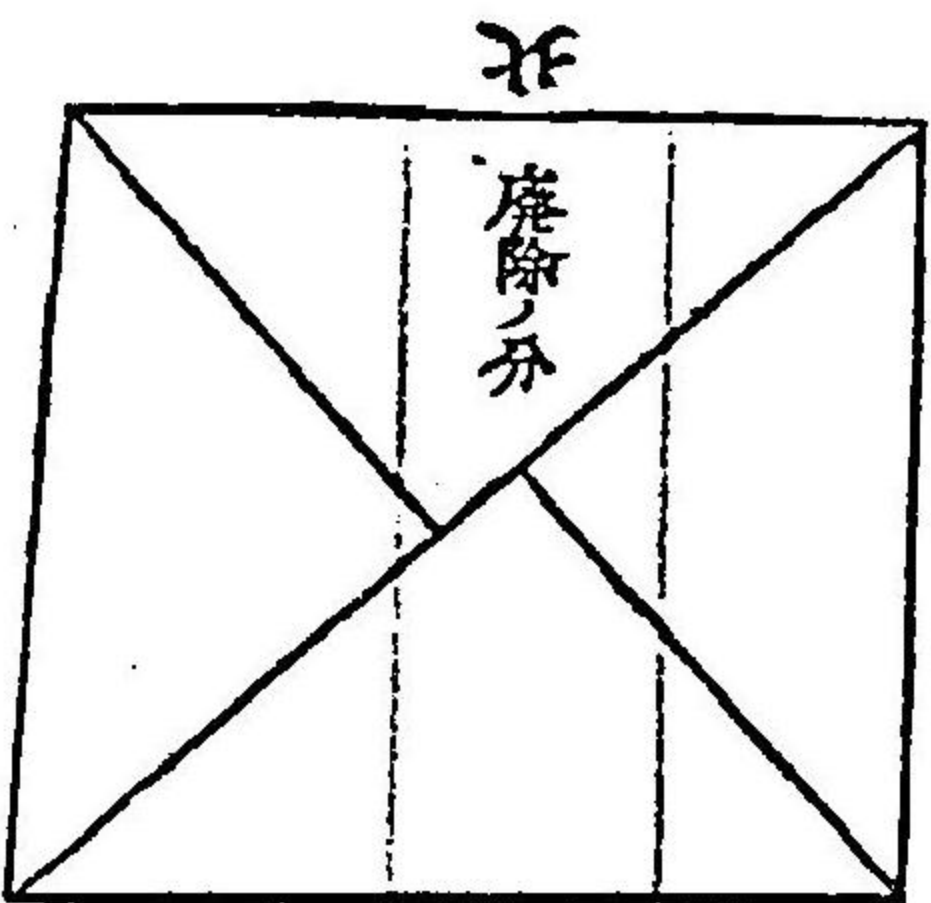
○本地ノ分

反金何程

○更定ノ分



○以下倣之數筆一時出願ノトキハ一筆限リハ別冊ニ記載スヘシ



何程  
此二除何程  
内何程 本地  
殘何程

右ハ畦畔廢除之分實地丈量之上取調候處前記之通ニ有之候間地價御更定相成度此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何 某印  
何 某印

年 月 日

山梨縣知事宛

何 郡 市 村

(第二十三號)

畦畔新設地價更定願

字何々  
第何番

○田反別何程

○此地假金何程

○此地租金何程

一 反別何程

此地假金何程

此地租金何程

○殘反別何程

○此地假金何程

○此地租金何程

○以下倣之數筆一時出願ノトキハ一筆限リハ別冊ニ記載スヘシ

更定ノ分

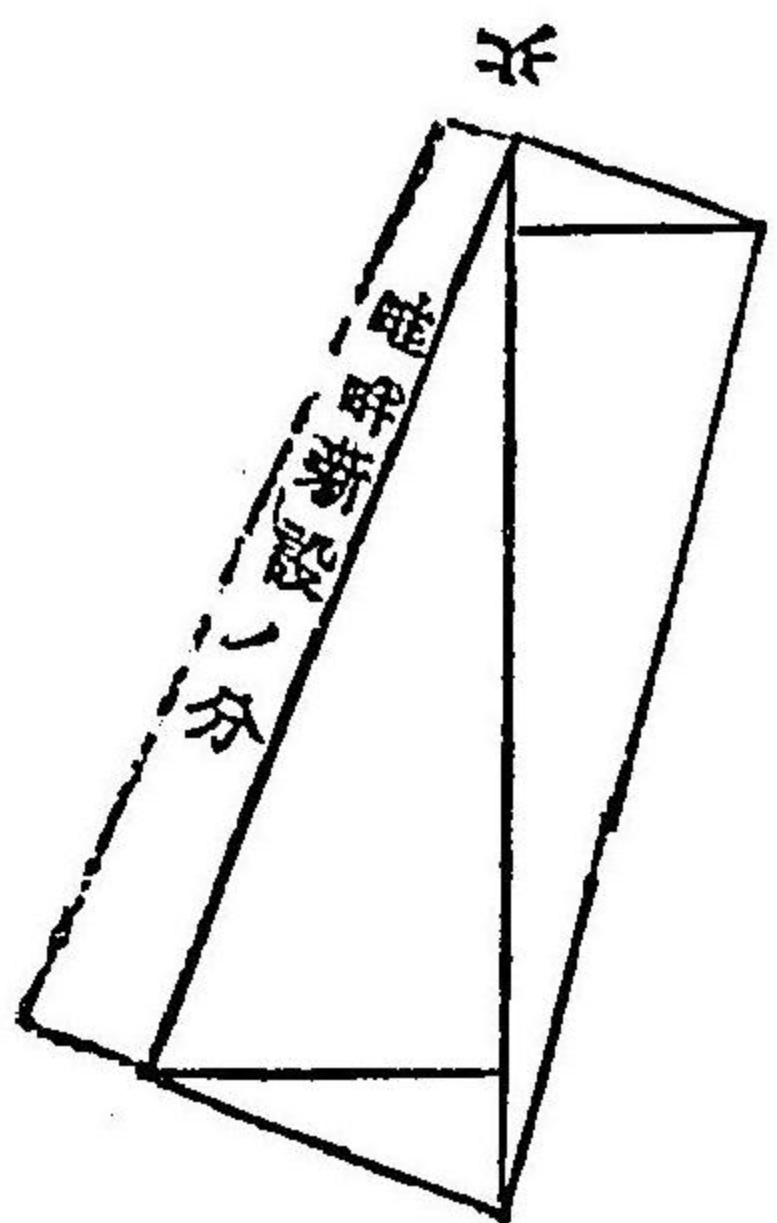
何 某

イ 何 程

ロ 何 程

計 何 程

此二除何程 殘地ノ分



右ハ畦畔新設之分實地丈量之上取調候處前記之通ニ候間地價御更定相成度此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何 某印  
何 某印

年 月 日

第十五類 租 稅



山梨縣知事宛

(第二十四號)

分(合)筆反別增(減)地價更定願

何郡市村

(分筆ノ例)

字何々  
第何番

○田(畑)反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

丙

同番ノ内一

一反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

同番ノ内二

一反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

合反別何程

○此地價金何程

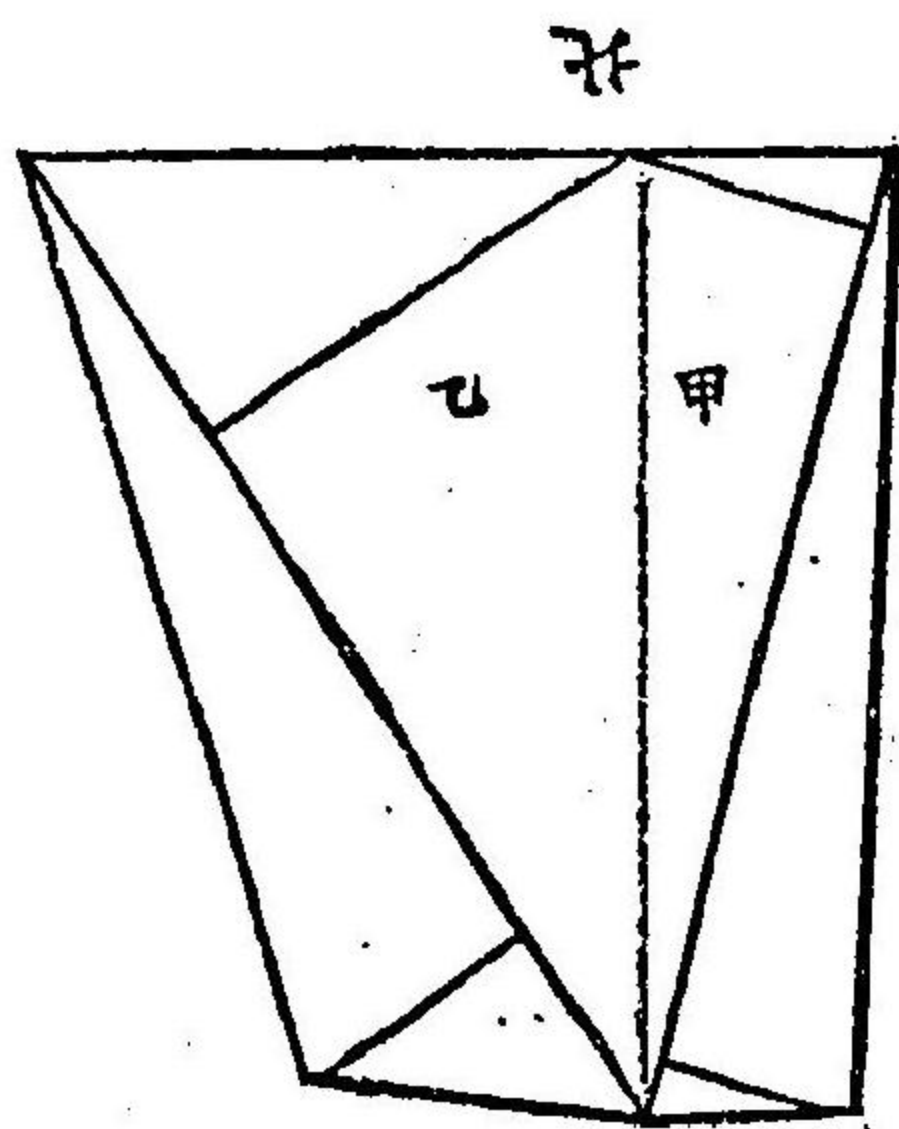
○此地租金何程

何 某

何 某

反別何程  
差引地價金何程  
地租金何程

增(減)



(合筆ノ例)

甲何程

此二除何程

乙何程

此二除何程

字何々

第何番

○畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

第何番

○畑反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

第十五類 租 稅



○合反別何程

○此地價金何程

○此地租金何程

一 反別何程

此地價金何程

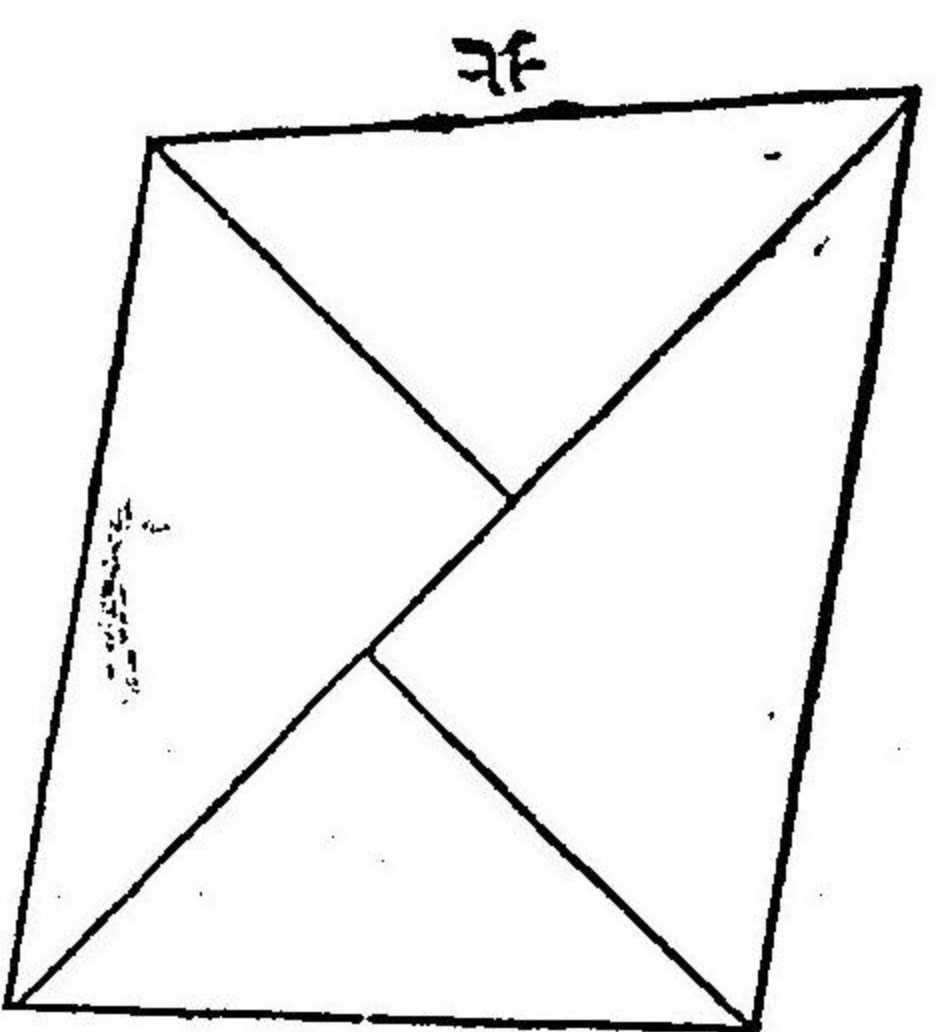
此地租金何程

反別何程

差引 地價何程

地租何程

增(減)



イ 何程  
此二除何程

何 某

○(以下倣之數筆一時出願ノ分ハ別冊ニ記載スヘシ)  
 右ハ都合又ハ何々ニ依リ分(合)筆候ニ付實地取調候處前記之通増(減)歩相生シ候間地價更定ノ義御聞  
 届相成度此段相願候也

右地主又ハ地主總代

何 某印  
何 某印

年 月 日

山梨縣知事宛

(二) 地租徵收規程

明治廿二年  
十月廿六日

訓令第五十四號

市 役 所  
村 役 場

市村ニ於テ地租ヲ徵收スルトキハ左ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

徵稅傳令書ヲ發スルトキハ別冊第一號書式ニ依リ地租徵收元帳ヲ調製シ之ト割印ヲ爲スヘシ

前項割印ノ上元帳ハ之ヲ收入役ニ移付スヘシ

收入官吏ヨリ處分ノ上税金徵收ノ通知ヲ受ケタルトキハ元帳ヘ其旨ヲ記入スヘシ

何 年 度

(○印ハ朱書)

地 租 徵 收 元 帳

○第一號

何 市 役 場  
村 役 場

凡 例

- 一 宅地跡泉池沼山林原野租ノ徵收元帳ハ細租ノ式ニ倣ヒ種目毎ニ調製スヘシ
- 一 合計内譯ハ納期末日之ヲ附スヘシ

第十九類 租 稅



何年度田租

第六期	市村長割 金(何程)以下 (傲之)	第六期	何年度田租
第三期	金(何程)内 金何程額收濟 殘金何程額收濟 國稅徵收法第十三 條=依り何月何日 收入官吏へ報告濟	第三期	人名
第四期	金(何程)額收濟	第四期	何某
第五期		第五期	
第六期		第六期	

合計

第六期	金何程 内	第六期	人名
第三期	金何程 内 金何程額收濟 殘金何程額收濟 何月何日處分 收入官吏へ報告濟	第三期	
第四期	金何程額收濟	第四期	
第五期		第五期	
第六期	金何程額收濟	第六期	

第十五類 租 稅



何年度畑種

百廿八

第一期	金何程 内 金何程。領收済 金何程。領收済	何 某
第二期	金何程 内 金何程。領收済 金何程。領收済	何 某
人 名		

合計

第十五類 租 税

百廿九

第一期	金何程 内 金何程。領收済	
第二期	金何程。領收済	
人 名		



何年度  
地租金領收簿

○第二號

何市村收入役何某

地租金領收簿		領收月日		種目		金額		員		人名	
月	日	第何期	何租	何	〇	〇	程	何			某
		第何期	何租	何	〇	〇	程	何			某
		第何期	何租	何	〇	〇	程	何			某
		計		何	〇	〇	程				
月	日	第何期	何租	何	〇	〇	程	何			某
		第何期	何租	何	〇	〇	程	何			某
		計		何	〇	〇	程				
		計		何	〇	〇	程				
		計		何	〇	〇	程				

備考

金員ノ欄ノ〇ハ登記ノ都度收入役自ラ其認印ヲ押捺シテ金額ノ誤記ナキヲ証スモノトス

(三) 地租條例中變換地取扱方 明治廿三年 十二月八日

村市 役役 場所

訓令第五拾六號 地租條例第拾條變換地取扱方左ノ通心得ヘン

一 地目若クハ地類ヲ變換シタル旨届出ツルモノアルトキハ直チニ其變換セシ地目ヲ土地臺帳元地目ノ傍ニ朱字訂正シ元反別地價地租ノ其變換セシ地目ニ組換フヘン

一 修正地租徵收ノ年度ニ於テ前項訂正セシ地目及ヒ反別修正地價地租ヲ土地臺帳ニ其記載式ニヨリ訂正スヘン

(四) 地租納額計査方 明治廿三年 二月六日 訓令第九號

市郡 役役 場所

府縣會規則第十三條第十四條ノ地租納額ヲ計査スルニ數人共有地ノ地租ハ其共有人員ニ平分シ之ヲ各自ノ納額ト見做シ算入スヘキモノトス尤モ土地臺帳又ハ其附屬連名簿ニ各自所有權ノ歩合又ハ納租額ノ割合アルモノハ其額ニ依ル可キ義ト心得ヘン

但市町村制ニ就テモ本文同様トス

(參看) 府縣會規則 明治十三年 四月八日

第十五號布告抜萃 第十三條 府縣ノ議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歲以上ノ男子ニシテ其府縣内ニ本籍ヲ定メ滿三

年以上住居シ其府縣内ニ於テ地租拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル但左ノ各款ニ觸ル者ハ議員タルコトヲ得ス

第一款 風癩白痴ノ者 第二款 舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者

第十五類 租 稅

百卅一















第九條 酒 燒酎ノ元粕味淋及醪ハ検査ヲ受クルニアラサレハ使用若クハ搾ルコトヲ得ス  
第十條 醪ハ一ト仕舞毎ニ分界ヲ爲シ搾リ揚クヘシ若シ數仕舞ヲ合シテ搾ラントスルトキハ承認ヲ受  
クヘシ

第十一條 古酒并買入酒ヲ所持スルモノハ釀造期節ノ初ニ於テ其石數ノ調査ヲ受クヘシ  
但調査後ニ於テ買入ヲナシタルトキハ其石數并ニ賣主ノ住所氏名ヲ記載シ其都度届出ヘシ

第十二條 稅則第二十一條但書ノ場合ニ於テ酒類ヲ賣渡ストキハ双方連署ノ上届出ヘシ  
第十三條 二ヶ所以上酒造場ヲ有スルモノニテ配并醪ヲ彼此移轉セントスルトキハ其事由ヲ申出承認  
ヲ請フヘシ

第十四條 未製成酒類ヲ同業者ニ賣渡サントスルトキハ双方連署ノ上届出ヘシ  
第十五條 稅則第十六條ニヨリ免稅セラレタル酒類ヲ販賣セントスルトキハ其所用ヲ詳記シ買主連署  
ノ上届出承認ヲ請フヘシ之レヲ廢棄セントスルモノ亦全シ

第十六條 細則第二十二條ノ帳簿ハ第九號乃至第十六號書式ニヨリ調製スヘシ  
第十七條 清酒ノ火入及煮込ヲナシタルトキハ第十七號書式ニヨリ記載スヘシ

第十八條 稅則第五條ノ場合ニ於テ代人ヲ置タルトキハ其委任狀ノ寫ヲ添ヘ双方連署ノ上届出ヘシ  
第十九條 檢査未済ノ酒類ハ左ノ區別ニ從ヒ第十八號書式ニヨリ紙札ヲ貼付スルカ若クハ白墨等ヲ以  
テ容器ノ見易キ部分ニ記載スヘシ

但瓶ハ檢査既済ノモノト雖モ特ニ本項ニヨルヘシ  
第一酒瓶ハ坪壹桶ニ移シタルトキハ其前面ニ配立ノ順號及月日ヲ一個毎ニ記載スヘシ

第二櫻仕込ノトキハ順號并添中留ノ月日ヲ仕込桶又ハ枝桶ニ記載スヘシ  
第三清酒ハ下槽搾リ揚ケタル度毎ニ搾リタル醪ノ仕込順號ヲ記載スヘシ

第二十條 廢棄ノ節ハ速ニ届出免許鑑札ヲ返納スヘシ

第二十一條 稅則第二條第六條第七條細則第一條第二條第十一條此手續第三條第二十條ノ書面ハ所轄  
收稅部出張所ニ其他ノ書面ハ所轄租稅檢査員派出所ニ差出スヘシ  
第二十二條 醪造營業者ノ醪元ニ供スル酒類ヲ製造スル者ハ總テ此手續ニ從フヘシ  
第二十三條 細則及此手續ニ規定シタル帳簿ハ記載ヲ終リタル日ヨリ滿三年間保存スヘシ  
(第一號一)

新規酒造營業願

郡市村番地 酒 造 場

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

計税金何百何拾圓

右明治何年度酒造營業仕度候ニ付免許鑑札御下付被下度同業者連署ヲ以テ此段相應候也

年 月 日

郡市村番地 某

郡市村番地 何

酒造營業人

何 某

(以下同業人連署ハ之ニ倣フ)

第十五類

租

稅

知

事

宛

百卅九



(第一號ノ二)

引續酒造營業免許願

百四十

郡市村番地

酒造

場

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

計税金何百何拾圓

右ノ引續明治何年度酒造營業仕度候ニ付御免許被下度此段相願候也

年 月 日

郡市村番地

何

某

知事宛

(第二號)

所有不動産明細書

國郡市村字番號

一田(畑)(山林)(宅地)何反何畝歩

此地價金何圓

此價格金何圓

國郡市村字番號宅地内ニ建築

一建築 幾棟

但賃入書入ニ之ナキ分

但賃入書入ニ之ナキ分

内

瓦葺二階造居家

此坪數何坪

此價格金何圓

板葺平屋物置

此坪數何拾何坪

此價格金何圓

合計價格金何圓

右之通候也

一棟

一棟

郡市村番地

何

某

(第三號)

年 月 日

保証物認可願

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

計税金何百何拾圓

此保証物

一何分利付何々公債証書何圓券

此價格金何圓

第十五類 租 稅

番號 幾 枚

百四十一



國郡市村字番號

一田(畑)(宅地)(山林)(何反何畝步)

此地租何圓

此價格金何圓

國郡市村字番號內=建築

一建築物 幾棟 繪圖面添

瓦葺二階造居家 一棟

此坪數何坪

此價格金何圓

板葺平屋物置

此坪數何坪

此價格金何圓

合計價格金何圓

右、明治何年府酒造營業致度候ニ付前書物件稅則第一條二項ニヨリ保証物トシテ差出度候尚御認可被下度此段相願候也

年 月 日

何郡市村番地

何 某

(第四號ノ一)

知 事 宛

保証人認可願

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

一何酒何百何拾石

此税金何百何拾圓

右明治何年度酒造營業致度候ニ付稅則第一條二項ニヨリ何郡市村何番地何某ヲ以テ保証人相立度候間別紙保証人ニ係ル明細書相添へ御認可相願候也

年 月 日

同郡市村番地

何 某

知 事 宛

(第四號ノ二)

明 細 書

國郡市村字番號

一田(畑)(宅地)(山林)(何反何畝步)

此地價金何圓

此價格金何圓

國郡市村字番號內建築

一建築物 幾棟

此地價金何圓

第十五類 租 稅

(買入書入ノ有無)

(買入書入ノ有無)



此價格金何圓

國郡市村字番號內建築

一 建物 幾 棟

(賃入書入ノ有無)

瓦葺二階造居家

一 棟

此坪數何坪

此價格金何圓

一 棟

板葺平屋物置

此坪數何坪

此價格金何何圓

合計價格金何圓

一 所得稅金何圓

右之通候也

郡市村番地

何

某

(第五號)

年 月 日

造酒見込種目石數及釀造方法屆

郡市村番地

酒

造

場

一 清酒何百何拾石

造石見込高

內

白米何百何拾石

一 燒酎何拾石

造石見込高

內

酒粕何百何拾貫匁

一 味淋何拾石

造石見込高

內

元燒酎何拾石

白水何拾石

汲水何拾石

清酒一仕舞釀造法

配米何斗

內

蒸米何斗

麴米何斗

此仕込水何斗

初添米何石何斗

內

蒸米何石

麴米何石

此仕込水何石何斗

中添米何石何斗

第十五類

租 稅

一個何分何厘使用



内  
蒸米何石  
麴米何石  
此仕込水何石何斗  
留米何石何斗

内  
蒸米何石  
麴米何石

此仕込水何石何斗  
合仕込水何石 白米一石ニ付仕込水平均何石何斗

此醪見込石數 何石何斗 白米ヨリ何割何分ノ見込  
此清酒見込石數 何石何斗 醪ヨリ何割何分ノ見込

右醸造法ニテ幾仕舞ノ見込

燒酎一ト釜蒸溜法

酒粕何百貫匁

粕十貫匁ニ付何度何升取ノ見込

此燒酎見込石數何石  
右蒸溜法ニテ幾釜ノ見込

味淋一ト仕舞醸造法

元燒酎何石

内

蒸米何斗 但何味淋造即ニ白米一石ニ付  
此見込醪 何石 但白米ヨリ何割何分ノ見込  
此見込味淋 何石 但醪ヨリ何割何分ノ見込  
右醸造法ニテ幾仕舞ノ見込  
右御 届 候 也

年 月 日

知 事 宛

郡市村番地

營業人何某

(第六號)

一 桶契類何個

酒造 諸器 械 届

内

欠號何個

第何號ヨリ  
第何號マテ

一 酒槽 何個

一 男柱 何個

一 蒸溜器 何個

一 層粹 何個

一 何々 何個

以上私有之分

一 桶契類 何個

第何號ヨリ  
第何號マテ

一 酒槽 何個

第十五類 租 税



一男柱 何個  
一蒸溜器 何個  
一層碎 何個  
一何々 何個  
右何郡市村何某ヨリ借用ノ分  
右御届候也

年 月 日

知 事 宛

郡市村番地

酒造營業人 何某

(第七號)

免許鑑札番號

第 號
清 酒 何 石 造
白 酒 何 石 造
郡市村番地
酒造營業人 何 某

寸法  
豎 曲尺三尺  
横 酒類ノ數ニヨリ適宜  
酢元用酒類ハ酢元用ノ三  
字ヲ冠スヘシ

(第八號)

酢醗仕込桶造ヒ順序  
酢取半切桶造ヒ法

最初  
二次  
三次  
四次  
五次  
初添  
中添  
留  
最後

半切何枚ニ付分配  
半初何枚ニ付合縮  
半切何枚ニ付合縮  
半切何枚ニ付合縮  
坪臺桶壹個ニ入  
醗仕込桶造ヒ法  
三尺桶 何 本  
全 何 本  
仕込桶 何 本  
三尺桶 何 本  
仕込桶 何 本  
醗仕込桶造ヒ順序

第何號 仕込順號  
第何號 全  
第何號 右御届候也

第何號 第何號 第何號

郡市村番地

酒造營業人 何某

第十五類 租 知 事 宛  
年 月 日



(第九號)

何年度

酒造原品受拂帳

郡市村番地

酒造營業人

何某

原品種類ノ異ナル毎ニ口譯ヲナスヘ  
ニケ月目ヨリ通計ヲ付スヘ

元受ノ部

何月何日

白米 何石

代金何圓

何月何日

白米 何石

何月何日

白米 何石

月計

代金何圓

郡市村何某ヨリ買入

自家所得米

何々

白米 何石  
何圓

拂出ノ部

何月何日

白米 何斗

何月何日

白米 何斗

何月何日

白米 何石

何月何日

白米 何斗

何月何日

白米 何石

何月何日

白米 何斗

何月何日

白米 何石

月計

何石何斗

既麴米

添蒸米

全蒸米

中麴米

全蒸米

留麴米

全蒸米

(第十號)  
第十五類 租 稅



何年度  
仕込帳  
郡市村番地  
酒造營業人  
何某

酒類ノ異ナル毎ニ口譯ヲナスヘシ  
ニケ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

酛取ノ部

何月何日	第何號	蒸米	何斗	何酛
		麴米	何斗	
		汲水	何斗	
何月何日	第何號	蒸米	何斗	何酛
		麴米	何斗	
		汲水	何斗	
		波水	何斗	

月計

何月何日	第何號	蒸米	何石	酛仕込之部
		麴米	何石	
		汲水	何石	

何月何日	第何號	蒸米	何斗
		酛麴米	何斗
		汲水	何斗
何月何日		蒸米	何石
		添蒸米	何斗
		汲水	何石
何月日		蒸米	何石
		中麴米	何斗
		汲水	何石
何月日		蒸米	何石
		留麴米	何斗
		第十五類	租稅



計	汲水	何石
	蒸米	何石
	麴米	何石
	汲水	何石
何月何日	第何號	
	蒸米	何斗
	斷麴米	何斗
何月何日	汲水	何斗
	蒸米	何石
	添麴米	何斗
	汲水	何石
何月何日	蒸米	何石
	中麴米	何斗
	汲水	何石
何月何日	蒸米	何石
	留麴米	何斗

(第十一號)

計	汲水	何石
	蒸米	何石
	麴米	何石
	汲水	何石
月計	蒸米	何拾石
	麴米	何拾石
	汲水	何拾石

何年度

酒粕目方帳

郡市村番地

酒造營業人

何某

二ヶ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

自製粕ノ部

何月何日 第十五類 租 稅



仕込第何號

一粕 何拾貫匁

一粕 何拾貫匁

合計何拾何貫匁

風袋何貫匁

差引

何拾貫匁

月計

何拾何貫匁

買入粕ノ部

何月何日

一粕 何拾貫匁

代金何圓

何月何日

一粕 何拾貫匁

代金何圓

月計

何拾貫匁

何圓

郡市村

何某ヨリ買入

郡市村

何某ヨリ買入

何月何日

仕拂ノ部

一自製粕 何拾貫匁

自家焼酎ノ元用

何月何日

一自製粕 何拾貫匁

代金何圓

何月何日

一自製粕 何拾貫匁

代金何圓

月計

何拾貫匁

何圓

郡市村何某へ卸賣

小賣

(第十二號)

何年度

蒸溜帳
郡市村番地
酒造營業人
何某

酒類ノ異ナル毎ニ口譯ヲナスヘシ  
ニケ月目ヨリ通計ヲナスヘシ

第十五類 租 稅



何月何日 何拾貫匁  
 一酒粕  
 何月何日 何石  
 一腐敗酒  
 月計  
 酒粕何拾貫匁  
 腐敗酒何石  
 (第十二號)  
 第何號 ユリ 幾釜  
 第何號 マテ 付何貫匁  
 第何號 ユリ 幾釜  
 第何號 マテ 付何斗  
 一釜ニ付何斗

何年度  
 變製酒類原品受拂帳  
 郡市村番地  
 酒造營業人  
 何 某

何月何日 何石  
 一腐敗酒  
 二ヶ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ  
 元受之部

郡市村何某ヨリ買入

自製腐敗

代金何圓  
 何月何日 何石  
 一腐敗酒  
 月計  
 何圓  
 何月何日 燒酎ニ變製  
 一腐敗酒 何石  
 何月何日 味淋元燒酎ニ變製  
 一腐敗酒 何石  
 月計  
 (第十四號)

拂ノ部

何年度  
 酒類倉出帳  
 郡市村番地  
 酒造營業人  
 何 某

第十五類 租 稅



酒類ノ異ナル毎ニ口譯ヲナスヘシ  
ニケ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

清酒ノ部

何月何日

一清酒

何石

外割水

何斗

何月何日

一清酒

何石

外割水

何斗

月計

何拾石

割水何石

(第十五號)

何年度

酒類賣揚帳

郡市村番地

酒造營業人

何某

酒類ノ異ナル毎ニ口譯ヲナスヘシ  
ニケ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

清酒ノ部

何月何日

一清酒

何石

代金何圓

何月何日

一清酒

何石

代金何圓

何月何日

一清酒

何石

月計

何石

何圓

(第十六號)

何年度

酒類買入帳

郡市村番地

酒造營業人

何某

郡市村名

氏

名

小賣日ノ高

自家用

第十五類 租 稅



酒類ノ異ナル毎ニ口譯チナスヘシ  
二ヶ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

清酒ノ部

何月何日

一清酒

何石

代金何圓

郡市村

何

某

一清酒

何石

代金何圓

郡市村

何

某

月計

何石

何圓

(第十七號)

何年度

清酒 炭火 込入 帳

郡市村番地  
酒造營業人 何某

二ヶ月目ヨリ通計ヲ付スヘシ

何月何日

一清酒

何石

一番火

何月何日

一清酒

何石

二番火

何月何日

一清酒

何石

炭込

(第十八號)

新酒 何石

何石

炭込

古酒 何石

第何號

何月何日 販立

第何號

何月何日

(添中留)

第何號

清酒

(參看) 酒造税則及全施行細則

明治十三年  
九月廿七日

第四十號布告抜萃

第一條 凡ソ酒類ヲ製造シテ營業セント欲スル者ハ其旨管應ニ願出酒造場一箇所毎ニ免許鑑札ヲ受

クヘシ

左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ納税保証ノ爲管應ニ於テ相當ト認ムル所ノ保證物ヲ差出スカ若ハ

資産ヲ有スル保證人ヲ立ツルニアラサレハ前項ノ免許ヲ與ヘサルヘシ(廿三年法律第四十六號ヲ

第十五類

租 税

百六十三



以テ追加)

- 一 第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條ノ處罰ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者
  - 二 酒類造石税ノ滞納處分ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者
  - 三 所有不動産ノ價額造石税四分ノ一ニ滿タサル者
- 保證物ノ種類及保証人ニ要スル條件ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第五條 酒造營業人不在又ハ事故アル時ハ代人ヲ置キ此規則ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘシ(十五年第六十一號布告ヲ以テ追加)
  - 第六條 免許鑑札買賣讓與スル時ハ双方連印ノ願書ヲ管應ニ差出シ書換ヲ請フヘシ
  - 第七條 免許鑑札ヲ失却毀損スルカ或ハ代換改名轉居セシトキハ其旨管應ニ願出再渡又ハ書換ヲ請フヘシ

第廿一條 酢及ヒ酒もどチ販賣スルヲ許サス  
但事故アリテ酒もどチ不用ニ屬シタルモノヲ同業ノ者ニ限リ賣渡ハ此限ニアラス(十五年第七號ヲ以テ但書追加)

第廿六條 免許ヲ受ケタル者ハ其節管應ニ該一期造酒見込ノ種目石數并ニ其造リ方法共届出ヘシ  
但種目變換并見込石數ノ増減等ハ其時々届出ヘシ

第廿八條 一期造酒届出ノ石數何酒何石造ト書シタル標札ニ免許鑑札ノ番號ヲ書載シ之ヲ戶外ニ掲出スヘシ

第廿九條 免許鑑札ヲ受ケシテ製造シタル者ハ其酒類及ヒ製造諸器械トモ沒收シ免許税額二倍ノ金額ヲ科シ之ヲ賣捌キタル者ハ其石數ニ相當スル造石税三倍ノ金額ヲ併セ科スヘシ  
但本文酒類並ニ諸器械ヲ已ニ賣捌キタルモノハ其代價ヲ追徴スヘシ

第三十條 免許鑑札ヲ借受ケ製造スル者ハ第二十九條ニ據テ處分シ之ヲ貸與ヘタル者ハ其鑑札取揚

カ免許税相當ノ金額ヲ科スヘシ

第三十一條 酒類石數ノ檢案ヲ受ケシテ之ヲ賣捌キ又ハ貸與讓與シタル者ニ其代價ヲ追徴シ其酒類ノ石數ニ相當スル造石税三倍ノ金額ヲ科スヘシ  
但第二十一條但書ノ場合ニ於テハ此限ニアラス

第三十二條 酒類ヲ隱蔽シタル者ニ其酒類ヲ沒收シ其酒類ノ石數ニ相當スル造石税三倍ノ金額ヲ科スヘシ(十五年第六十一號布告ヲ以テ本條改正)

第三十三條 檢査未済ノ酒類ヲ自用ニ消費シタル者ハ其石數ニ係ル造石税ニ相當スル金額ノ三倍ヲ科スヘシ

酒造税則施行細則 明治廿三年 八月八日  
大藏省令貳拾號拔萃

第一條 税則第一條第一項ニ從ヒ製造免許ヲ受ケントスルモノハ其願書ニ造石見込高ヲ記シ其酒造場ノ倉庫又ハ建物ノ棟數トニ拘ハラス總テ其一區域ヲ以テ一箇所トシ之ニ關スル地所建物ノ坪數ヲ圖面ニ製シ願書ニ添ヘ管應ニ差出スヘシ但一區域外ノ倉庫建物ト雖モ檢査済ノ酒類又ハ酒造用諸器械ヲ藏置スルニ止マルモノハ管應ノ許可ヲ受ケ酒造場ノ附屬ト爲スコトヲ得

税則第一條第二項ニ依リ保證物又ハ保証人ヲ要スルモノハ願出ノ際保證物又ハ保証人ヲ定メ認可ヲ受シヘシ

免許ヲ受ケタル後造石見込高ヲ增加シ又ハ土地建物等ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々届出ヘシ  
免許ヲ受ケタル者ニシテ翌期ニ引續キ營業ヲ爲サントスルモノハ其年十月一日迄ニ願書ニ鑑札ヲ添ヘ管應ニ差出シ免許ノ證印ヲ受シヘシ

税則第一條第二項一二ノ年數ハ處罰ハ宣告ノ日滞納處分ハ完結ノ日ヨリ免許願出ノ日迄滿三年トス

第二條 酒造場ヲ移轉セントスルトキハ免許鑑札ヲ添ヘ管應ニ申出鑑札ノ書換ヲ請フヘシ  
第十五類 租 税



他ノ管轄地へ移轉セントスルトキハ免許鑑札ヲ添へ管廳ニ申出添書ヲ受ケ之ヲ移轉地ノ管廳ニ差  
出シ鑑札ノ書換ヲ請フヘシ

第廿一條 稅則第十一條營業免許後不動産ヲ賣渡讓渡及抵當ト爲ス場合ニ於テハ其不動産ノ位置番  
號名稱種類段別又ハ坪數及土地臺帳記入ノ地價地租ヲ詳記シテ管廳ニ届出ツヘシ

第廿二條 營業人ハ左ノ帳簿ヲ調製スヘシ

酒造原品受拂帳

仕込帳

酒粕目方帳

蒸溜帳

變製酒類原品受拂帳

酒類倉出帳

酒類賣上帳

酒類買入帳

(八) 自家用料酒製造届ノ件 明治十九年  
縣令第五號 九月二十日

本年大藏省令第二十七號ニ依リ自家用料酒製造届書式及ヒ標札雛形別紙之通相定ム

自家用料酒製造御届

何郡何町村何番戶

何

某

一 濁 酒 (又ハ何々其  
種類ヲ掲シ) 此製造見込高何斗何升

右明治何年度自家用料酒製造届書式及ヒ標札雛形別紙之通相定ム此段御届仕候也

明治 年 月 日

右

前書之通届出ニ付與印仕候也

何 町 村 戶 長

何

某 印

山 梨 縣 知 事 宛

標札雛形 堅 一 尺 五 寸

<p>明治何年度</p> <p>(朱書)</p> <p>(番號ハ鑑札 ノ號ヲ付ス)</p> <p>第何號</p> <p>自家用料酒製造</p> <p>何々何々</p> <p>何郡何町村何番戶</p> <p>何</p> <p>某</p>
---

(九) 醬油製造營業手續 明治廿一年  
縣令第四拾五號 八月廿九日

醬油稅則改正ニ付醬油製造營業手續左ノ通り相定メ來ル九月一日ヨリ施行ス

但明治十八年(六月)甲第五拾貳號布達ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

醬油製造營業手續

第十五類 租 稅



第一項 醬油製造營業願ハ第一號書式ニ倣ヒ郡役所ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

但製造場ト住所ト異ナルモノハ其製造場所在ノ郡役所ヲ經由スヘシ

第二項 細則第一條但書ノ付屬ト爲スヘキ建物ハ租稅檢査員派出所ヘ申出テ認定書ヲ受ケ之ヲ添付第

二號書式ニ倣ヒ願書ヲ差出スヘシ

第三項 細則第三條及第五條ノ願書ハ第三號第四號書式ニ倣フヘシ

但細則第五條届出ノ見込石數并製造方法ニ増減變換ヲ生シタル場合ハ本項ニ準シ其時々届出ツ

ヘシ

第四項 細則第五條ノ届ヲ爲シタルトキハ左ノ離形ニ倣ヒ標札ヲ調製シ製造場毎ニ戸外ヘ掲出スヘシ

但見込石數ヲ増減シタルトキハ其都度紙札ヲ以テ更正スヘシ

「鑑札番號」 查定ヲ受シヘキ見込石數「製造場ト住所ト異ナルトキノ例

第何號	製造場
一 醬油 何程	郡町村番地
	何之誰

寸法 堅三尺  
巾八寸

第五項 細則第八條第二項容器ノ檢査願ハ新調修繕等ヲ問ハズ總テ第五號書式ニ倣フヘシ

第六項 容器ノ番號ハ製造場毎ニ起號シ其總數ニ就キ順次ヲ定ムヘシ

但醬油ヲ容レサル粕并鹽水桶等ノ類ハ丈量ヲ要セサルモ本項ノ番號ニ編入烙印ヲ受クヘシ

第七項 前項ノ容器ハ其容量若シハ用途等ヲ木札ヘ記入烙印スヘキニ付堅七寸巾八寸ノ木札ヲ調製シ

置クヘシ

但木札ハ容器ノ前面ヘ掲ケ置クヘシ

第八項 細則第三條ニ據リ届出タル諸器械ニ總テ烙印ヲ受クヘシ

第九項 容器并諸器械ヲ買渡讓渡貸渡又ハ返却スルトキ其同業者ニ係ルモノハ第五號書式ニ準シ双方

連署ノ書面ヲ以テ届出タル後之ヲ授受シ其非營業者ニ係ルカ又ハ破壊ニ屬スルモノハ其時々届出ヲ

烙印ノ削除ヲ受クヘシ

第十項 醬油ノ仕込タルトキハ該仕込ノ終リタル日ヨリ十日以内ハ第六號書式ニ倣ヒ届出ツヘシ

第十一項 前項仕込ヲ終リタルトキハ左ノ離形ニ倣ヒ木札ヲ調製シ之ヲ該容器ノ前面ヘ釘付シ置クヘシ

明治何年何月何日仕舞
第何號仕込
第何號

寸法 堅七寸  
巾二寸五分

第十二項 諸味ハ一ト仕込毎ニ分界ヲ立テ置キ石數ノ查定ヲ受クヘシ若シ都合ニ依リ數仕込ヲ合併セ

ントスルトキハ其旨申立テ指揮ヲ受クヘシ

第十三項 稅則第五條第六條ノ造石數查定願ハ第七號書式ニ倣フヘシ

第十四項 溜ハ製成着手五日以前第七號書式ニ準シ申出テ諸味石數ノ調査ヲ受クヘシ

第十五項 造石數ノ查定ヲ了シタル醬油ハ檢査ヲ下附スヘキニ付之ヲ該容器ノ前面ヘ貼付シ置クヘシ

第十六項 查定未済ノ醬油ヲ買入レタルトキハ該仕込ノ原品ヲ仕込帳ニ記入シ自家仕込ノ番號ニ編入

スヘシ

第十七項 製成醬油ノ買入石數ハ賣上帳ヘ細則第七條ニ據リ記入シ置クヘシ尙ホ仕切書送狀ヲ取り置

第十五類 租 稅



キ其買入ヲ証明スヘシ  
 第拾八項 稅則第九條製造場ニ關スル事故ニ因リ造石査定未済ノ醬油ナリ一時其場外ニ移スヘキトキハ其旨申出テ承認ヲ受クヘシ  
 第拾九項 細則第拾六條ノ帳簿ハ第八號乃至第十一號ノ書式ニ據リ調製記載スヘシ  
 第貳拾項 稅則第一條但書ニ據リ後見人ヲ立ツルカ又ハ細則第六條ヲ依リ代人ヲ置クトキハ其旨届出ツヘシ  
 但代人ヲ置クトキハ委任狀寫ヲ添付スヘシ  
 第貳拾一項 細則第拾一條ニ依リ鑑札ノ再渡書換又ハ第拾二條ノ添書等ノ願ハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

第貳拾二項 造石檢査濟及容量調査簿ハ受印ヲ捺スヘシ  
 第貳拾三項 廢業ノ節ハ届出ノ上器械烙印ノ削除ヲ受クヘシ  
 第貳拾四項 臨檢日誌ハ豫メ下附ノ臨檢ノ都度其事由ヲ記載スルヲ以テ之ヲ保存シ置クヘシ尤廢業ノ節ハ返納スヘシ  
 第貳拾五項 醬油製造營業ニ關スル諸願届等ハ第一項第貳項第貳拾一項ノ外ハ總テ間稅分署ヘ差出スヘシ  
 第壹號書式)  
 (印ハ朱書)

醬油製造營業免許願

右製造場ニ於テ醬油製造營業仕度候間免許鑑札御下附被成下度別紙圖面ヲ添ヘ此段相候候也  
 何郡何町村番地 醬油製造場

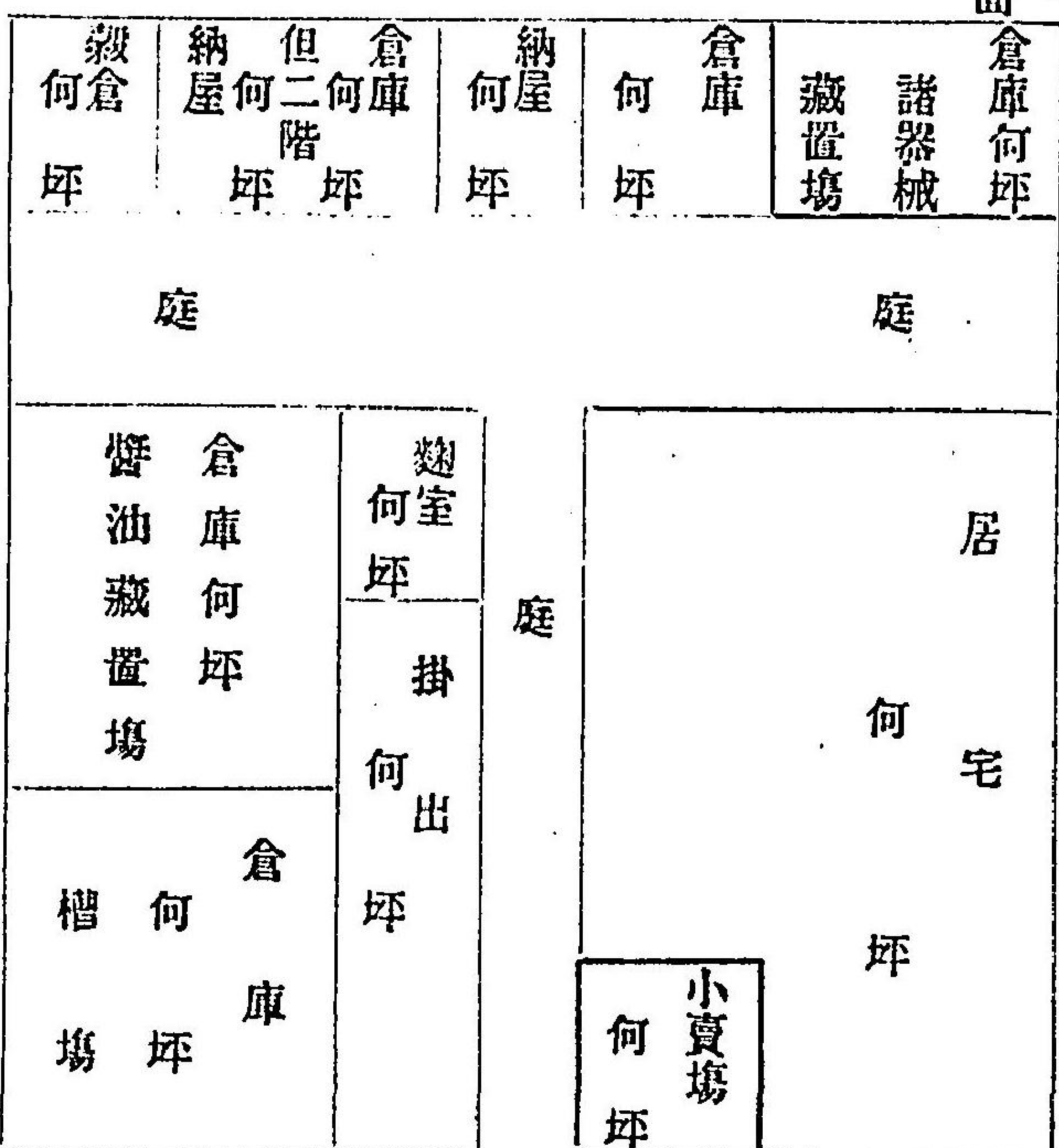
何縣國郡町村番地(寄留)  
 (原籍何府縣郡區町村番地)  
 全上 何 某 印  
 後見人 何 之 某 印

(後見人アリタルトキノ例)

山梨縣知事某殿

凡 例  
 一 製造場所在ノ尺長ヨリ例規ノ通り與印ヲ受ケ差出スヘシ  
 (第壹號書式附屬)

醬油製造場圖面  
 倉庫何坪  
 諸器械  
 藏置場  
 倉庫何坪  
 納屋何坪  
 倉庫何坪  
 但二階  
 納屋何坪  
 穀倉何坪



(太野ハ朱)  
 備考  
 製造ニ屬スル部分ハ朱線ヲ以テ描クヘシ

右ノ醬油製造場ニ關スル地所建物前筆圖面ノ通り相違無之候也  
 第十五類 租 稅



年 月 日

○(第二號書式)

醬油製造場附屬建物認可願

何 百七十二 某印

免許鑑札番號

何郡何町村番地

一建物幾棟

醬油製造場

内

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一納屋 (縱何間横何間)

何坪

右、今般製造場附屬ニ致度候間御認可被下度此段相願候也

○(第三號書式)

○(以下第一號書式ニ倣フヘ)

醬油製造場建物并諸器械調

何郡町村番地

免許鑑札番號

醬油製造場

一醬油製造場建物

何棟

内

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一全上 (縱何間横何間)

何坪

但穴藏 (何間何間)

何坪鑿室(何間何間)何坪

一穀藏 (縱何間横何間)

何坪

一納屋

一何々

醬油製造場ニ屬セサル分

一居室

但二階 (何間何間)

何坪掛出(何間何間)何坪

一倉庫 (縱何間横何間)

何坪

一納屋 (縱何間横何間)

何坪

一何々 (縱何間横何間)

何坪

一桶甕類 (第何號ヨリ第何號ニテ)

何個

内 借入 (第何號ヨリ第何號ニテ)

何個

一男柱 (第何號第何號)

何本

一締ノ木 (第何號第何號)

何個

一層枿 (第何號第何號)

何個

一掛袋 (第何號第何號)

何個

一垂口(桶甕)

何個

第十五類 租 稅

百七十三



- 一 蒸釜 何個
- 一 試桶 何個
- 一 煎釜 何個
- 一 桃桶 何個
- 一 柄杓 何個
- 一 麴板 何枚
- 一 椗 何個
- 一 椗 何個
- 一 掛石 何個
- 一 龍頭繩 何個
- 一 何々 何個

右醬油製造場建物及諸器械即今所持ノ分前記ノ通相違無候尤以后増減有之節ハ其時々御届可任依也

何郡何町村番地(寄留)

何之某

年月日

何間 稅分 署 御中

凡例

- 醬油製造用諸器械ニシテ其製造場ニ現在ニ使用シ得ヘキモノハ無取記入スヘシ
- 一居室其他ノ建物中ニ醬油及諸器械等ヲ入置シモノハ製造ニ屬スル部分ハ記入スヘシ
- 一製造場附屬トナル建物ハ認可ヲ受ケタル節ハ此書式ニ準テ調製速ニ届出スヘシ
- (第四號書式)

醬油見込石數(増)(減)并製造方法(變更)御届

何郡何町村番地

醬油製造場

免許鑑札番號  
一 醬油何程

查定ヲ受クヘキ見込(増)(減)石高

- 此原質品 何程
- 大豆 何程
- 小麥 何程
- 何々 何程
- 食鹽 何程
- 汲水 何程

右一ト仕込製造方法  
自第何號(或ハ)第何號第何號  
至第何號

- 一大豆 何程
- 一小麥 何程
- 一何々 何程
- 一食鹽 何程
- 一汲水 何程

右ハ明治何年醬油查定ヲ受クヘキ石及ヒ見込石數并製造方法前書ノ通りニ有之候尤モ以后増減變更ノ節ハ其時々御届可任依也

○(以下第三號書式ニ倣フヘシ)

凡例  
第十五類 租 稅



- 一查定ヲ受シヘキ見込石數及仕込石數増減并ニ方法變更ノ文例ハ左ノ如シ
- 右ハ明治何年醬油查定ヲ受シヘキ見込石數(仕込見込石數)(仕込製造方法)前書之通(増)(減)(變更)仕候間此段御届候也
- 一仕込ノ厚品ニ使用スルモノハ何種類ヲ問ハテ總テ記載スヘシ
- 一仕込製造方法ノ異ナル毎ニ別項ニ記載スヘシ

醬油 容器 御 檢 査 願

何郡何町村番地

醬油 製 造 場

免許鑑札番號

第何號

一 桶

但新調(買入)(讓受)(修繕)

口徑何尺何寸何分

胴徑何尺何寸何分

底徑何尺何寸

深サ何尺何寸

此石數何拾何石何斗何升何合

第何號

一 嬰

此石數何石何斗何升何合

但買入(讓受)(借受)  
(但水量試シ)

右容量御檢査被下度此段相願候也

○(以下第三號書式ニ倣フヘシ)

凡 例

- 一新調買入等ノ容器番號ハ在來容器ノ順號ヲ遂フヘシ
- 但欠號アルトキハ之ヲ補填スルモ妨ナシ
- 一賣渡讓渡貸渡返却等ノ節ハ表題(御檢査願)トアルヲ(賣渡)(讓渡)(貸渡)(返却)御届ト記載シ未文ヲ左ノ如シ認ムヘシ
- 右ノ通り今般(賣渡)(讓渡)(貸渡)(返却)仕候間此段及御届候也
- 一非營業者ニ賣渡スカ又ハ破壊スルトキモ此例ニ準テ調製スヘシ

醬油 仕 込 御 届

第何號桶入

一第何號仕込

第何號桶入

一第何號仕込

第何號桶入

一第何號仕込

右之通今般仕込濟相成候間此段及御届候也

何 月 何 日 留	何 月 何 日 留	何 月 何 日 留
-----------	-----------	-----------

○(以下第三號書式ニ倣フヘシ)

○(第七號書式)

醬油 石 數 御 査 定 願

何郡何町村番地

醬油 製 造 場

免許鑑札番號

第十五類

租 稅

百七十七



何年何號仕込

第何號桶

一醬油何拾何石何斗

何年何號仕込第何號桶

一全何石何斗何升

合何拾何石何斗何升

右御檢査被下度相願候也

但桶側面記載ノ通

但入實深何尺何寸

○以下第三號書式ニ倣フヘシ

○(第八號書式)

明治何年何月

醬油製造原品買入帳

○製造場ト居住地トナ異ニスルモノハ之ヲ併記スヘシ以下之ニ倣フ

何郡何町村番地  
之 某

免許鑑札番號

凡例

- 一醬油製造ノ原品ニ用ユル爲メ買入タルモノハ其何種類ヲ問ハス都テ遺漏ナク記載スヘシ
- 一小作及自作シタルモ此例ニ據リ記入スヘシ
- 一毎年十二月末日ニ至リ殘品アルトキハ翌年一月一日越高ト爲スヘシ

但本年ニ限リ八月三十一日ヨリ九月一日ニ持越シタルモノヲ越高ニ記載スヘシ

○一此帳簿ニ餘白アルトキハ數年間用ユルモ妨ケナシト雖モ年度ノ異ナル毎ニ票紙ヲ以テ口譯ヲ爲スヘシ

買入月日	種目	石	高	俵	數	代	價	賣主住所	賣主姓名
越	高	大豆	何石	何斗	何俵				
全		小麥							
全		何々							
全		食鹽							
計		何拾何石		何拾俵					
何月何日	大豆	何石	何斗	何俵	何	圓	何郡何町村	何	之 某
全	小麥								
何月何日	何々								
全									
月計	〔毎月末ニ此計ヲ付シニケ月目ヨリ越高ヲ累計シテ通計ヲ付シ内譯ヲナスヘシ〕								
通計	内								















ル金高ヲ記載スヘシ

第八條 製造人其製造菓子ヲ再製又ハ變製スルカ若シハ腐敗等ニテ棄却スルモノハ製造帳中特ニ其理由ヲ付シ種類數量見積金高等ヲ記載シ置クヘシ

第九條 製造菓子ハ帳簿ニ記載前店頭ニ陳列スヘシ

第十條 製造人廢業スルトキハ納期ニ拘ハラヌ製造稅ヲ完納スヘシ

(第一號書式)

菓子(卸賣)製造 營業御免許願  
(營業場ト居住地ノ異ナルトキノ例)

何國何郡何(町村)何番地 何 某

營業場 右私儀(卸賣)製造 營業仕度候間鑑札御下付被下度此段相願候也

年 月 日 郡 長 宛 右 何 某印 戶 長 何 某印

(與書)

(第貳號書式)

菓子(仕入出賣)鑑札御下付願

何國何郡何(町村)何番地 菓子(卸賣)製造 營業人

何 某

右私儀(卸賣)製造 營業御許可相成候ニ付テハ(自己又ハ家族雇人某ヲシテ)(仕入出賣)爲致)度候間右鑑札御下付被下度此段相願候也

年 月 日 郡 長 宛 右 何 某印 戶 長 何 某印

(與書)

(第三號書式)

木製曲尺巾八寸堅二尺九寸

鑑札番號

菓子(卸賣)製造 營業  
山梨縣何郡何(町)村何番地 何 某

(第四號書式)

第十五類 租 菓子雇人現員御届



一雇人現在何人

右ハ明治何年何月何日現在雇人前書ノ通相違無之尤爾後異動又ハ増減有之候節ハ其時々御届可仕依別紙人名書相添此段御届仕候也

年 月 日 郡 長 宛

(與書)

右

何 某 印

戸 長

何 某 印

記

何國何郡何(町村)

何 某

何國何郡何(町村)

何 某

何國何郡何(町村)

何 某

菓子卸賣營業人  
製造  
小賣

何 某 印

右之通候也 計何人

年 月 日

菓子雇人異動御届

何國何郡何(町村)何番地

菓子卸賣營業人

何 某

菓子卸賣營業人

何 某

何國何郡何(町村)

何 某

何國何郡何(町村)

何 某

何國何郡何(町村)

何 某

何月何日減員

差引何人(増減)又ハ増減ナ

右之通雇人ニ異動ナ生レ候ニ付キ此段御届仕候也

年 月 日 郡 長 宛

(與書)

右

何 某 印

戸 長

何 某 印

(第五號書式)

明治何年自(一月七月)至(六月十二月)菓子製造見積金高并賣上金高御届  
第十五類 租 稅 百八十九